

# 出雲市学校施設整備・耐震化基本計画

平成 24 年 3 月

出雲市教育委員会

# 目次

<b>1. 計画の背景と目的</b> .....	<b>4</b>
1.1 背景 .....	5
1.2 目的 .....	7
<b>2. 学校施設整備の現状と課題の把握</b> .....	<b>8</b>
2.1 耐震化に関する現状と課題	
2.1.1 学校施設の耐震化 .....	9
2.1.2 非木造の現状と課題 .....	11
2.1.3 木造の現状と課題 .....	16
2.2 学校施設の修繕・改修に関する現状と課題	
2.2.1 老朽化の状況 .....	18
2.2.2 修繕・改修の個別課題 .....	26
2.2.3 共通の改修課題 .....	28
2.3 建築環境総合性能評価システム（CASBEE）に準拠した現状調査からみる課題 .....	45
2.4 学校施設の増改築・大規模改造事業の計画に関する課題	
2.4.1 校舎（園舎）・屋内運動場の耐震化・改築・大規模改造事業に取り組む各施設の評価 .....	48
2.4.2 プール施設の現状と整備の方向性 .....	55
<b>3. 学校施設の耐震化及び施設整備の計画基準</b> .....	<b>62</b>
3.1 校地（園地）・校舎（園舎）・屋内運動場等の新增改築時の整備基準面積 .....	64
3.2 学校施設の耐震補強・改築・大規模改造・修繕工事（校舎・園舎リフレッシュ事業）の計画基準 .....	66
<b>4. 学校施設整備・耐震化基本計画</b> .....	<b>70</b>
4.1 出雲市学校施設整備・耐震化基本計画フロー .....	71
4.2 事業メニュー表 .....	72
4.3 出雲市学校施設整備・耐震化基本計画（中期計画）の骨子 .....	74
4.4 中期計画事業費推移グラフ .....	75
4.5 事業計画一覧表 .....	76
4.6 計画の位置づけと実施にあたっての留意点 .....	85
4.6.1 位置づけ	
4.6.2 実施にあたっての留意点	

<b>5. 今後の学校施設整備に向けて</b> .....	<b>86</b>
5.1 学校施設の長寿命化 .....	87
5.1.1 予防保全の考え方 .....	88
5.1.2 大規模な予防保全工事 .....	90
5.1.3 予防保全工事のための簡易な点検 .....	91
5.2 学校再編計画（案）との調整	
5.2.1 学校再編計画の基本的考え方 .....	93
5.2.2 学校再編計画（素案）における学校施設整備の試算 .....	95
5.3 その他	
5.3.1 新しい工事発注方式の検討～PFI 活用の可能性～ .....	96
5.3.2 多面的な学校施設の役割と整備 .....	98
<b>6. 用語解説</b> .....	<b>102</b>
<b>7. 付属資料</b> .....	<b>107</b>
資料5-1、5-2、5-3、5-4 .....	109



## **1. 計画の背景と目的**

## 1.1 背景

今、全国の学校施設では、地震時の安全確保のため緊急に耐震化整備が進められており、そのうち公立小中学校の耐震化率は、全国平均 80.3%となっている（図1参照）。

出雲市においても、松江南方または大田市西南方で地震が起きた際には、震度6強の揺れが想定されており、子どもたちが過ごす学校施設の安全確保と地域の防災拠点としての整備が喫緊の課題となっている。

出雲市は、平成17年（2005年）に旧出雲市・平田市・佐田町・多伎町・湖陵町・大社町と、平成23年（2011年）に旧斐川町と合併し、小・中学校・幼稚園数は86（県有施設である若松分校小中各1校を除く）となっている。

耐震診断の対象となる建物の棟数は、非木造（200㎡を超えるまたは2階建以上）212棟、木造（500㎡を超えるまたは3階建以上）6棟の合計218棟（建替中の旭丘中学校、荘原幼稚園、建替予定の佐田中学校を除く）あり、耐震化率は7割程度となっている。このほか、耐震診断対象とならない特別教室や部室、倉庫などが多数ある。

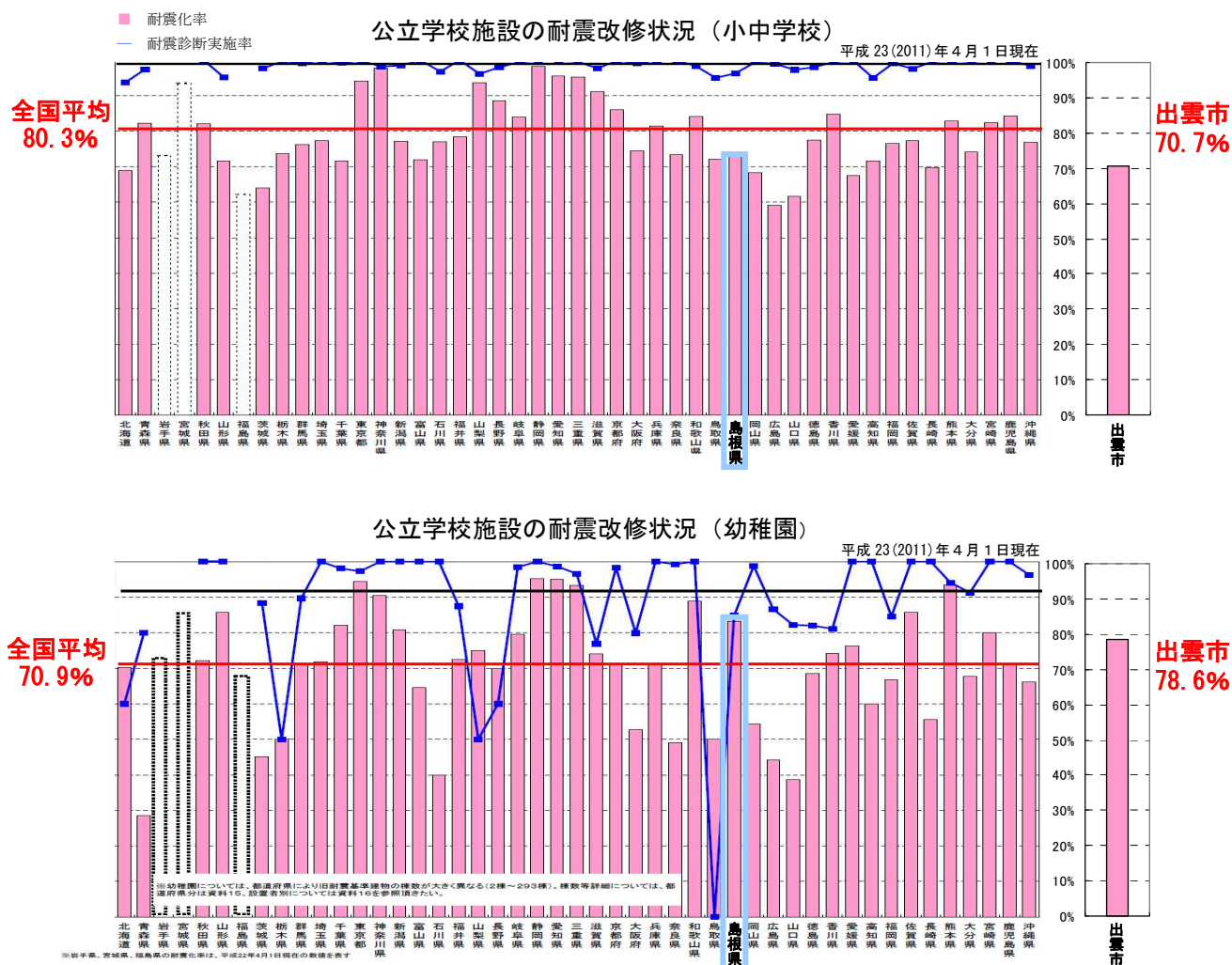


図1 耐震改修状況（左：文部科学省資料 都道府県別 平成23年4月現在、右：出雲市 平成24年3月現在）

図2に校舎・園舎の床面積を建設年代別に示す。昭和56年（1981年）以前の建物は9万㎡以上あり、これらについては、耐震診断結果をもとにした耐震化の工事が必要なものが多い。

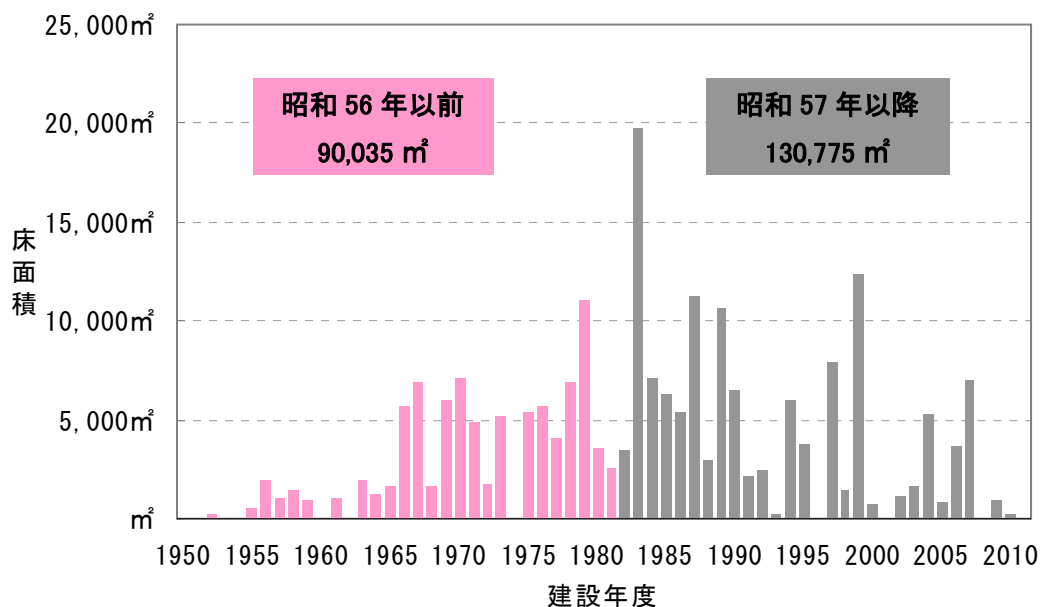


図2 出雲市の校舎・園舎の建設年度別の床面積（全86施設）

また、耐震性ありと判定された建物や、昭和57年（1982年）以降（新耐震基準施行後）の建物についても、経年劣化により改築や大規模な改修等が必要な場合が多くある。

更に大規模な工事以外にも、軽微な修繕工事に加え、トイレ整備、バリアフリー整備、設備改修など、学校の生活環境における質的な整備も課題となっている。

一方で、地元からの学校施設整備への要望は多く、市全域で学校施設の整備が進むよう、これに応えていく必要もある。現在の市の厳しい財政状況を考慮すると、今後は、より一層の効率的かつ計画的な学校施設整備が求められる。

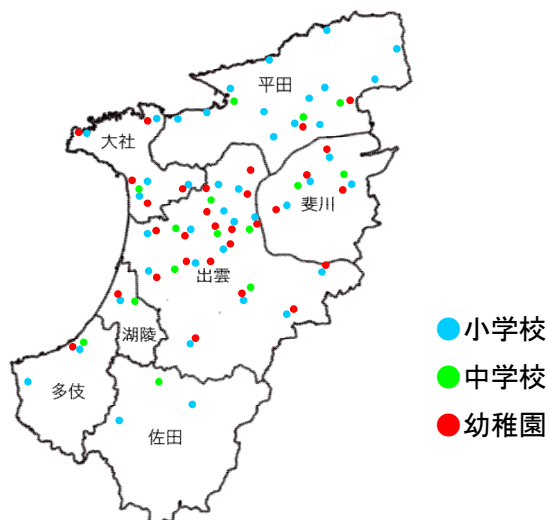


図3 出雲市の学校施設分布

## 1.2 目的

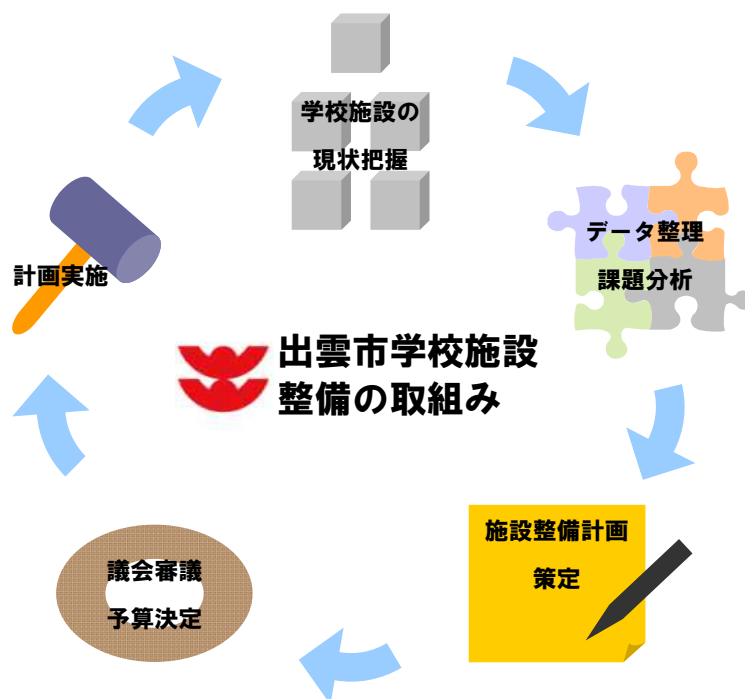
本計画は、学校施設の現状と課題を把握するとともに、今後 15 年間を目途とした効率的な学校施設整備と施設の長寿命化を図ることを目的としている。

第一に優先すべき事業は、耐震化対策推進事業である。しかし、建築物の状況は各々異なり、その工事部位も躯体から内装、設備に至るまでさまざまであり、耐震補強の工事にとどまらず、早急に改築や大規模改造、老朽箇所の改修等を図る必要のあるものがある。

将来を展望した上で、より効率的な学校施設の整備が求められる。

そこで本市では、平成 23 年度（2011 年）、学校施設の現地調査やヒアリングを実施し、各施設の現状を把握し、修繕から改築に至るまで学校施設の課題を整理・分析した。

これに基づいて、各施設の抱える課題を解決するための個別の整備計画と、学校施設に共通する学習環境の充実を図るための整備計画という 2 つの観点をもとに、耐震化対策推進事業、増改築事業、大規模改造事業、リフレッシュ事業等を企画し、今後 15 年間にわたる中期的な学校施設の整備・保全のための基本計画を策定する。





## **2. 学校施設整備の現状と課題の把握**

## 2.1 耐震化に関する現状と課題

### 2.1.1 学校施設の耐震化

建築物には耐震基準があり、これを満たすことが建築基準法上、義務付けられている。

現在の耐震基準は、昭和 56 年（1981 年）に施行された「**新耐震基準（※1）**」である。昭和 56 年以前に建設された建築物は、この基準を満たしていない可能性が大きいため、耐震診断を行う必要がある。

本市の学校施設においても、昭和 56 年以前に建設された建物が 97 棟（非木造 94 棟＋木造 3 棟）あり、これらについて耐震診断を行った。（建替中の旭丘中学校、荘原幼稚園、建替予定の佐田中学校は除く）

#### ※1 新耐震基準

昭和 56（1981）年建築基準法が改正された際に導入された基準。

「一次設計」「二次設計」の概念が導入され、建物規模によって、より詳細な構造計算と第三者による構造設計内容の妥当性の判定（適合性判定）を義務付けている。

### <耐震診断・耐震性能>

耐震診断は、現地調査や計算により、地震の揺れに対する躯体の強度や構造材料の性能などを算出し、耐震性の判定を行う。耐震診断結果の中でも、おおよその耐震性を示すものとして**構造耐震指標**（非木造の場合は  $I_s$  値、木造の場合は  $I_w$  値）がある。

構造耐震指標は、地震（震度 6 強以上）の揺れに対する建物の強度、躯体ねばり強さを表し、値が大きいほど耐震性が高い。また、構造耐震指標は階ごとに算出され、最も低い値を耐震性の評価に用いる。構造耐震指標と倒壊危険性の目安を以下に示す。

$I_s$  値（ $I_w$  値）と地震（震度 6 強以上）の振動及び衝撃に対する倒壊危険性の目安

		構造耐震指標	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性
非木造	$I_s$ 値	0.3 未満	倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
		0.3以上0.6未満	倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
		0.6 以上( $q$ 値 1.0 以上)	倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
木造	$I_w$ 値	0.7 未満	倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
		0.7 以上 1.0 未満	倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
		1.0 以上	倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

国土交通省告示第 184 号より

文部科学省では、特に児童生徒の安全性を考慮し、耐震性能については**非木造を Is 値 0.7 以上、木造を lw 値 1.1 以上**と定めている。

これらは「倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」とされる構造耐震指標に 0.1 加えたもので、学校施設が防災拠点・避難所となり得るため、より厳しい値（Is 値 0.6→0.7、lw 値 1.0→1.1）を用いていると考えられる。基準に満たない建物（※2）は、早急に耐震補強または改築を行うことを義務付けている。

本市の学校施設における耐震化目標については、**非木造 Is 値 0.7 以上、木造 lw 値 1.1 以上とする。**

※2 文部科学省の耐震補強工事補助対象となる棟

- ・非木造（鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造）：Is 値 0.7 未満の棟
- ・木造：lw 値 1.1 未満の棟

#### <耐震化事業の補助制度>

学校施設の耐震化は、地震国である日本において不可欠であり、建物の耐震化に対しては、さまざまな国庫補助制度が設けられている。

特に、学校施設の耐震化については、災害時における避難所としての機能を合わせもつことから、より一層の事業促進が求められている。

現在、**地震防災対策特別措置法（地震特措法）**により、**平成 27 年度（2015 年）**までの期限において、**国庫補助率の算定割合の特例**が設定されている。

国庫補助率の算定割合

区分			原則	地震特措法	
				Is 値 0.3 未満	Is 値 0.3 以上
小学校 中学校	耐震補強	校舎	1/3	2/3	1/2（注2）
		屋内運動場	1/3	2/3	1/2（注2）
	耐震改築	校舎	1/3	1/2（注1）	-
		屋内運動場	1/3	1/2（注1）	-
特別支援学校 （幼・小・中） 幼稚園	耐震補強	校舎、屋内運動場	1/3	2/3	-
	耐震改築	校舎、屋内運動場	1/3	1/2（注1）	-

公立学校施設整備事務ハンドブック（平成 23 年）より

注1：地震による倒壊の危険性が高いもののうち、コンクリート強度が 10.0N/mm<sup>2</sup>未満であるもの。もしくは、やむを得ない理由により補強が困難であると文部科学大臣が認める改築に限る。

注2：非木造のものに限る。

## 2.1.2 非木造の現状と課題

非木造（200 m<sup>2</sup>以上または2階建以上）は全 212 棟あり、うち新耐震基準適合が 118 棟、耐震診断対象となる昭和 56 年以前建設が 94 棟ある。図 4～9 に耐震化状況を示す。

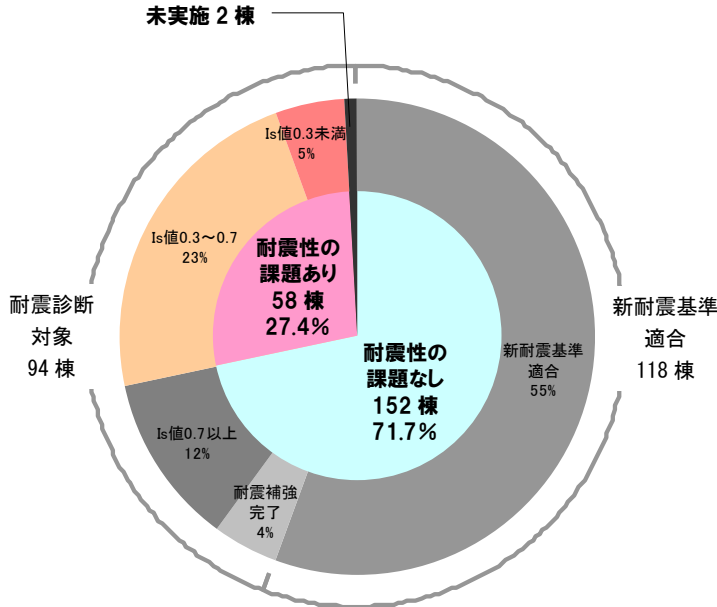


図 4 非木造の耐震化状況の割合 (全 212 棟)

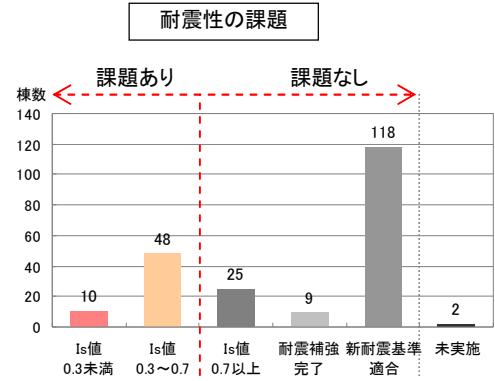


図 5 非木造の耐震化状況別の棟数 (全 212 棟)

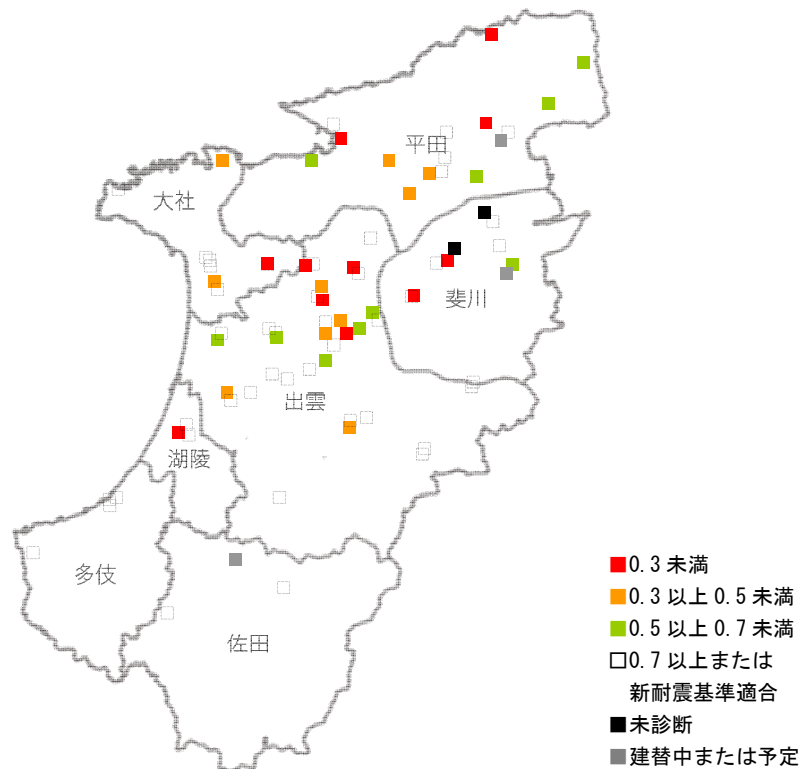


図 6 耐震性能 (Is 値) 別のプロット図  
※施設ごとに、最も Is 値の低いものを示す

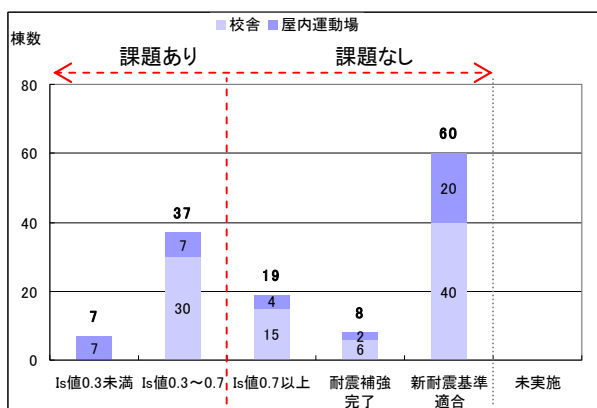


図 7 校舎・屋内運動場別の耐震化状況（小学校 39 校 全 131 棟）

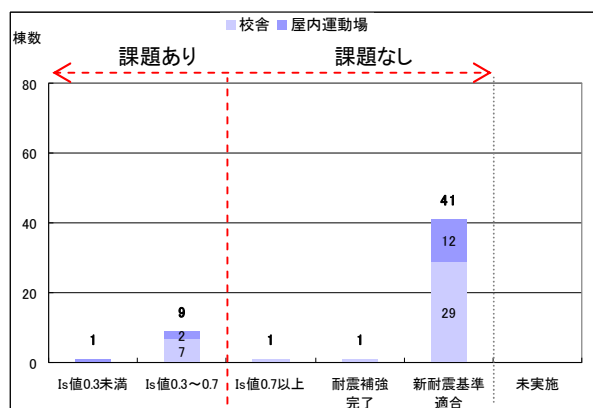


図 8 校舎・屋内運動場別の耐震化状況（中学校 13 校 全 53 棟）

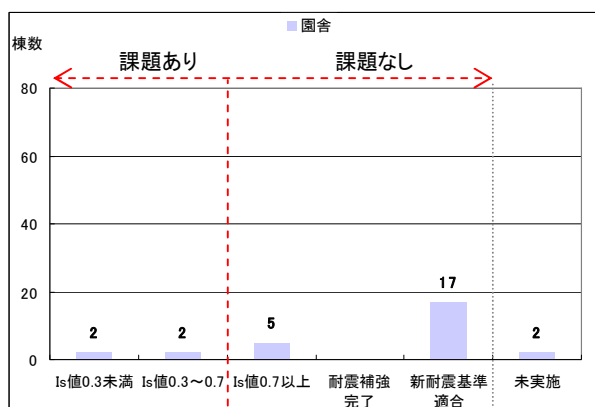


図 9 園舎の耐震化状況（幼稚園 24 園 全 28 棟）

## 非木造施設の耐震化の課題

- ・ 図 4 より、耐震補強または耐震改築が必要となる Is 値 0.7 未満は、合計 58 棟ある。
- ・ 図 6 より、Is 値 0.7 未満の建物を有する学校施設は、出雲・平田地域に比較的多い。
- ・ 小中学校における Is 値 0.3 未満（倒壊又は崩壊の危険性が高い）の建物は、全て屋内運動場である。屋内運動場は、地震災害時の避難所になる可能性もあり、早急な耐震化が必要である。
- ・ 幼稚園においては、耐震診断未実施 2 棟（H24 年（2012 年）診断実施予定）がある。また、耐震補強も未着手である。

# 出雲市学校施設の耐震化状況について（非木造）

平成23年度現在

耐震適合適否・診断状況		区分	学校数	棟数	棟数の内訳		耐震化率
					校舎	屋体	
昭和57年以後（耐震基準適合）に建築した非木造で200㎡を超える又は2階建以上の棟 A		小学校	27	60	40	20	
		中学校	12	41	29	12	
		幼稚園	16	17	17	0	
		計	55	118	86	32	
昭和56年以前（耐震基準不適合）に建築した非木造で200㎡を超える又は2階建以上の棟 【文部科学省基準で定める耐震診断対象棟】	耐震補強工事完了 ①	小学校	6	8	6	2	耐震性あり
		中学校	1	1	1	0	
		幼稚園	0	0	0	0	
		計	7	9	7	2	
	Is値0.7以上 ②	小学校	14	19	15	4	
		中学校	1	1	1	0	
		幼稚園	4	5	5	0	
		計	19	25	21	4	
	耐震補強工事完了 又はIs値0.7以上 小計（③=①+②）	小学校	20	27	21	6	棟合計 D=A+③ 152
		中学校	2	2	2	0	
		幼稚園	4	5	5	0	
		計	26	34	28	6	
	Is値0.3未満 ④	小学校	7	7	0	7	
		中学校	1	1	0	1	
幼稚園		2	2	2	0		
計		10	10	2	8		
Is値0.3以上0.7未満 ⑤	小学校	23	37	30	7	耐震性なし	
	中学校	4	9	7	2		
	幼稚園	2	2	2	0		
	計	29	48	39	9		
Is値0.7未満 小計（⑥=④+⑤）	小学校	30	44	30	14		
	中学校	5	10	7	3		
	幼稚園	4	4	4	0		
	計	39	58	41	17		
未診断 ⑦	小学校	0	0	0	0	棟合計 E=⑥+⑦ 60	
	中学校	0	0	0	0		
	幼稚園	2	2	2	0		
	計	2	2	2	0		
昭和56年以前に建築した棟合計 計（B=③+⑥+⑦）		小学校	50	71	51	20	【耐震化率】 F=D/(D+E) 参考値：D+E=C 71.7%
		中学校	7	12	9	3	
		幼稚園	10	11	11	0	
		計	67	94	71	23	
合計 C=A+B		小学校(39校)		131	91	40	【Is値0.3未満割合】 G=④/(D+E) 4.7%
		中学校(13校)		53	38	15	
		幼稚園(24園)		28	28	0	
		計		212	157	55	

Cの学校数に算入していない学校は次のとおり。

- ・小学校全41校（若松分校除く）中、塩津小学校、猪目分校の計2校は校舎、屋体ともに木造であるため算入していない。鶯鷺小学校は校舎は木造だが、屋体が非木造であるため算入している。
- ・中学校全15校（若松分校除く）中、建替中の旭丘中学校、建替予定の佐田中学校の計2校は算入していない。
- ・幼稚園全30園中、乙立幼稚園、鶯鷺幼稚園は小学校と同一施設であるため、また、荘原幼稚園は建替中、多伎幼稚園、湖陵幼稚園、日御碕幼稚園は木造であるため計6園は算入していない。

# 出雲市学校施設耐震診断実施結果（非木造※）

平成23年度現在

診断結果	学校	地区	学校名	建築年	耐震診断対象棟		構造	階数	棟面積 (㎡)	Is値	整理 番号	通し 番号	
Is値 0.3未満	小学校	出雲	北陽小学校	S52	屋体	屋内運動場棟	S	1	680	0.26	1	1	
		平田	檜山小学校	S56	屋体	屋内運動場棟	RC	2	1,440	0.20	2	2	
			佐香小学校	S44	屋体	屋内運動場棟	S	2	473	0.26	3	3	
			湖陵	湖陵小学校	S49	屋体	屋内運動場棟	S	2	1,189	0.21	4	4
		大社	遙堤小学校	S52	屋体	屋内運動場棟	S	2	715	0.28	5	5	
		斐川	西野小学校	S47	屋体	屋内運動場棟	S	2	678	0.29	6	6	
			中部小学校	S46	屋体	屋内運動場棟	S	2	679	0.16	7	7	
	中学校	平田	光中学校	S54	屋体	屋内運動場棟	RC	2	1,291	0.20	8	8	
	幼稚園	出雲	今市幼稚園	S45	校舎	園舎棟（北）	S	1	389	0.29	9	9	
			高浜幼稚園	S53	校舎	園舎棟	S	1	642	0.23	10	10	
Is値 0.3以上 0.7未満	小学校	出雲	今市小学校	S54	校舎	教室棟（南）	RC	4	2,138	0.36	1	11	
				S54	校舎	管理・教室棟（南）	RC	4	2,312	0.36	2	12	
				S31	校舎	教室棟（北）	RC	3	1,048	0.55	3	13	
			大津小学校	校舎	S49	教室棟（北）	RC	3	3,241	0.52	4	14	
					S49	教室棟（南）	RC	3					
					S49	廊下棟（西）	RC	2					
				S54	屋体	屋内運動場棟	S	1					846
			塩冶小学校	校舎	S47	教室棟（南）	RC	3	1,347	0.52	6	16	
					S51	教室棟（南）	RC	3					
			長浜小学校	校舎	S34	教室棟（東）	RC	3	961	0.60	7	17	
					四絡小学校	S50	屋体	屋内運動場棟	S	1	680	0.30	8
			北陽小学校	校舎	S52	管理教室棟（北）	RC	3	3,568	0.53	9	19	
					S56	管理教室棟（北）2F	RC	3					
			朝山小学校	S43	校舎	管理教室棟（南）	RC	3	1,660	0.44	10	20	
			神西小学校	S45	校舎	教室棟（南）	RC	3	1,788	0.38	11	21	
			平田小学校	校舎	S42	管理教室棟（北）	RC	3	2,501	0.30	12	22	
					S46	屋体	屋内運動場棟	S	1	811	0.41	13	23
			灘分小学校	校舎	S44	管理教室棟（南）	RC	2	801	0.48	14	24	
					S44	管理教室棟（南）	RC	3	1,403	0.50	15	25	
		国富小学校	校舎	S44	教室棟（西）	S	1	248	0.30	16	26		
				S56	屋体	屋内運動場棟	S	2	902	0.52	17	27	
				S48	校舎	管理教室棟	S	2	1,328	0.50	18	28	
		西田小学校	屋体	S49	屋内運動場棟	S	2	620	0.42	19	29		
				鱈淵小学校	校舎	S40	管理教室棟	RC	3	1,609	0.56	20	30
		S57	廊下棟			RC	3						
		檜山小学校	S41	校舎	管理教室棟（南）	RC	3	1,195	0.48	21	31		
		東小学校	校舎	S45	階段室棟北	RC	3	114	0.49	22	32		
				S45	管理教室棟北	RC	2	1,064	0.61	23	33		
		佐香小学校	S39	校舎	管理教室棟（東）	RC	3	856	0.46	24	34		
		伊野小学校	S55	校舎	管理教室棟	RC	3	1,857	0.45	25	35		
		湖陵	湖陵小学校	校舎	S48	普通教室棟	RC	3	2,667	0.43	26	36	
					S48	特別教室棟（東）	RC	3					
		大社	荒木小学校	校舎	S54	管理特別教室棟（東）	RC	3	2,462	0.50	27	37	
					S55	屋体	屋内運動場棟	RC	2	1,096	0.39	28	38
					S54	校舎	教室棟（西）	RC	3	1,951	0.38	29	39
		鶴鷺小学校・幼稚園		S52	屋体	屋内運動場棟	S	1	435	0.37	30	40	
		斐川	莊原小学校	校舎	S51	管理特別教室棟	RC	3	888	0.69	31	41	
					S46	特別教室棟	RC	2	1,146	0.63	32	42	
		斐川	西野小学校	校舎	S46	低学年教室棟	RC	2	675	0.47	33	43	
					S45	校舎	教室棟	RC	3	1,567	0.43	34	44
					S45	校舎	管理特別教室棟	RC	2	1,026	0.54	35	45
					S45	校舎	昇降口棟	RC	1	240	0.61	36	46
					S45	校舎	ワタリ廊下	RC	2	75	0.46	37	47

※鉄筋コンクリート造：RC、鉄骨造：S

# 出雲市学校施設耐震診断実施結果（非木造※）

平成23年度現在

診断結果	学校	地区	学校名	建築年	耐震診断対象棟		構造	階数	棟面積 (㎡)	Is値	整理 番号	通し 番号			
Is値 0.3以上 0.7未満 (続き)	中学校	出雲	第一中学校	S33	校舎	教室棟（南）	RC	3	796	0.50	38	48			
				S36	校舎	教室棟（南）	RC	3	670	0.53	39	49			
			第二中学校	S53	校舎	渡り廊下棟（中央）	S	3	45	0.53	40	50			
				S53	校舎	渡り廊下棟（北）	S	3	38	0.60	41	51			
				S32	校舎	教室棟（北）	RC	3	1,048	0.48	42	52			
				S38	校舎	教室棟（南）	RC	3	1,919	0.38	43	53			
			第三中学校	S57	屋体	屋内運動場棟（東）	S	2	800	0.40	44	54			
				S57	屋体	屋内運動場棟（西）	S	2	320	0.31	45	55			
			平田	光中学校	S53	校舎	管理教室棟	RC	3	2,080	0.62	46	56		
			幼稚園	出雲	今市幼稚園	S45	校舎	園舎棟（南）	S	1	380	0.30	47	57	
高松幼稚園	S52	校舎			園舎棟	S	1	504	0.50	48	58				
Is値 0.7以上	小学校	出雲	今市小学校	S54	校舎	廊下棟	RC	2	74	1.62	1	1			
			四絡小学校	S50	校舎	管理棟	RC	2	1,293	0.81	2	2			
			朝山小学校	S56	屋体	屋内運動場棟	S	1	684	0.73	3	3			
			乙立小学校・幼稚園	S54	屋体	屋内運動場棟	S	1	556	0.71	4	4			
		平田	平田小学校	S42	校舎	渡り廊下棟（東）	RC	3	183	0.75	5	5			
			灘分小学校	S55	校舎	管理教室棟（南）	RC	2	247	0.81	6	6			
				S55	校舎	教室棟（北）	RC	2	1,406	0.86	7	7			
			S54	屋体	屋内運動場棟	S	1	741	0.78	8	8				
			鰐淵小学校	S50	屋体	屋内運動場棟	S	1	504	0.96	9	9			
			東小学校	S45	校舎	便所棟北	RC	2	84	0.74	10	10			
		佐田	窪田小学校	S50	校舎	校舎棟	RC	3	1,603	1.19	11	11			
		湖陵	湖陵小学校	S48	校舎	特別教室棟（北）	RC	1	595	1.35	12	12			
		大社	斐川	遙堪小学校	S51	校舎	管理特別教室棟	RC	2	1,604	0.78	13	13		
					S51	校舎	教室棟	RC	3	840	0.72	14	14		
					S50	校舎	教育棟	RC	3	2,149	0.72	15	15		
				S51	校舎	管理棟	RC	1	219	1.39	16	16			
				西野小学校	S46	校舎	管理教室棟	RC	3	1,474	0.74	17	17		
					S46	校舎	管理教室棟	RC	3	635	0.74	18	18		
				中部小学校	S56	校舎	教室棟	RC	2	513	0.71	19	19		
				中学校	出雲	第二中学校	S53	校舎	教室棟	RC	3	973	0.71	20	20
				幼稚園	平田	平田幼稚園	S46	校舎	園舎棟（南）	S	1	586	0.75	21	21
							S46	校舎	園舎棟（北）	S	1	293	0.74	22	22
		大社	大社幼稚園		S56	校舎	園舎棟	RC	2	1,999	0.72	23	23		
			荒木幼稚園		S54	校舎	園舎棟	RC	2	1,419	0.95	24	24		
			遙堪幼稚園		S54	校舎	園舎棟	RC	2	675	0.79	25	25		
耐震補強 工事完了	小学校	出雲	上津小学校	S41	校舎	普通教室棟	RC	2	1,233	0.76	1	26			
			神戸川小学校	S44	校舎	管理特別教室棟	RC	2	1,156	0.92	2	27			
				S44	校舎	教室棟	RC	3	1,996	0.87	3	28			
			四絡小学校	S50	校舎	教室棟	RC	3	2,138	0.75	4	29			
		平田	平田小学校	S42	校舎	教室棟（南）	RC	3	1,896	0.70	5	30			
			莊原小学校	S43	屋体	屋内運動場	S	2	817	0.87	6	31			
		斐川	出東小学校	S42	校舎	教室・管理室棟	RC	3	2,293	0.82	7	32			
				S53	屋体	屋内運動場	RC	1	597	0.77	8	33			
		中学校	出雲	第二中学校	S53	校舎	管理教室棟	RC	4	3,129	0.74	9	34		

※鉄筋コンクリート造：RC、鉄骨造：S



### 2.1.3 木造の現状と課題

木造（500 m<sup>2</sup>を超えるまたは3階以上）は全6棟あり、うち耐震診断対象となる昭和56年以前建設が3棟ある。ほか3棟（多伎幼稚園、湖陵幼稚園、河南中学校屋内運動場）は、新耐震基準適合である。

図10・11に耐震化状況を示す。

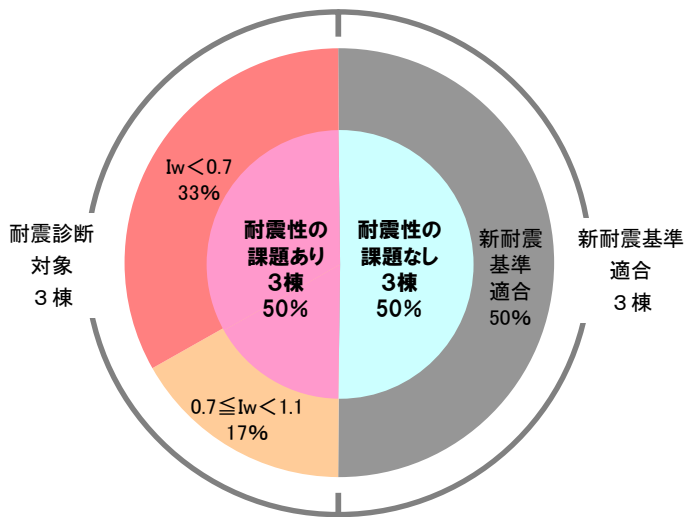


図10 木造の耐震化状況の割合（全6棟）

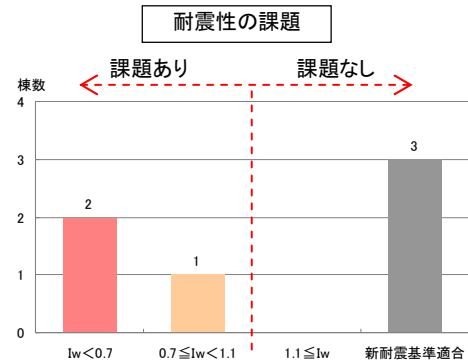


図11 木造の耐震化状況別の棟数（全6棟）

$I_w$  値（構造耐震指標）と地震（震度6強以上）の振動及び衝撃に対する倒壊危険性の目安

$I_w$ 値	$I_w < 0.7$	倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
	$0.7 \leq I_w < 1.0$	倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
	$1.0 \leq I_w$	倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※ 国土交通省告示第184号より

### 木造施設の耐震化の課題

- ・ 木造の学校施設の耐震化率は50%である。
- ・ 耐震診断対象の木造施設3棟は、すべて文部科学省の定める基準： $I_w$  値1.1未満である。  
また、 $I_w$  値0.7未満（倒壊し、又は崩壊する危険性が高い）の2棟については、早急な耐震化が必要である。

# 出雲市学校施設の耐震化状況について（木造）

平成23年度現在

耐震適合適否・診断状況		区分	学校数	棟数	棟数の内訳		耐震化率	
					校舎	屋体		
昭和57年以後（耐震基準適合）に建築した木造で500㎡を超える又は3階建以上の棟 A		小学校	0	0	0	0		
		中学校	1	1	0	1		
		幼稚園	2	2	2	0		
		計	3	3	2	1		
昭和56年以前（耐震基準不適）に建築した木造で500㎡を超える又は3階建以上の棟 【文部科学省基準で定める耐震診断対象棟】	耐震補強工事完了 ①		小学校	0	0	0	0	耐震性あり
			中学校	0	0	0	0	
			幼稚園	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	
	lw値1.1以上 ②		小学校	0	0	0	0	
			中学校	0	0	0	0	
			幼稚園	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	
	耐震補強工事完了 又はlw値1.1以上 小計（③=①+②）		小学校	0	0	0	0	棟合計 D=A+③
			中学校	0	0	0	0	
			幼稚園	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	
	lw値0.7未満 ④		小学校	2	2	2	0	
			中学校	0	0	0	0	
			幼稚園	0	0	0	0	
			計	2	2	2	0	
	lw値0.7以上1.1未満 ⑤		小学校	1	1	1	0	耐震性なし
			中学校	0	0	0	0	
			幼稚園	0	0	0	0	
			計	1	1	1	0	
	lw値1.1未満 小計（⑥=④+⑤）		小学校	3	3	3	0	
			中学校	0	0	0	0	
			幼稚園	0	0	0	0	
			計	3	3	3	0	
未診断 ⑦		小学校	0	0	0	0	棟合計 E=⑥+⑦	
		中学校	0	0	0	0		
		幼稚園	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
昭和56年以前に建築した棟合計 計（B=③+⑥+⑦）		小学校	3	3	3	0	【耐震化率】 F=D/(D+E) 参考値：D+E=C	
		中学校	0	0	0	0		
		幼稚園	0	0	0	0		
		計	3	3	3	0		
合計 C=A+B		小学校(3校)		3	3	0	【lw値0.7未満割合】 G=④/(D+E)	
		中学校(1校)		1	0	1		
		幼稚園(2園)		2	2	0		
		計		6	5	1		
							33.3%	

## 出雲市学校施設耐震診断実施結果（木造）

平成23年度現在

診断結果	学校	地区	学校名	建築年	耐震診断対象棟		構造	階数	棟面積(㎡)	lw値	整理番号	通し番号
lw値0.7未満	小学校	平田	塩津小学校	S30	校舎	教室棟・管理棟・屋内運動場棟	W	2	735	0.33	1	1
		大社	鶺鴒小学校・幼稚園	S36	校舎	管理・教室棟、保育室棟	W	2	958	0.61	2	2
lw値0.7以上1.1未満	小学校	出雲	今市小学校	S31	校舎	校舎棟（北）	W	2	530	0.83	1	3

## 2.2 学校施設の修繕・改修に関する現状と課題

---

### 2.2.1 老朽化の状況

各施設の老朽化の状況を把握するため、過去の修繕実績と築年数の分析、現地調査[平成 23 年 11 月 1 日（火）～10 日（木）：計 7 日間]に基づく老朽度評価を行った。

次の 2 つの観点による分析を示す。

- ① 過去の修繕実績から見る分析
- ② 築年数・老朽度による分析

## ①過去の修繕実績から見る分析

次に、平成 17～22 年度の修繕実績について、総額・総件数と平米単価・年平均件数を示す。

### <総額・総件数>

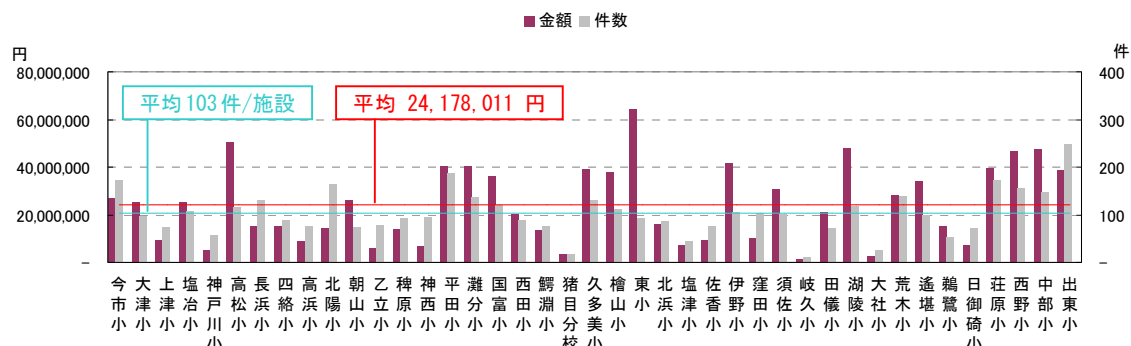


図 12 修繕の総額と総件数（小学校 41 校 全 4,234 件 9 億 9,197 万円 ※修繕校不明分含む）

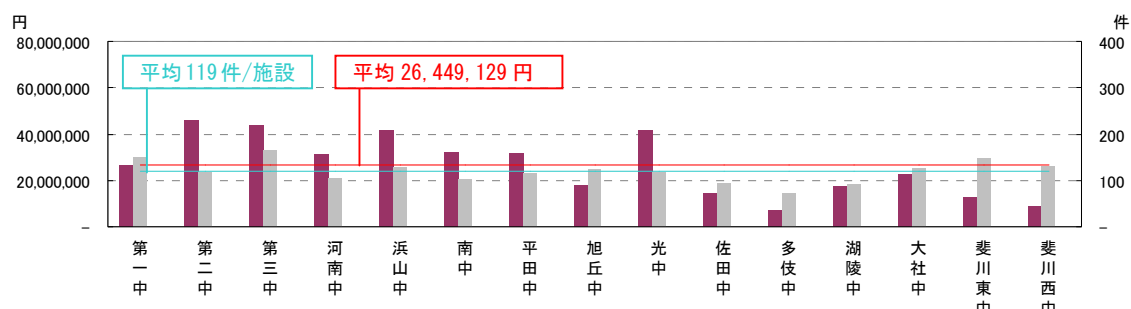


図 13 修繕の総額と総件数（中学校 15 校 全 1,792 件 3 億 9,702 万円 ※修繕校不明分含む）

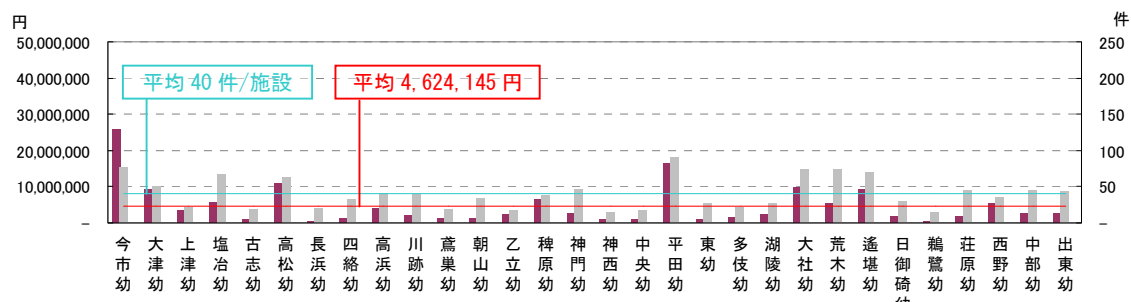


図 14 修繕の総額と総件数（幼稚園 30 園 全 1,215 件 1 億 3,935 万円 ※修繕校不明分含む）

### 過去の修繕実績からみる課題

- 平成 17～22 年の 6 年間における全施設の修繕総額は、15 億円を超える。全施設における修繕に 2.5 億円/年、1 施設あたりの修繕に 290 万円/年が必要であったことが分かる。

施設によって、修繕の総額・総件数が大きく異なることから、教育環境の整備状況にも大きく差があることが推測される。

< 平米単価・年平均件数 >

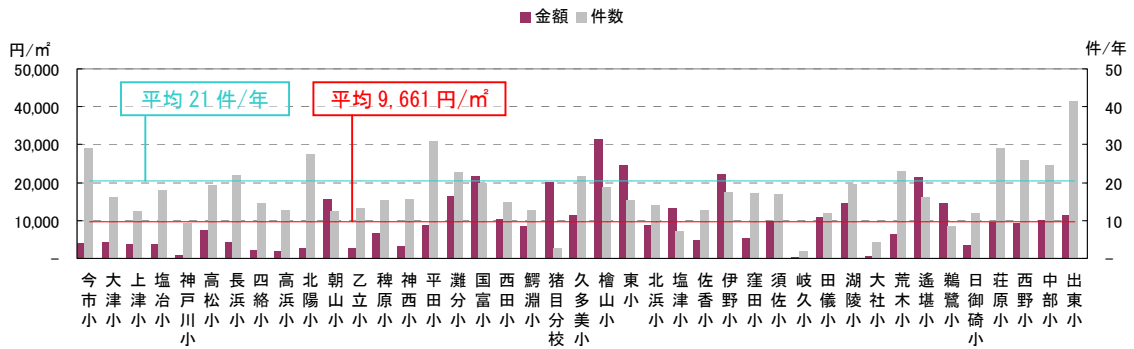


図 15 1㎡あたりの修繕金額と年平均修繕件数（小学校 41 校）

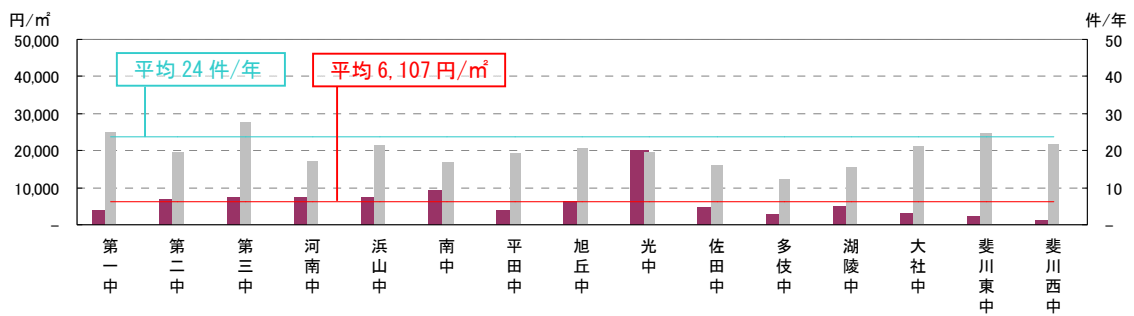


図 16 1㎡あたりの修繕金額と年平均修繕件数（中学校 15 校）

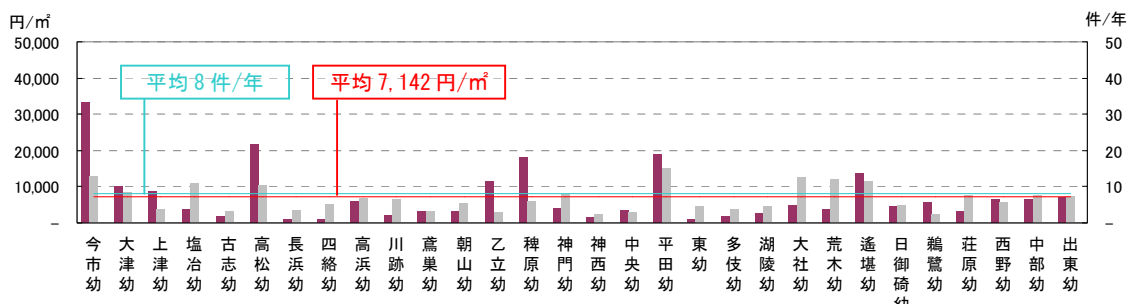


図 17 1㎡あたりの修繕金額と年平均修繕件数（幼稚園 30 園）

- ・ 各施設によって 1㎡あたりの修繕実績は異なるが、6ヶ年における 1㎡あたりの平均修繕金額は、おおむね小学校 1 万円、中学校 6 千円、幼稚園 7 千円となっている。
- ・ 1 施設あたりの年平均修繕件数は、おおよそ小学校 21 件、中学校 24 件以内、幼稚園 8 件である。

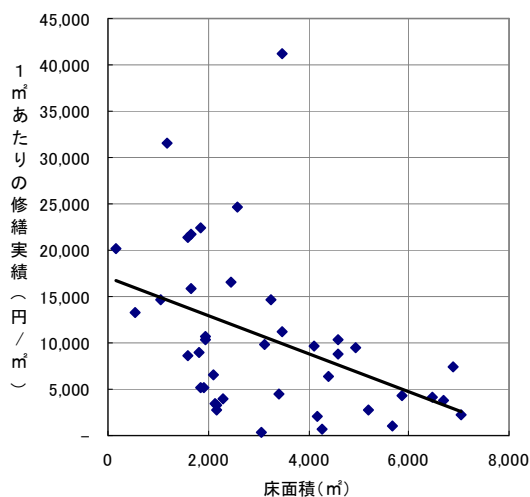


図 18 床面積と修繕実績[円/㎡] (小学校 41 校)

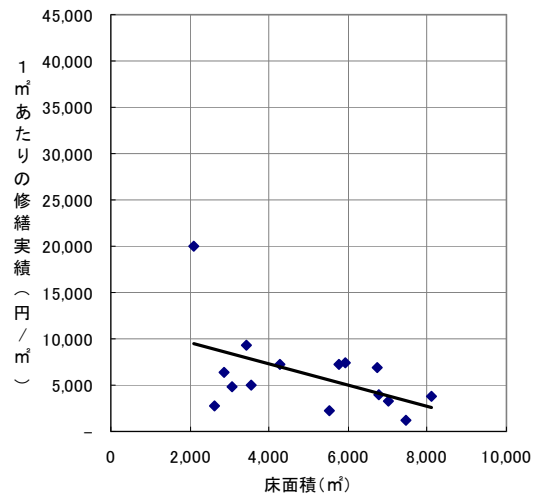


図 19 床面積と修繕実績[円/㎡] (中学校 15 校)

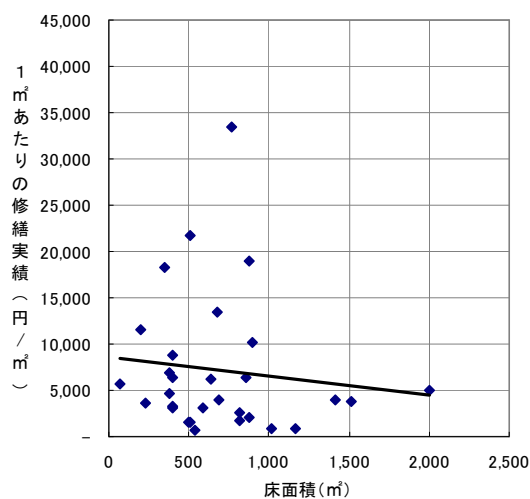


図 20 床面積と修繕実績[円/㎡] (幼稚園 30 校)

### 学校施設の床面積と過去の修繕実績からみる課題

- ・ 小学校では、床面積 4,000 m<sup>2</sup>以内の施設において修繕実績の差が大きい。
- ・ 幼稚園では、床面積 1,000 m<sup>2</sup>以下の施設において修繕実績の差が大きい。
- ・ 修繕記録を参照すると、修繕実績金額の高い施設では、外壁やグラウンドの改修工事が行われていることが分かった。  
 外装の改修工事は、各施設を使い続けるためには必須であるが、一斉に改修時期を迎えると財政的な負担が大きくなり、整備が進まない可能性がある。  
 大規模な工事については優先順位を決め、国庫補助制度を活用しながら計画的な整備を行う必要がある。

## ② 築年数・老朽度による分析

校舎・園舎・屋内運動場について築年数と老朽度の分析を行った。(建替え予定の佐田中学校、建替え中の向陽中学校、荘原幼稚園、小学校に含まれる鶉鷺幼稚園、乙立幼稚園の計5施設は除く)

※校舎・園舎については、施設ごとに同築年数の建物グループでまとめ(104件)、屋内運動場(54件)と合わせて全158件を分析している。(後述の建築環境総合性能評価CASBEEの評価区分も同様)

### 築年数から見る課題

築年数別の件数、プロット図を図21・23に、築年数とIs値の関係を図22に示す。

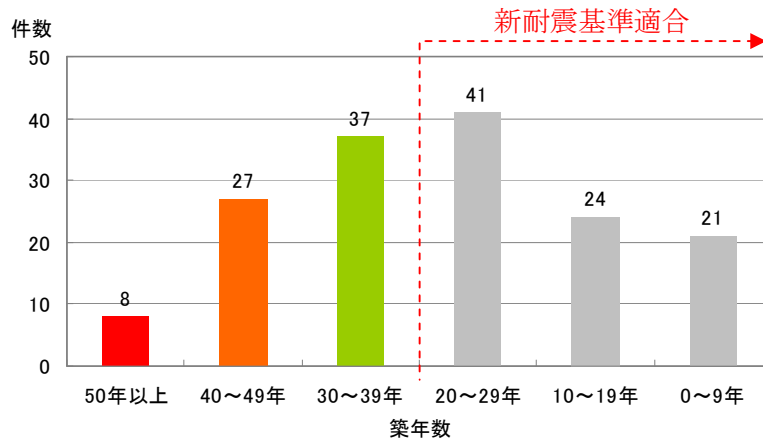


図21 築年数別件数(全158件)

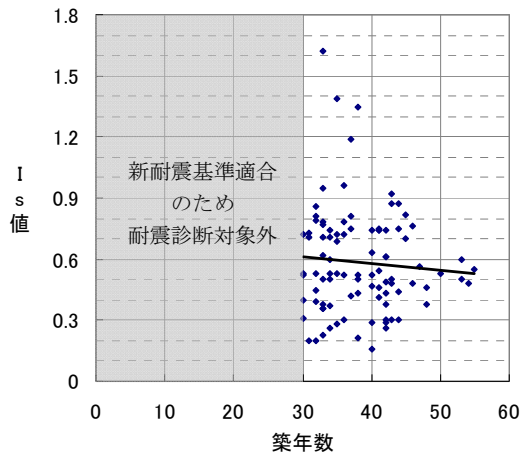


図22 築年数とIs値の関係(非木造 全94棟)

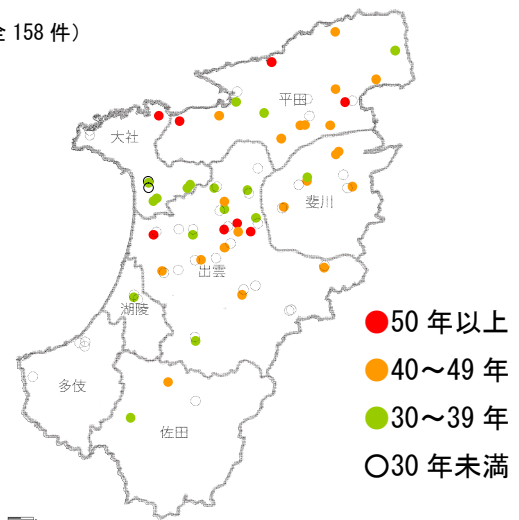


図23 校舎・園舎の築年代別のプロット地図  
※施設ごとに最も古いものを示す

- ・ 図21より、50年以上経過しているものが8件ある。また、50年未満のものについても各年代20件以上あることから、今後、同時期に改修または改築が必要となる建物が数十棟単位で現れることが予測される。
- ・ 図22より、築年数とIs値は、ほとんど関係しない。Is値のみを事業の優先基準とした場合、耐震化以外の施設環境整備については、経年劣化が優先順に反映されないことになる。よって、整備の優先基準に築年数を含むことは妥当であると考えられる。

## 老朽度から見る課題

建物の老朽化の速さは、その周辺環境や使用状況などにより建物ごとに異なるため、単に築年数のみでは、老朽状況の指標とはならないと考えた。

そこで、迅速な計画策定のため、簡易に老朽度の評価対象部位・点数を設定し、これをもとに校舎・園舎（施設ごとの同築年数建物グループ）・屋内運動場について老朽度の総合評価Ⅰ～Ⅳの判定を行った。

## 老朽度の評価方法

評価対象部位※	備考
屋根(屋上防水)	躯体、室内への防水機能
外壁(窓枠含む)	躯体、室内への防水機能
内装	美観・居住性を保つ

※ 老朽度を判断する評価対象部位は『建築物のライフサイクルコスト』（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）を参考し、建築物を構成する躯体以外の必要最低限の項目を抽出した。躯体の評価は、耐震性能によって示す。

① 屋根・外壁・内壁の3部位それぞれを評価し、0～2点を配点

評価対象部位	備考	点数
×	全体的に老朽化が進んでいる	2
△	部分的に老朽化が見られる	1
○	老朽化が見られない	0

② 点数の累計を合計点とする  
③ 合計点により総合評価を決定

合計点	総合評価	備考
6	I	全体的に極めて老朽化
4・5	II	全体的に老朽化
1～3	III	部分的に老朽化
0	IV	老朽化が見られない



## 老朽度評価結果

老朽度評価別の件数、割合、プロット図を図 24～26 に示す。

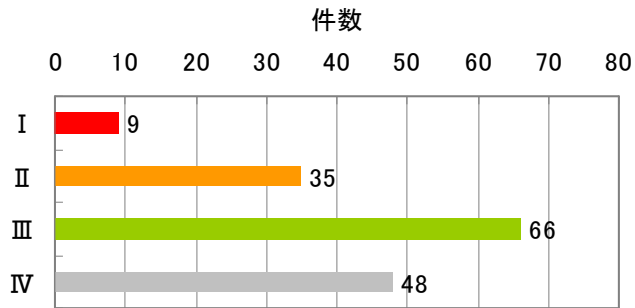


図 24 老朽度別の件数（全 158 件）

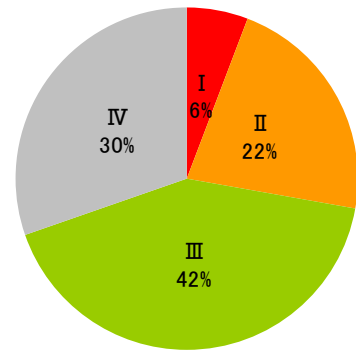


図 25 老朽度別の割合

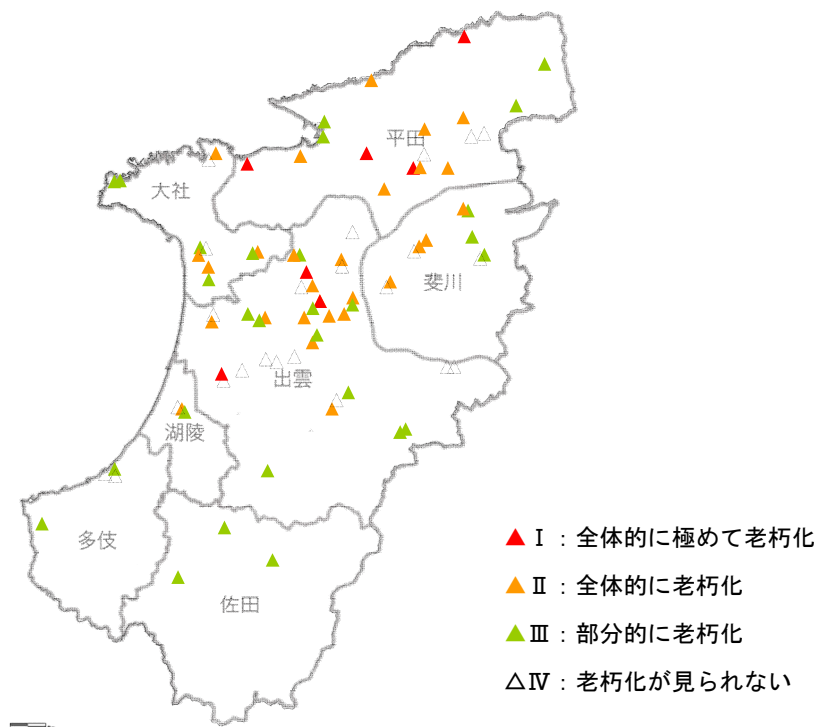


図 26 老朽度別のプロット地図

※施設ごとに最も老朽化の進んでいるものを示す

- ・ 評価 I（全体的に極めて老朽化）、II（全体的に老朽化）は、出雲・平田地域に比較的多く見られる。
- ・ 評価 III（部分的に老朽化）が 66 棟（42%）と最も多い。  
 これらは、老朽度 I・II の予備軍と考えることができるため、将来、全棟数のおよそ 4 割が、同時期または連続して老朽化の進んだ状態を迎えることが予想される。

## 築年数・老朽度から見る課題

築年数・老朽度の分析から、本市の学校施設はある時期にまとまって耐用年数または老朽時期を迎えることが予想される。

次に、老朽度Ⅰ～Ⅳごとに築年数をプロットしたものを示す。

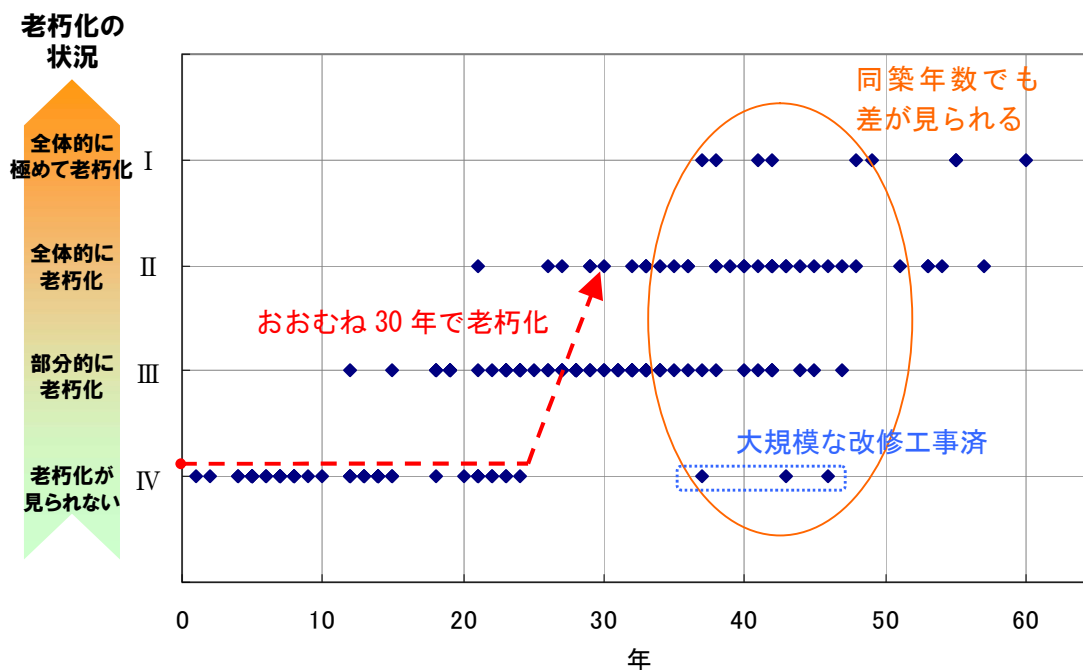


図 27 老朽度別の築年数（校舎・園舎の同築年数グループ、屋内運動場 全 158 件）

- ・ おおよそ築年数と老朽度は比例しているが、同じ築年数のものでも、老朽度には差があることが分かる。
- ・ 築 40～50 年において、老朽度Ⅳ（老朽化が見られない）であるものは、大規模な改修が行われている（上津小学校、神戸川小学校、四絡小学校の施設台帳を参照）。  
したがって築年数が古い建物においても、大規模な改修を行うことで、老朽状況を改善することができると考えられる。
- ・ 老朽度Ⅲ（部分的に老朽化）は、築 10～50 年、老朽度Ⅱ（全体的に老朽化）は築 20～60 年に分布している。
- ・ 老朽度Ⅳ（老朽化が見られない）の評価は、築年数 30 年以内に集中している。
- ・ 部分的な老朽化が建物全体に広がる時間は個々の環境で異なるが、老朽度Ⅳ（老朽化が見られない）から老朽化が進み、全体的に老朽化が見られる状況になるまで、おおむね 30 年かかることが予想できる。

部分的な老朽化については修繕による対応が可能だが、老朽化が建物全体に及ぶ場合には、大規模な改修をすべきである。その工事時期は全体的な老朽化が見られる時期、すなわち築 30 年後程度が妥当と考えられる。

## 2.2.2 修繕・改修の個別課題

各施設からの営繕要望をもとに現地調査を行い、修繕の必要な箇所について緊急度 A~E ランクの評価と試算を行った。ランクとその評価、ランク別の箇所数・課題額を以下に示す。

### 修繕課題のランクとその評価

- A：老朽化が著しく危険であるため可及的速やかに実施が必要な修繕
- B：老朽化が進みおおむね 1 年以内に実施が必要な修繕
- C：概ね 2～3 年以内に実施が必要な修繕
- D：A・B・C 以降に実施が必要な修繕
- EA：改築・大規模改造事業との調整を行って対応する修繕（A ランク該当）
- EB：改築・大規模改造事業との調整を行って対応する修繕（B ランク該当）
- EC：改築・大規模改造事業との調整を行って対応する修繕（C ランク該当）

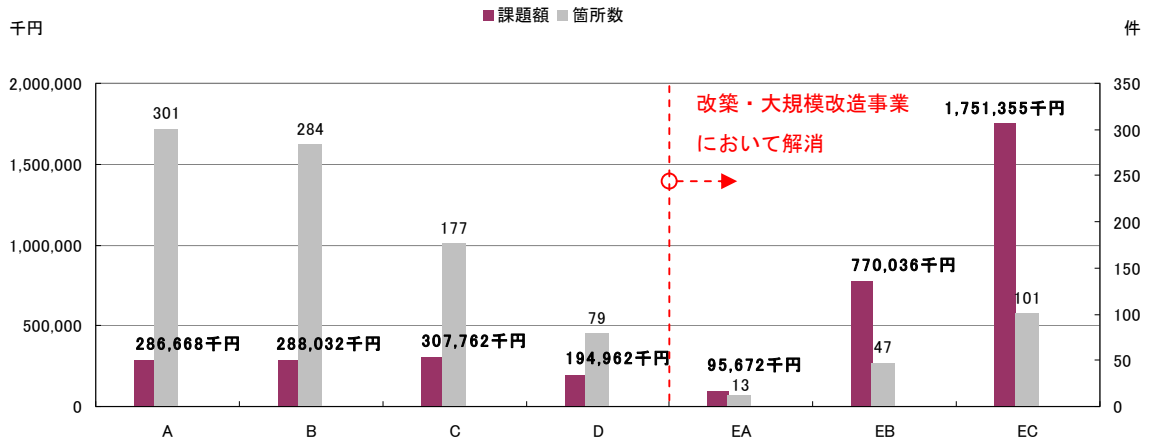


図 28 修繕のランク別課題箇所数と課題額 (合計 3,668,329 千円)

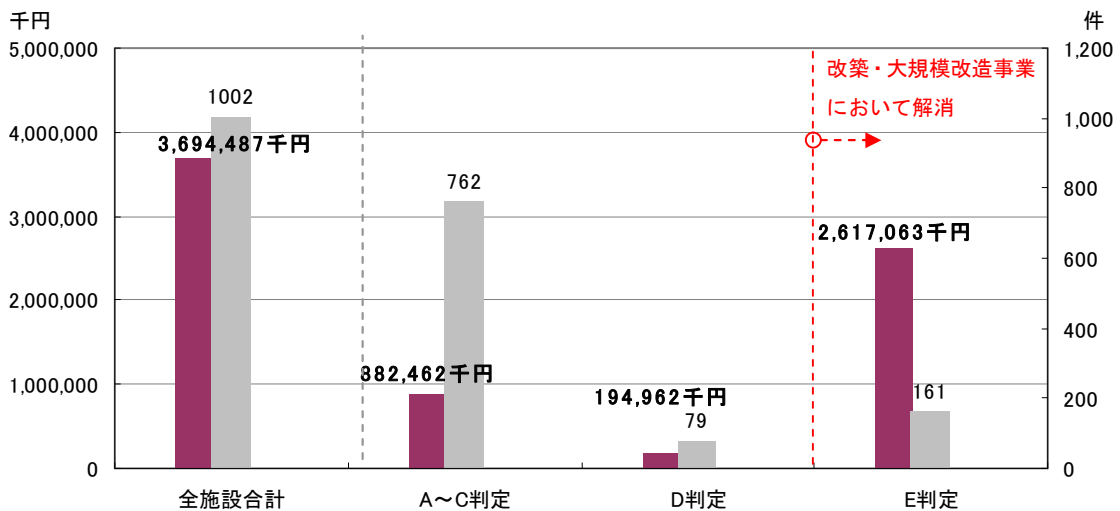


図 29 修繕の合計・ランク別課題箇所数と課題額

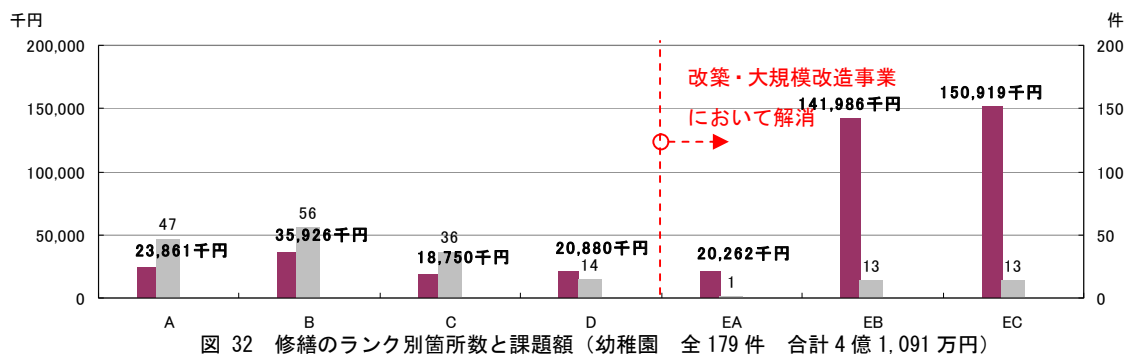
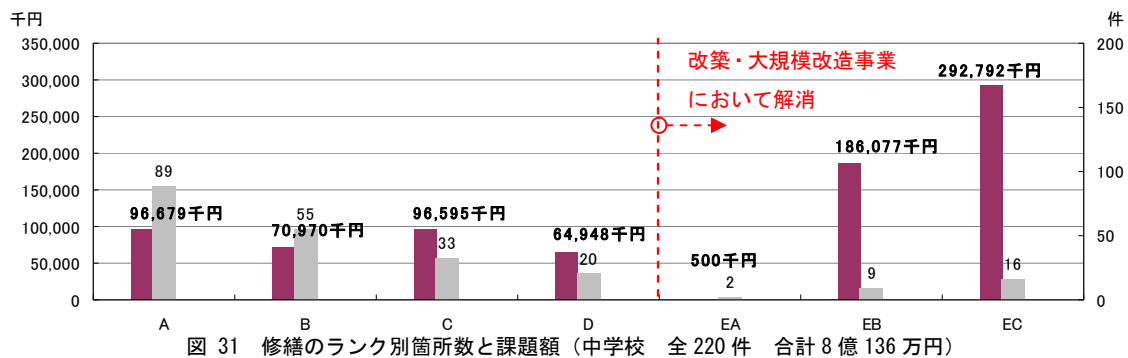
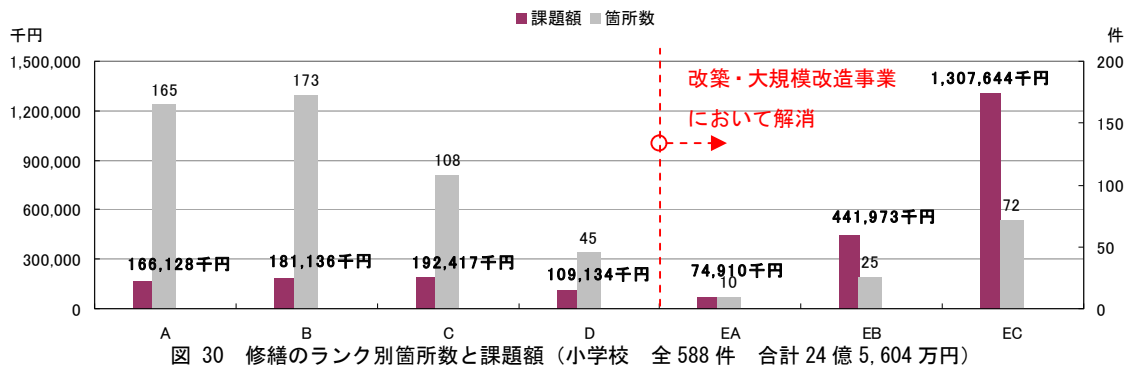
## 修繕課題から見る修繕・改修の課題

- ・ 修繕課題の総額は36億円に上る。
- ・ 判定別に見ると、Eランク（改築や大規模改造事業との調整を行って対応）の課題額が最も高い。課題箇所数は少ないが、課題額が高くなっていることから、老朽箇所の改修が複雑または大規模な工事となることが予想される。

また、A～Cランクに該当するため、遅くとも2～3年以内には工事を行う必要があるものである。

これらは、改築・大規模改造事業が実施されなければ、修繕課題として蓄積されるため、計画的に改築・大規模改造事業を進め、学校施設整備全体の課題を解消していく必要がある。

- ・ おおむね3年以内に修繕を実施する必要があるA～Cランクの課題費が9億円程度あり、早期に課題を解消していく必要がある。



### 2.2.3 共通の改修課題

---

出雲市では、以下4つの主な共通する施設整備が課題となっている。

- ① トイレ改修事業
- ② バリアフリー改修事業
- ③ 教室環境整備（エアコン整備）
- ④ 暖房設備整備

上記①～④について、営繕要望とは別の視点から現地調査を行い、施設ごとの整備課題額を試算した。

## ①トイレ改修事業

トイレ環境整備においては、以下4点を課題としている。

項目	設置箇所・基準	小学校	中学校	幼稚園	学校施設規模
男女共用の解消と間仕切壁の設置※1	・児童生徒用トイレ ・職員トイレ	○	○	○	全て対象
園児・児童・生徒用トイレの洋式化	各トイレに1つ洋式便器を設置	○	○	○	
トイレの水洗化	くみ取りトイレを水洗化	○	○	/	
屋外トイレの設置	屋外から使用可能なトイレを設置	○	○	/	

以下に整備済みの施設の割合を示す。

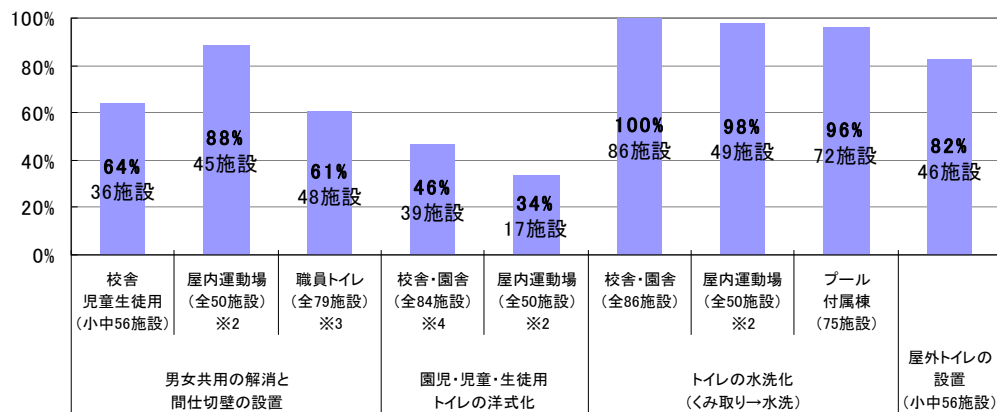
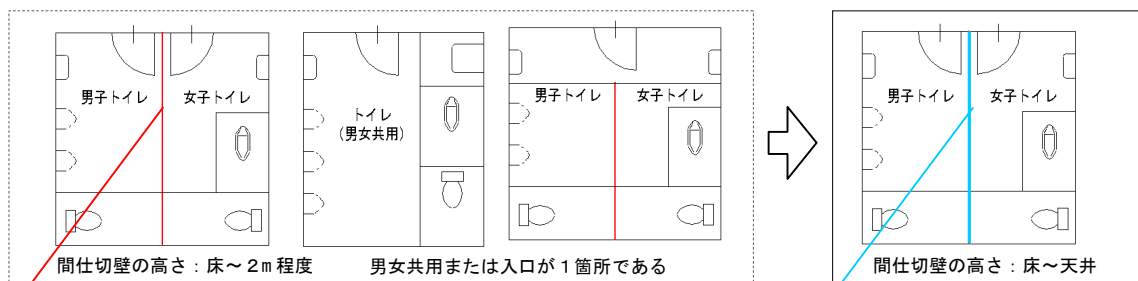


図 33 トイレ環境整備済み施設割合

※ 1 改修内容を以下に示す。



※ 2 屋内運動場にトイレの無い6施設（西田小学校、塩津小学校、佐香小学校、出東小学校、猪目分校および旭丘中学校）を除く。

※ 3 職員が児童・生徒用トイレを利用している施設（鰐淵小学校、東小学校、鶯鷺小学校・幼稚園、猪目分校及び旭丘中学校）、建替中の荘原幼稚園 計7施設を除く

※ 4 小学校を利用している鶯鷺幼稚園、建替中の荘原幼稚園 計2施設を除く

※ 5 プールが未設置である小学校6校、中学校5校、計11校を除く

以下に課題箇所数と課題額を示す。

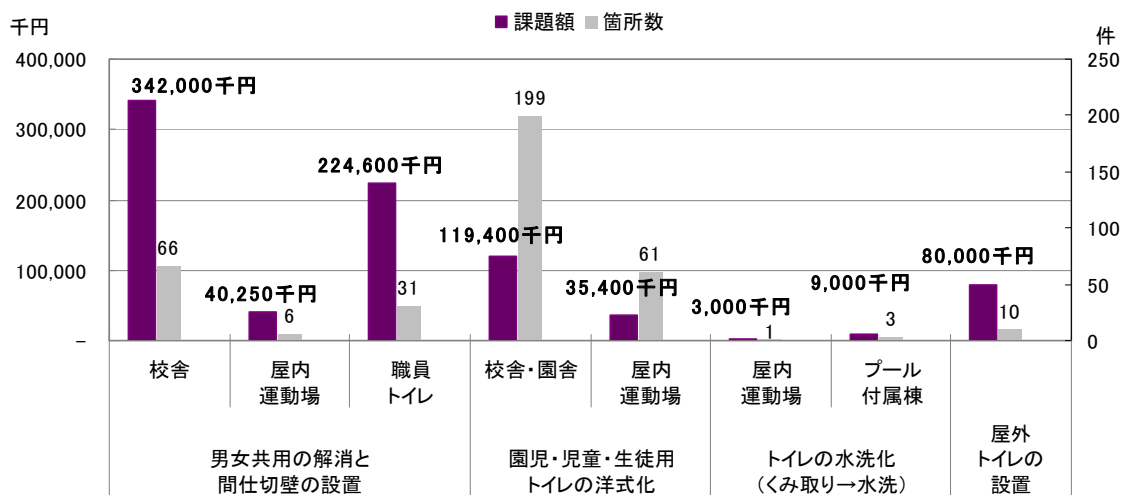


図 34 トイレ改修事業の項目別課題箇所数と課題額（全施設 総額 8 億 5365 万円）

### トイレ改修事業の課題

- 男女トイレが間仕切壁で完全に仕切られていない児童生徒用・職員用トイレがあり、男女間仕切壁の未整備箇所の総数は 100 件に上る。
- 洋式トイレ未整備の便所は、校舎・園舎・屋内運動場合わせて 260 件ある。  
現在、家庭や公共の場におけるトイレのほとんどが洋式化しているおり、和式のみでは子どもたちの学校生活に支障をきたすおそれがある。
- 未だに、くみ取りトイレが屋内運動場 1 棟、プール付属棟 3 棟にある。
- 校庭からの直接利用が可能なトイレ（屋外トイレ）が設置されていない小中学校が 10 校ある。
- トイレ環境整備の課題額は工事費のみで 8 億 5 千万円であり、これに設計・監理費を加えると、整備費総計は 9 億 5 千万円を超える。

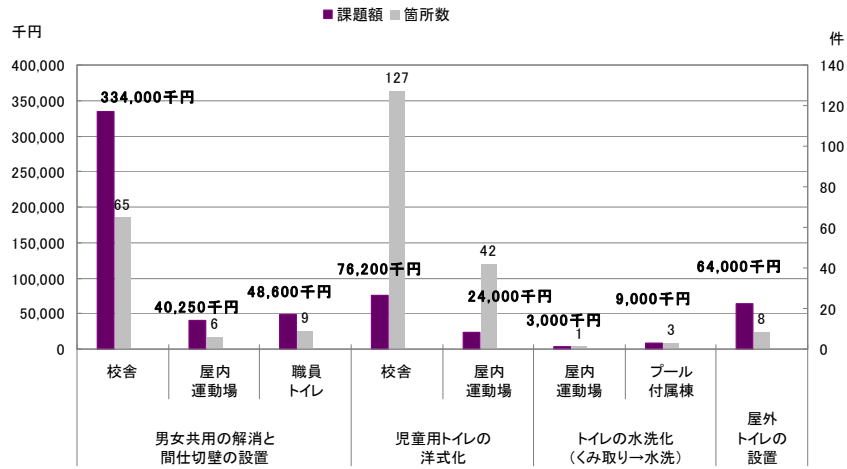


図 35 トイレ改修事業の項目別課題箇所数と課題額（小学校 合計 5 億 9,905 万円）

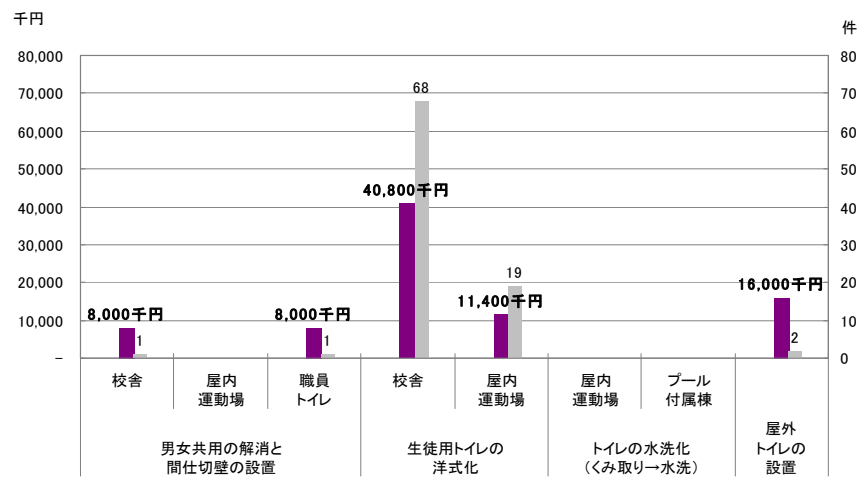


図 36 トイレ改修事業の項目別課題箇所数と課題額（中学校 合計 8,420 万円）

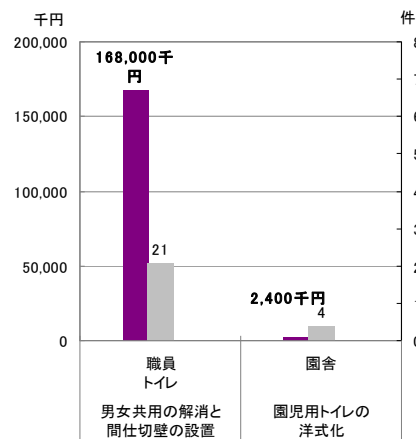


図 37 トイレ改修事業の項目別課題箇所数と課題額（幼稚園 合計 1 億 7,040 万円）

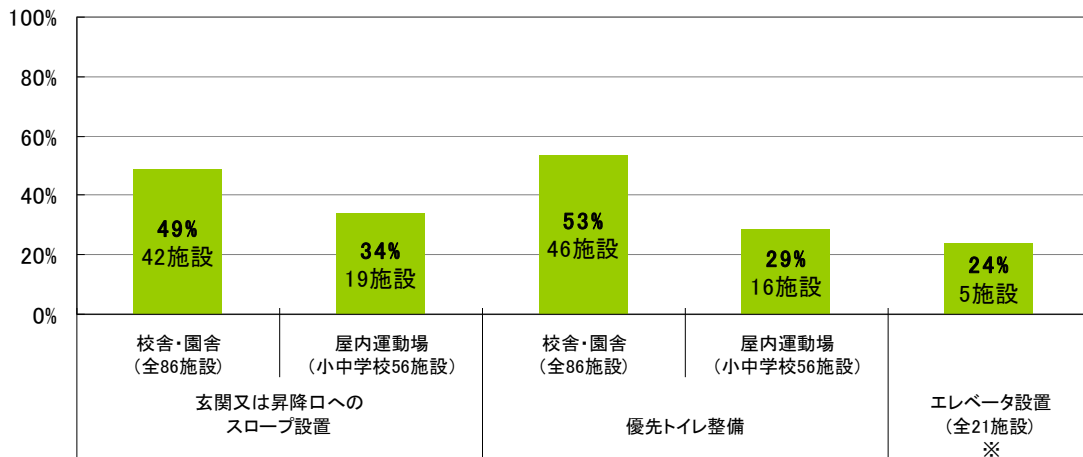


## ②バリアフリー改修事業

バリアフリー化においては、以下3項目を課題としている。

項目	設置箇所	小学校	中学校	幼稚園	学校施設規模
スロープ設置	校舎（園舎）及び屋内運動場の玄関または昇降口	○	○	○	全て対象
優先トイレ整備	校舎（園舎）及び屋内運動場の1階	○	○	○	
エレベータ設置	校舎	○	○		3階以上に教室がある場合、小学校12学級、中学校6学級以上

以下に、整備項目・設置場所ごとの整備割合を示す。



※3階以上に教室がある場合、(小学校12学級、中学校6学級以上)

図 38 スロープ、優先トイレ、エレベータ（対象施設のみ）の整備済み施設割合

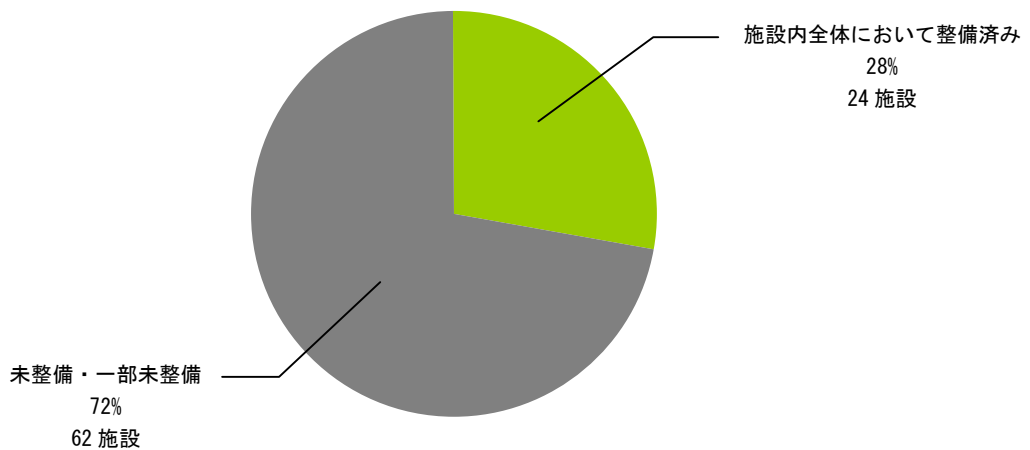


図 39 バリアフリー化3項目すべて整備済み施設割合

以下に課題施設数と課題額を示す。

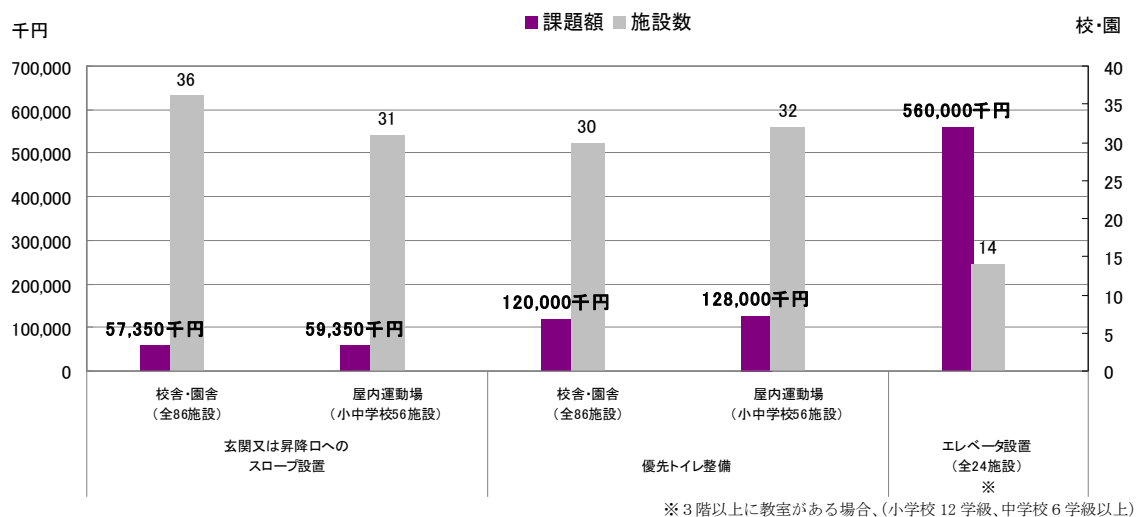


図 40 バリアフリー改修事業の項目別課題施設数と課題額 (全 86 施設 総額 9 億 2,470 万円)

## バリアフリー改修事業の課題

- ・ スロープ未整備施設が校舎・屋内運動場合わせ 49 校・園あり、障がいのある子どもの学校生活に支障をきたす状況にある。
- ・ スロープ、優先トイレの整備課題額は、全施設を対象とし実施する場合、工事費合計 3 億 6,470 万円である。設計・監理費を加えると、総計は 4 億円を上回る。
- ・ エレベータは適正規模校 (小学校 12 学級、中学校 6 学級) 以上、かつ 3 階建以上の校舎を設置対象とすると、14 校 (改築予定の今市小、北陽小を除く) が未設置となっている。

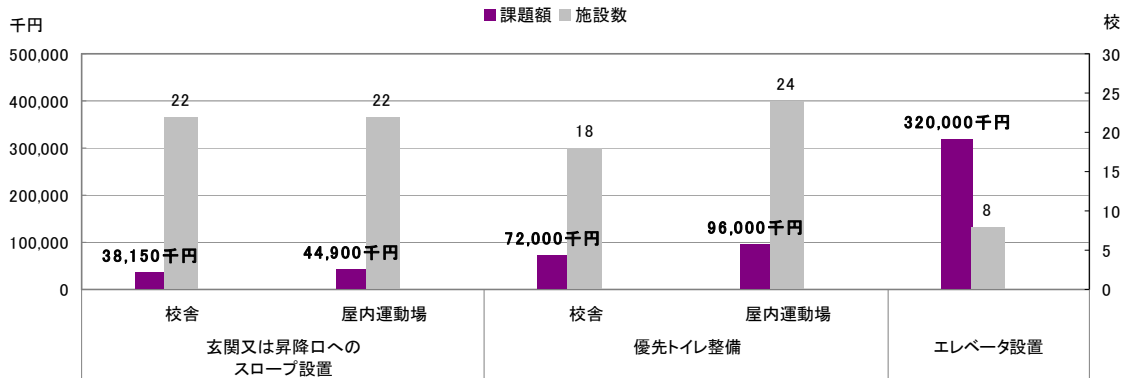


図 41 バリアフリー改修事業の項目別課題箇所数と課題額（小学校 合計 5 億 7,105 万円）

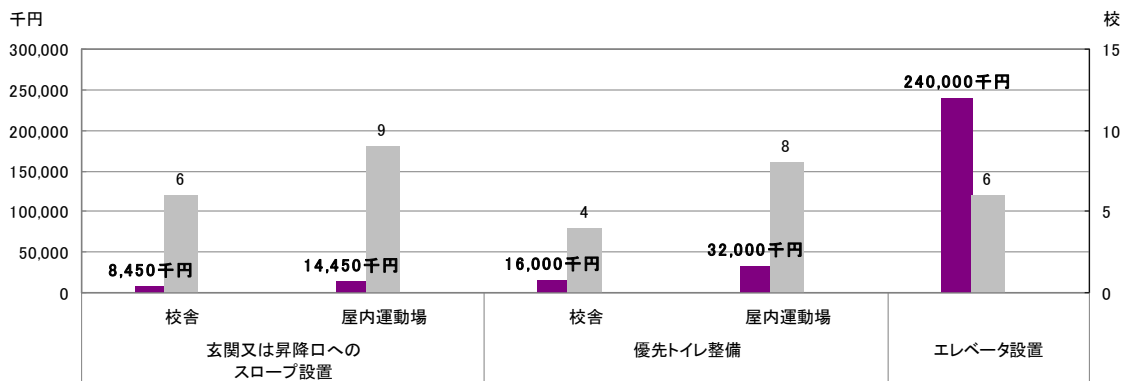


図 42 バリアフリー改修事業の項目別課題箇所数と課題額（中学校 合計 3 億 1,090 万円）

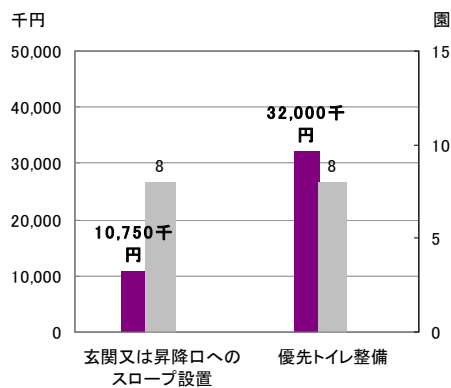


図 43 バリアフリー改修事業の項目別課題箇所数と課題額（幼稚園 合計 4,275 万円）

### ③教室環境整備（エアコン整備）

近年、夏季の猛暑のために教育環境に支障が生じており、適切なエアコン整備が求められている。

エアコン未設置の教室すべてにエアコンを設置した場合の整備費を以下に示す。

※ 概算事業費は、単価＝2.8万円／㎡として計算

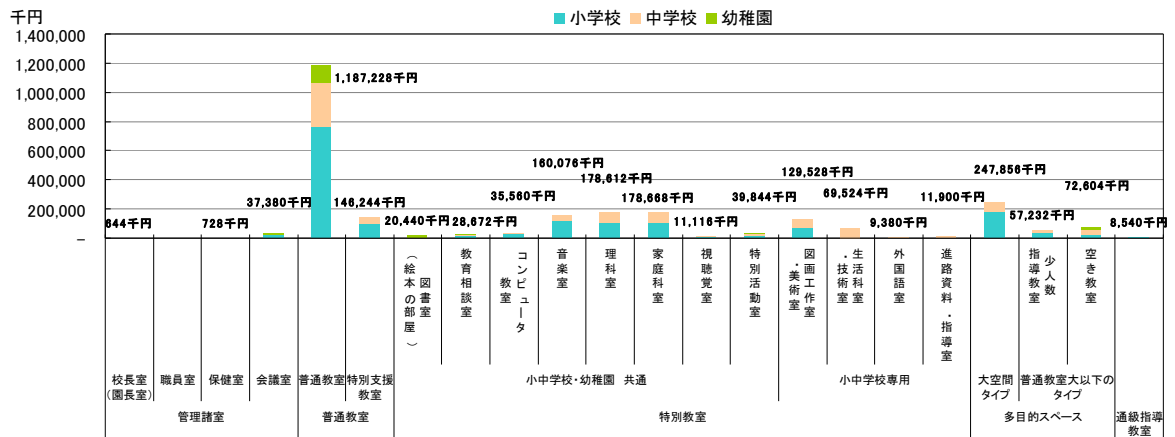


図 44 エアコン未整備室へ設置した場合の整備費（室別）

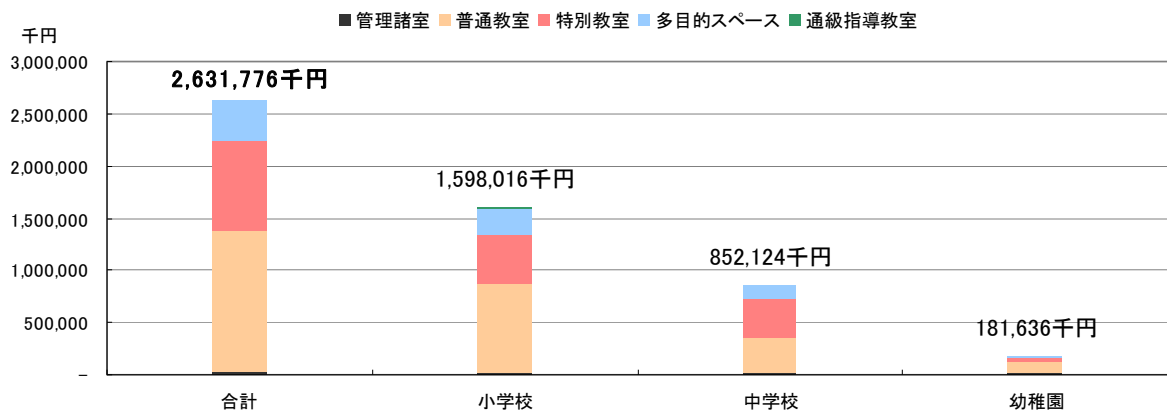


図 45 エアコン未整備室へ設置した場合の整備費（全施設合計、施設小計）

- ・ 全施設の全室に整備した場合、エアコン整備費総額は 26 億円を上回る。
- ・ 室別では普通教室の整備額が 10 億円を上回り最も高い。
- ・ 小学校の全室整備額だけで 15 億円を上回り最も高い。これは小学校の施設数が多く、また 1 施設当りの普通教室・特別教室の数も多いためである。

## <整備対象室について>

小中学校・幼稚園の全ての教室（保育室）及び管理諸室にエアコンを新設する場合、図44・45に示すとおり、約26億円が必要となる。

また、設置後においても耐用年数に達した段階で膨大な取替費も必要となることから、今後の出雲市の財政状況では、よほど有利な財源（補助制度）が無い限り整備が困難と考えられる。

よって、当面の間においては、学校（園）からの要望が高く、3.2に定める「学校施設の耐震補強・改築・大規模改造・修繕工事（校舎・園舎リフレッシュ事業）の計画基準」に掲げる次の整備対象室への新設・取替を進めることとする。

整備対象室

小中学校	職員室、校長室、保健室、会議室、相談室、図書室、コンピュータ教室、音楽室
幼稚園	職員室、預かり保育室

以下に整備対象室の整備課題額を示す。

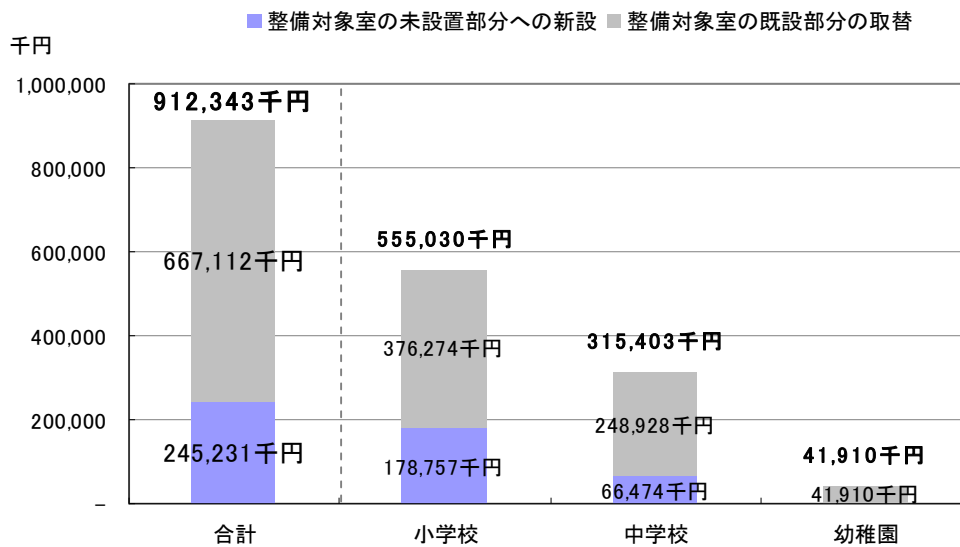


図 46 整備対象室に設置した場合の課題額

## エアコン整備の課題

- ・ 整備対象室への新設・取替整備課題額の合計は9億円を上回る。設備機器の耐用年数は、一般におおよそ20年といわれており、整備対象室を設定しても毎年4500万円以上の整備費が必要となることが予想される。
- ・ 小学校では職員室と図書室の取替工事にそれぞれ1億円程度が見込まれる。
- ・ 小中学校ともに、音楽室への新設課題額が多い。

■ 新設工事 ■ 取替工事

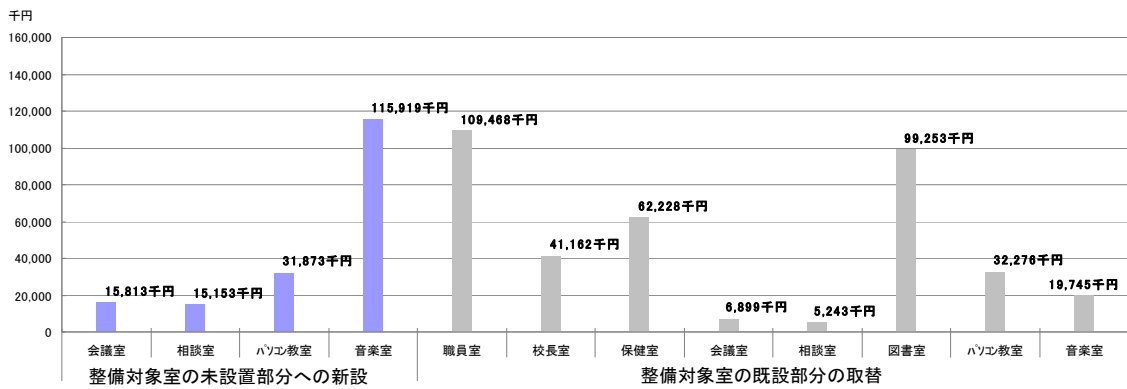


図 47 エアコンの整備予定床面積と概算（小学校）

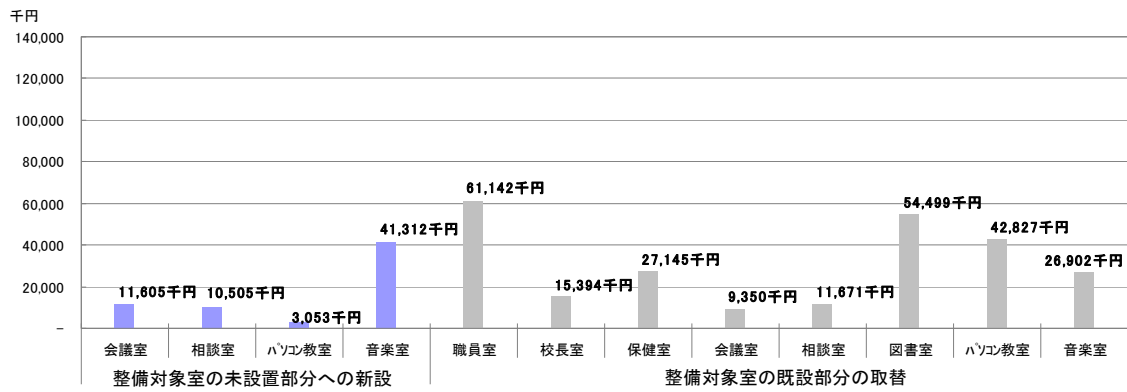


図 48 エアコンの整備予定床面積と概算（中学校）

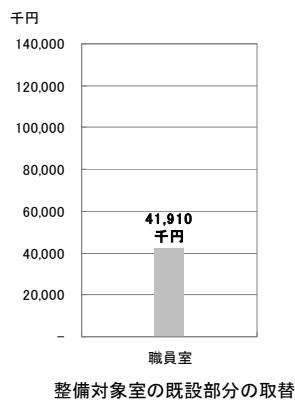


図 49 エアコンの整備予定床面積と概算（幼稚園）

#### ④暖房設備整備

以下に現在使用されている暖房方式とその熱源の内訳を示す。

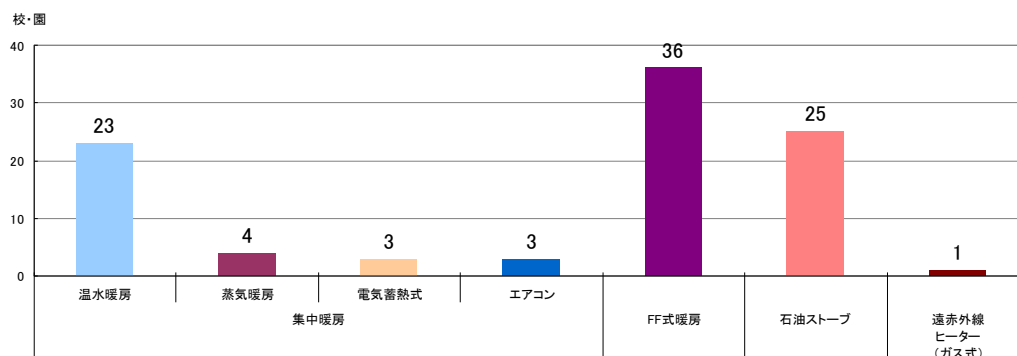


図 50 各暖房方式を導入している施設数（全 86 施設 ※建設中の向陽中含む、同一施設における複数利用あり）

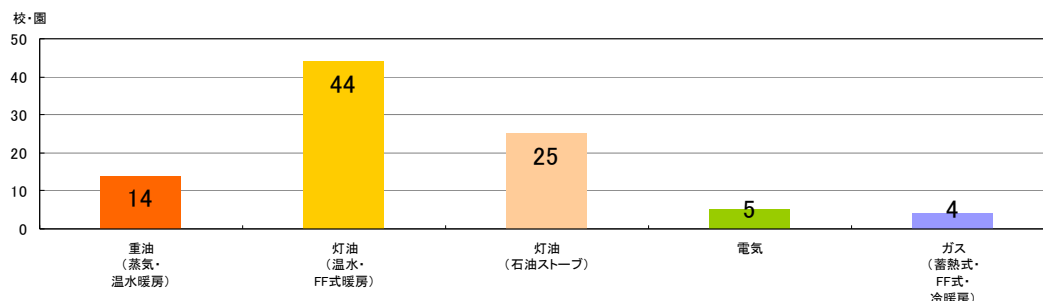


図 51 暖房設備の熱源の内訳

#### 暖房の種類

##### ●集中方式

- ・ 温水暖房：  
ボイラで加熱した 70～80℃の温水を配管によって放熱器に運び、各室を暖める。
- ・ 蒸気暖房：  
ボイラで発生した蒸気を配管によって放熱器に運び、各室を暖める。
- ・ 電気蓄熱暖房：  
レンガに蓄熱し、その輻射熱を利用し自然放熱や温風を送風し各室を暖める。
- ・ 冷暖房（電気式、ガス式）：  
冷媒（フロンガス）を電気またはガスによって、暖めたり、冷やしたりして温風、冷風で冷暖房を行う。

##### ●個別方式

- ・ FF 式暖房：  
室外から燃焼用空気を取り込み、ガスや灯油などで発生させた熱をファンによって送風し、室内を暖める。
- ・ ストーブ：  
灯油の燃焼エネルギーで発生した熱を放熱し、ストーブ周辺を暖める。

#### 暖房設備整備の課題

- ・ 蒸気暖房が 4 施設で使用されている。維持管理にはボイラ技師が必要となり、メンテナンスのコストが比較的高くなる。
- ・ 熱源別では、灯油が 8 割近くを占め、うち 3 割はストーブの暖房による。
- ・ FF 式暖房は、使用年数 20 年程度を過ぎ老朽化した場合には、取替え部品が無く、本体取替え工事を余儀なくされる。1 機あたり 20 万円程度を要する。

## 年間燃料購入費から見る暖房設備整備の課題

各施設の燃料使用量を比較するため、それぞれの年間燃料購入費（平成 21～22 年平均値）を用いて各施設のエネルギー消費効率の比較を行った。

燃料購入費は重油・灯油・ガソリンの購入費で、ガス代は含まれていない。ガソリンの購入比率は重油・灯油に比べ少ないため、燃料購入費の差を、おおむね暖房エネルギー源の使用量の差として捉えた。

以下に床面積と 1 m<sup>2</sup>あたりの年間燃料購入費の関係を示す。

※暖房方式：■蒸気暖房 ■温水暖房 ■電気蓄熱式暖房 ■FF 式またはストーブ □FF 式+ストーブ

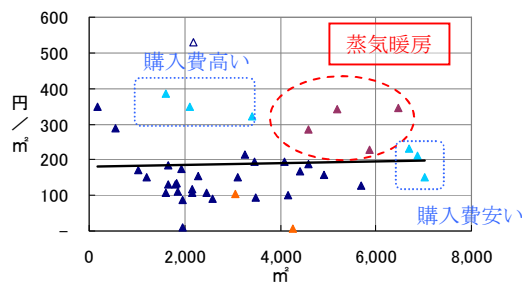


図 52 床面積と年間燃料購入費（小学校 41 校）

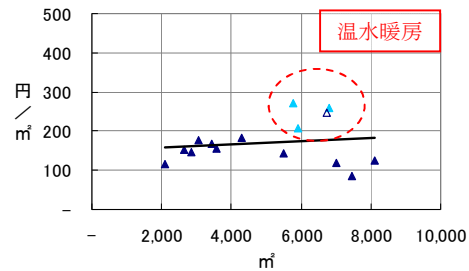


図 53 床面積と年間燃料購入費（中学校 15 校）

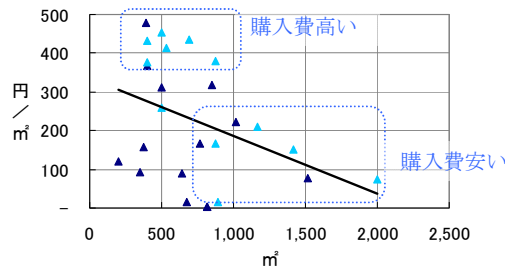


図 54 床面積と年間燃料購入費（幼稚園 26 園）

- 小中学校ともに、おおむね 2,000 m<sup>2</sup>以上で集中暖房方式（蒸気暖房・温水暖房）を利用している。両方式の燃料購入費が比較的高いため、床面積が増えるほど購入費が高くなっていると考えられる。

集中暖房方式では、蒸気や温水が配管を通過して居室に至るまでに、熱のロスが発生し、燃料が余分にかかることが推測される。

また蒸気・温水暖房方式では、ボイラ・配管にわたる広範囲なメンテナンスが欠かせず、使い続けるためには、更に維持管理費用が必要となる。

- 温水暖房に注目すると、小学校、幼稚園ともに、購入費が高いグループと安いグループに分かれている。床面積が大きいほど、購入費が安くなっていることから、温水暖房は床面積の大きい施設ほど経済的に運用できることが推測される。

施設規模に合った暖房方式の採用、エネルギー消費実態のモニタリングを行うことで、各施設における適切かつ経済的なエネルギー利用を図ることが望ましい。



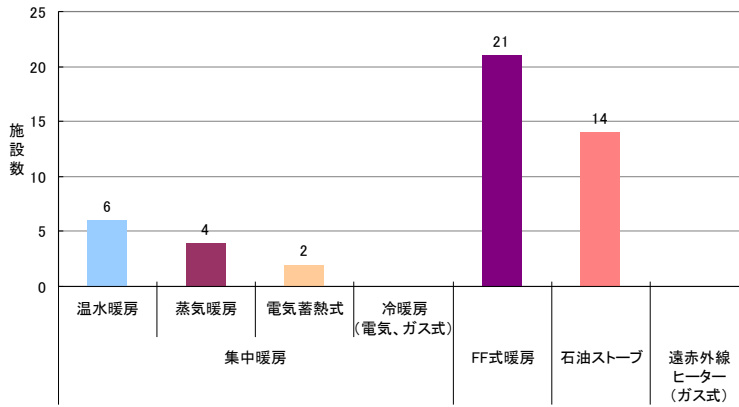


図 55 暖房方式別の使用施設数と割合（小学校 41 校 ※同一施設における複数利用あり）

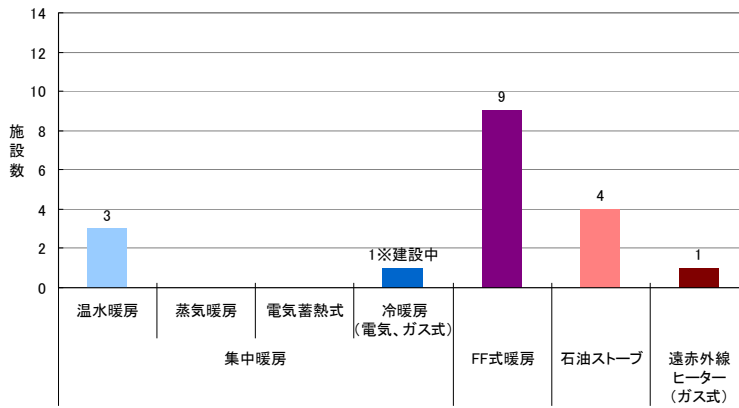


図 56 暖房方式別の使用件数と割合（中学校 15 校 ※同一施設における複数利用あり）

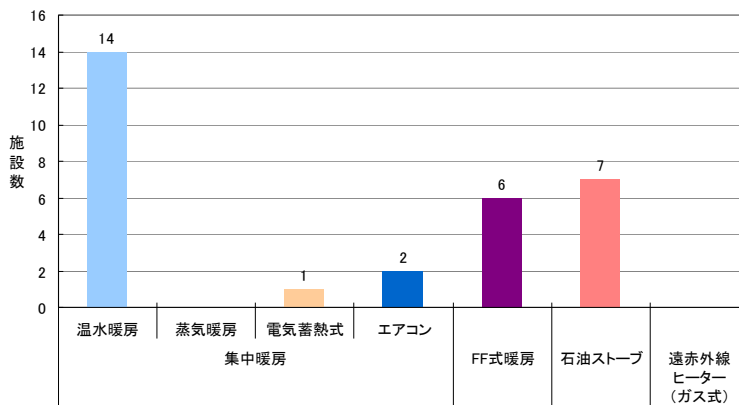


図 57 暖房方式別の使用施設数と割合（幼稚園 30 園 ※同一施設における複数利用あり）

学校施設の暖房設備の状況

平成23年度現在

No.	学 校 名	暖房方式(種別)				保守点検(委託)状況					
		集中暖房方式 (冷暖房を含む)	伝熱 面積 (㎡)	FF式暖房方式	ストーブ	ボイラーの保守・点検			地下タンク 点検清掃 ※4	温水ヒーター 保守点検 ※5	GHP 保守点検 ※6
						缶体整備 ※1	性能検査 ※2	ばい煙測定 ※3			
小 学 校	1 今市小学校	●蒸気暖房(A重油)	21.2			○	○	○	○		
	2 大津小学校	●蒸気暖房(A重油)	19.3	○(新館)		○	○	○	○		
	3 上津小学校			○(灯油)					○		
	4 塩冶小学校	○温水暖房(真空式)(A重油)	14.7					○	○	○	
	5 神戸川小学校			○(灯油)					○	○	
	6 高松小学校	○温水暖房(真空式)(A重油)	13.1					○	○	○	
	7 長浜小学校	○温水暖房(無圧式)(A重油)	9.9	○(灯油;旧館)				○	○	○	
	8 四絡小学校	○温水暖房(無圧式)(灯油)	19.8	○(灯油;北館1F)				○	○	○	
	9 高浜小学校			○(灯油)					○	○	
	10 北陽小学校	●蒸気暖房(A重油)	15.6	○(灯油;南館)		○	○	○	○	○	
	11 朝山小学校			○(灯油)					○	○	
	12 乙立小学校			○(灯油)					○	○	
	13 稗原小学校	○温水暖房(無圧式;ランチルーム)	3.1	○(灯油)					○	○	○
	14 神西小学校	(蒸気暖房廃止)	-	○(一部ガス式)	○	-	-	-	-	-	-
	15 平田小学校	●蒸気暖房(A重油)				○	○	○	○	○	
	16 瀬分小学校				○						
	17 国富小学校				○						
	18 西田小学校				○						
	19 鵜淵小学校				○						
	20 鵜淵小学校猪目分校				○						
	21 久多美小学校				○						
	22 檜山小学校				○						
	23 東小学校				○						
	24 北浜小学校				○						
	25 塩津小学校				○						
	26 佐香小学校				○						
	27 伊野小学校				○						
	28 窪田小学校				○(灯油)						
	29 須佐小学校				○(灯油)					○	
	30 岐久小学校	■電気蓄熱式暖房									
	31 田儀小学校				○(灯油)					○	
	32 湖陵小学校				○(灯油)					○	
	33 大社小学校	■電気蓄熱式暖房(一部GHP冷暖房)									○
	34 荒木小学校				○(灯油)					○	
	35 遙堪小学校	○温水暖房(真空式)	8.66			○	○		○	○	
	36 日御碕小学校				○(灯油)					○	
	37 鶺鴒小学校				○						
	38 荘原小学校				○(灯油)					○	
	39 西野小学校				○(灯油)					○	
	40 中部小学校				○(灯油)					○	
	41 出東小学校				○(灯油)					○	
中 学 校	1 第一中学校	○温水暖房(真空式)(A重油)	16.4					○	○	○	
	2 第二中学校	(蒸気暖房廃止)	-	○(灯油;新館)	○	-	-	-	-	-	
	3 第三中学校	○温水暖房(真空式)(A重油)	9.9					○	○	○	
	4 河南中学校			○(灯油)					○	○	
	5 浜山中学校	○温水暖房(真空式)(A重油)	14.7					○	○	○	
	6 南中学校			○(灯油)					○	○	
	7 平田中学校	ガス式遠赤外線ヒーター(多目的室)		○(灯油)					○		
	8 旭丘中学校	(向陽中;冷暖房(電気式))			○						
	9 光中学校				○						
	10 佐田中学校			○(灯油)					○		
	11 多伎中学校			○(灯油)					○		
	12 湖陵中学校			○(灯油)					○		
	13 大社中学校				○						
	14 斐川東中学校			○(灯油)					○		
	15 斐川西中学校			○(灯油)					○		
幼 稚 園	1 今市幼稚園				○						
	2 大津幼稚園	○温水暖房(無圧式)(灯油)	4.9							○	
	3 上津幼稚園	○温水暖房(無圧式)(灯油)	2.56							○	
	4 塩冶幼稚園			○(ガス式)							
	5 古志幼稚園	○温水暖房(無圧式)(灯油)	3.1							○	
	6 高松幼稚園				○						
	7 長浜幼稚園	○温水暖房(無圧式)(灯油)	2.77							○	
	8 四絡幼稚園	○温水暖房(無圧式)(灯油)	4.9						○		
	9 高浜幼稚園				○						
	10 川跡幼稚園	○温水暖房(無圧式)(灯油)							○		
	11 意農幼稚園	○温水暖房(無圧式)(灯油)	2.2							○	
	12 朝山幼稚園	○温水暖房(無圧式)(灯油)	4.9							○	
	13 乙立幼稚園				○						
	14 稗原幼稚園										
	15 神門幼稚園	○温水暖房(無圧式)(灯油)	4.9						○	○	
16 神西幼稚園	○温水暖房(無圧式)(灯油)	2.77							○		
17 中央幼稚園	○温水暖房										
18 平田幼稚園				○							
19 東幼稚園	○温水暖房(無圧式)(灯油)(一部GHP冷暖房)	4.9						○	○		
20 多伎幼稚園	★冷暖房(ガス式)										
21 湖陵幼稚園	★冷暖房(電気式)										
22 大社幼稚園				○							
23 荒木幼稚園	○温水暖房(貯湯式密閉)(A重油)	3.95						○	○		
24 遙堪幼稚園	○温水暖房(小学校とボイラーが兼用)										
25 日御碕幼稚園				○							
26 鶺鴒幼稚園				○							
27 荘原幼稚園	■電気蓄熱式暖房										
28 西野幼稚園				○(灯油)							
29 中部幼稚園				○(灯油)							
30 出東幼稚園				○(灯油)							

(注) ※1 ボイラー缶体整備:ボイラー性能検査対象となるボイラー設備の燃焼室・煙道等の清掃及び点検

※2 ボイラー性能検査:ボイラー・配管の配置状況や燃焼室・煙道の構造などを年1回検査【法定】 [根拠法]:労働安全衛生法第41条・ボイラー及び压力容器安全規則第38条

※3 ボイラーばい煙測定:伝熱面積10㎡以上又はパター燃焼能力50t/h(重油換算)以上の設備のばい煙濃度を測定【法定】 [根拠法]:大気汚染防止法第16条・同施行令第2条 (伝熱面積・熱交換装置の伝熱に寄与している表面の面積。ボイラーやファンコイルなどで伝熱量を計算するのに必要。10㎡以上は大気汚染防止法施行令に基づき、ばい煙測定が必要となる。)

※4 地下タンク点検清掃:地下タンクの漏えい点検・タンク清掃(毎年5~6校を順次清掃)【法定】 [根拠法]:消防法第14条の3の2

※5 温水ヒーター保守点検:温水ヒーター及びボイラー性能検査の対象外となるボイラー設備の燃焼室・煙道等の清掃及び点検

※6 GHP保守点検:冷暖房設備GHP

## 地下オイルタンク

本市の学校施設には暖房熱源のための地下オイルタンクが設置されている。これらには年1回の定期点検が必須である。また、平成23年の消防法改正により、設置後40～50年を超えたタンクについては、繊維強化プラスチック（FRP）加工または電極埋め込みによる腐食防止策を行うことが義務付けられている。

経過措置として、改修の猶予年度は平成25年（2013年）2月までとなっている。

本市では、学校施設のタンクについて腐食判定を行い、改修の課題額を試算した。以下に経過年数別、塗覆装種類別の腐食判定を示す。

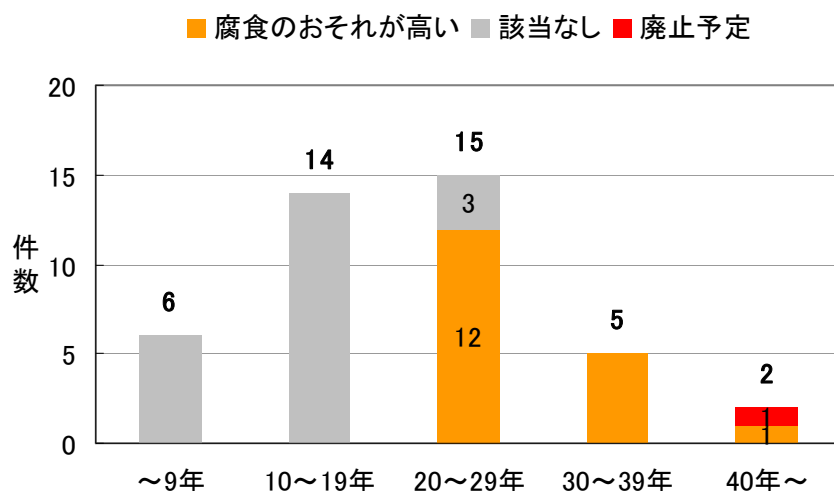


図 58 地下オイルタンク経過年数別の腐食判定（全 42 件 ※該当なし：腐食想定年数の基準なし）

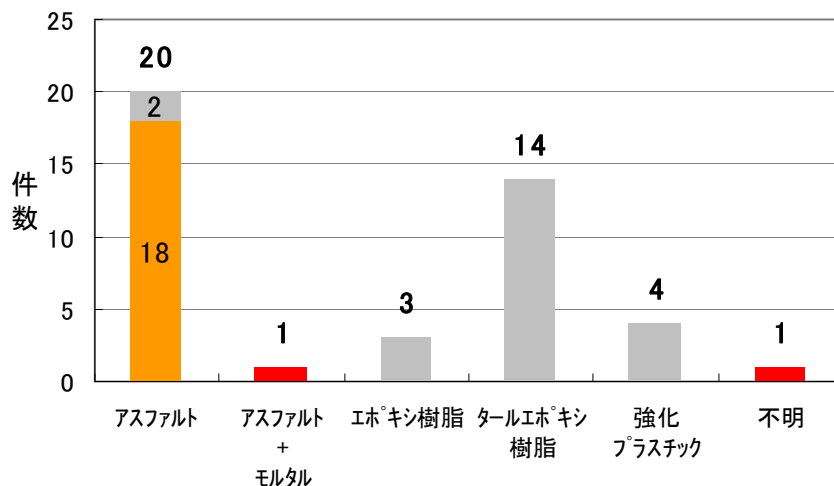


図 59 地下オイルタンク塗覆装種類別の腐食判定（全 42 件 ※該当なし：腐食想定年数の基準なし）

- ・ 経過年数 20 年以上の地下タンクに「腐食のおそれが高い」判定が見られる。

地下オイルタンク現況一覧（小学校 24 校、中学校 12 校、幼稚園 5 園）平成 23 年度現在

	施設名	燃料	型式	容量	設置年月日	経過年数	塗覆装の種類	設計板厚(mm)	腐食想定該当年数	改修必要年度	工事費(税込み)
小学校	1 今市小	A重油	鋼板製横置円筒型	10.0KL	S54.4.3	32年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2018年度	¥1,995,000
	2 大津小	A重油	鋼板製横置円筒型	3.0KL	S49.11.12	36年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2014年度	¥1,627,500
	2	灯油	鋼板製横置円筒型	3.0KL	H9.7.16	14年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2046年度	¥1,627,500
	3 上津小	灯油	鋼板製横置円筒型	5.0KL	H10.2.16	13年	エポキシ樹脂	6	50年以上	2047年度	¥1,732,500
	4 塩冶小	A重油	鋼板製横置円筒型	10.0KL	H1.3.20	22年	アスファルト	9	40年以上50年未満	2028年度	¥1,995,000
	5 神戸川小	灯油	鋼板製横置円筒型	5.0KL	H18.3.14	5年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2055年度	¥1,732,500
	6 高松小	A重油	鋼板製横置円筒型	10.0KL	S58.4.4	28年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2022年度	¥1,995,000
	7 長浜小	A重油	鋼板製横置円筒型	10.0KL	S63.9.28	22年	アスファルト	9	40年以上50年未満	2028年度	¥1,995,000
	8 四絡小	灯油	SF2重殻タンク	6.0KL	H19.6.20	4年	強化プラスチック	6	該当なし	該当なし	-
	9 高浜小	灯油	鋼板製横置円筒型	3.0KL	H6.3.14	17年	エポキシ樹脂	6	50年以上	2043年度	¥1,627,500
	10 北陽小	A重油	鋼板製横置円筒型	10.0KL	H8.5.24	15年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2035年度	¥1,995,000
	10	灯油	鋼板製横置円筒型	3.0KL	H11.2.26	12年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2048年度	¥1,627,500
	11 朝山小	灯油	鋼板製横置円筒型	3.0KL	H16.8.24	7年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2053年度	¥1,627,500
	12 乙立小	灯油	鋼板製横置円筒型	1.9KL	S60.3.25	26年	アスファルト	4.5	30年以上40年未満	2014年度	¥1,575,000
	13 稗原小	灯油	鋼板製横置円筒型	5.0KL	H4.10.9	18年	エポキシ樹脂	6	50年以上	2042年度	¥1,732,500
	14 平田小	A重油	鋼板製横置円筒型	7.0KL	S42.12.27	45年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2012年度	¥1,785,000
	15 須佐小	灯油	鋼板製横置円筒型	1.9KL	S59.2.28	27年	アスファルト	4.5	40年以上50年未満	2023年度	¥1,575,000
	16 田儀小	灯油	鋼板製横置円筒型	1.9KL	S58.2.8	28年	アスファルト	4.5	40年以上50年未満	2022年度	¥1,575,000
	17 湖陵小	灯油	鋼板製横置円筒型	6.0KL	S49.4.23	37年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2013年度	¥1,785,000
	18 荒木小	灯油	鋼板製横置円筒型	10.0KL	H4.12.16	18年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2032年度	¥1,995,000
	19 遙堪小	A重油	鋼板製横置円筒型	5.0KL	S51.2.25	35年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2015年度	¥1,732,500
	20 日御碕小	灯油	鋼板製横置円筒型	1.0KL	H2.3.9	21年	アスファルト	4.5	30年以上40年未満	2019年度	¥1,417,500
	21 莊原小	灯油	鋼板製横置円筒型	6.0KL	H6.9.19	17年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2043年度	¥1,785,000
	22 西野小	灯油	鋼板製横置円筒型	3.0KL	H12.10.5	11年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2049年度	¥1,627,500
23 中部小	灯油	鋼板製横置円筒型	3.0KL	H4.8.25	19年	タールエポキシ樹脂	4.5	50年以上	2041年度	¥1,627,500	
24 出東小	灯油	鋼板製横置円筒型	3.0KL	H2.9.10	21年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2039年度	¥1,627,500	
中学校	25 第一中	A重油	鋼板製横置円筒型	10.0KL	S61.8.21	25年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2025年度	¥1,995,000
	26 第三中	A重油	SF2重殻タンク	6.0KL	H18.3.14	5年	強化プラスチック	6	該当なし	該当なし	-
	27 河南中	灯油	鋼板製横置円筒型	5.0KL	H2.10.8	20年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2040年度	¥1,732,500
	28 浜山中	A重油	鋼板製横置円筒型	10.0KL	S62.8.26	24年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2026年度	¥1,995,000
	29 南中	灯油	鋼板製横置円筒型	5.0KL	H1.3.17	22年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2038年度	¥1,732,500
	30 平田中	灯油	鋼板製横置円筒型	5.0KL	H11.3.5	12年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2048年度	¥1,732,500
	31 多伎中	灯油	SF2重殻タンク	1.9KL	S60.3.25	26年	アスファルト	6	該当なし	該当なし	-
	32 湖陵中	灯油	鋼板製横置円筒型	1.9KL	S58.7.28	28年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2022年度	¥1,575,000
	33 佐田中	灯油	鋼板製横置円筒型	5.0KL	S38.7.17	48年	アスファルト+モルタル	6	廃止予定	廃止予定	-
	34 斐川東中	灯油	鋼板製横置円筒型	4.0KL	S61.10.21	24年	アスファルト	6	40年以上50年未満	2026年度	¥1,627,500
	35 斐川西中	灯油	鋼板製横置円筒型	1.9KL	H9.11.27	14年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2046年度	¥1,575,000
幼稚園	36 四絡幼	灯油	鋼板製横置円筒型	3.0KL	H14.1.31	9年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2051年度	¥1,627,500
	37 川跡幼	灯油	SF2重殻タンク	1.5KL	H21.6.29	2年	強化プラスチック	4.5	該当なし	該当なし	-
	38 神門幼	灯油	鋼板製横置円筒型	3.0KL	H12.2.3	11年	タールエポキシ樹脂	6	50年以上	2049年度	¥1,627,500
	39 東幼	灯油	SF2重殻タンク	1.5KL	H19.3.7	4年	強化プラスチック	4.5	該当なし	該当なし	-
	40 荒木幼	A重油	鋼板製横置円筒型	3.0KL	S54.2.13	32年	アスファルト	4.5	30年以上40年未満	2012年度	¥1,627,500
<b>合計</b>										<b>¥62,265,000</b>	
<b>15年以内における改修が必要な課題額</b>										<b>¥25,882,500</b>	

腐食想定年数と塗覆装の種類及びタンクの板厚

腐食想定年数	塗覆装の種類	タンクの板厚	
50年以上	アスファルト	全て	
	モルタル	8.0mm未満	
		8.0mm以上	
	エポキシ樹脂又はタールエポキシ樹脂	6.0mm未満	
		6.0mm以上	
強化プラスチック	4.5mm未満		
	4.5mm以上12.0mm未満		
40年以上50年未満	アスファルト	4.5mm未満	
		4.5mm以上	
	モルタル	6.0mm未満	
		エポキシ樹脂又はタールエポキシ樹脂	4.5mm未満
		強化プラスチック	4.5mm未満
30年以上40年未満	アスファルト	6.0mm未満	
	モルタル	4.5mm未満	
20年以上30年未満	アスファルト	4.5mm未満	

■ 15年以内に腐食想定年数を迎えるもの

※ 塗覆装の種類、タンクの板厚によって、腐食想定時期は異なる。各塗覆装・タンクの板厚による腐食想定年数を左表に示す。

腐食想定年数に達している場合、「腐食のおそれが高い」または「腐食のおそれが高い」の判定となり、改修が必要となる。

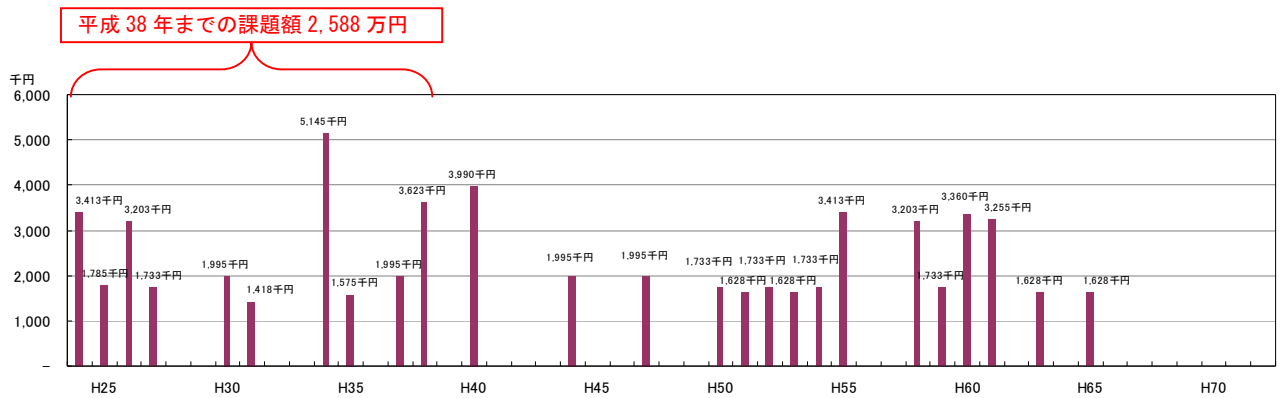


図 60 地下オイルタンク腐食想定年次別の改修課題額 (全 36 件 総額 6,226 万円)

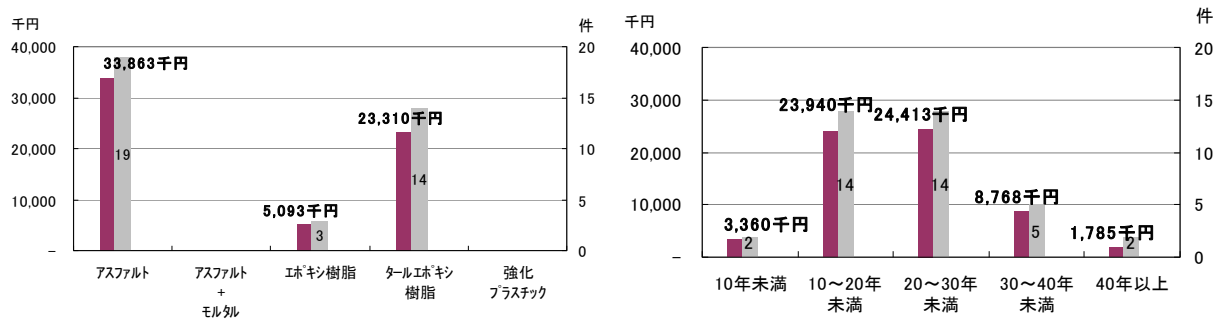


図 61 地下オイルタンクの改修課題額 (左: 塗覆装種類別 全 35 件※廃止予定 1 件除く 右: 経過年数別 全 36 件)

## 地下オイルタンクの課題

- ・地下オイルタンクの改修課題額の合計は 6,000 万円に上る。また、改修費用以外にも定期点検等の維持管理費用が必要となる。
- ・腐食想定年次が、今後 15 年以内に迫っているタンクの改修課題額の合計は、2,588 万円である。また平成 40～60 年にかけて、ほぼ毎年、腐食想定年次を迎えるタンクがあり、改修を計画的に行う必要がある。
- ・経過年数 40 年以上のタンクのうち 1 件 (佐田中学校) は、廃止予定である。

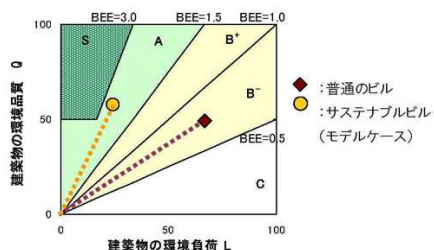
## 2.3 建築環境総合性能評価システム（CASBEE）に準拠した現状調査からみる課題

本市の学校施設について、環境性能の現状を把握するため、建築環境総合性能評価システム（CASBEE）を用いて評価を行った。評価対象は、小学校 41 校、中学校 13 校である。

※ 建替中の旭丘中学校、建替予定の佐田中学校は評価対象に含まない。

※ 評価を行った建物区分は、同築年数グループごと全 76 件（2.2.1 ②築年数・老朽度の分析と同様）。

### ●建築環境総合性能評価システム（CASBEE）とは



「建築環境総合性能評価システム（CASBEE）」は、**建築物の環境性能**で評価し格付けする手法である。

省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった**環境配慮**はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた**建物の品質**を総合的に評価するシステムである。

（建築環境総合性能評価システム評価マニュアルより）

建築物の環境品質（Q）、環境負荷低減性（L R）について入力・ポイント化し、環境品質Qを環境負荷Lで割った値から、最高SからCまでの**環境性能効率（BEE）**ランクが決定される。環境品質が高く、環境負荷が小さいほどランクが高くなる。評価の有効期限は3年間である。

$$\text{環境性能効率（BEE）} = \frac{\text{Q：建築物の環境品質}}{\text{L：建築物の環境負荷}}$$

Q：Quality 品質  
L：Load 負荷

#### Q：建築物の環境品質

$$\text{Q1 室内環境} + \text{Q2 サービス性能} + \text{Q3 室外環境}$$

+ 教室の過不足・バリアフリー + 緑地率・地域性

#### L：建築物の環境負荷

$$\text{L1 エネルギー} + \text{L2 資源・マテリアル} + \text{L3 敷地外環境}$$

+ 節水 + 砂塵の抑制

BEE ランク	評価	BEE 値ほか	ランク表示
S	Excellent 素晴らしい	BEE=3.0 以上、Q=50 以上	★★★★★
A	Very Good 大変良い	BEE=1.5 以上 3.0 未満	★★★★
B+	Good 良い	BEE=1.0 以上 1.5 未満	★★★
B-	Fairly Poor やや劣る	BEE=0.5 以上 1.0 未満	★★
C	Poor 劣る	BEE=0.5 未満	★



図 62 S ランクの事例（出雲市庁舎）

建築物の用途や新築・改修・既存などの状態に対応するプログラムが用意されている。本調査では「CASBEE 学校－既存」を用いた。また評価は最低限必要な項目のみで行い、基礎資料のないものは評価レベル3とした。

建築環境総合性能評価システム（CASBEE）評価結果・スコア一覧表

		BEEランク				Q建築物の環境品質										LR建築物の環境負荷低減性	
						環境品質 Q		環境負荷 L		Q2 サービス性能					Q3 室外環境		
		機能性	1.1.3 バリア 計画	耐用性・ 信頼性	2.1.1 耐震性	2.2.5 新水配管・ 必要間の 隔更	2.3.1 屋上 材の壁仕 上げ・ 更新	1 生物 環境の 保全	3 の 地域性・ ア メニ ティ へ	3 周辺 環境 への 配慮	3.2.2 砂 塵の 抑制	1		3		3	
												2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6
小学校	今市小校舎	北館	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.2	1	3	1	1	3	2.6	2	
		本館	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.1	1	3	1	1	3	2.6	2	
		北館(木造)	B-	0.5	35	64	2.5	3	2.2	1	3	1	1	3	2.6	2	
	大津小校舎	北館	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.1	1	3	1	1	3	2.8	5	
		本館	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.5	2	3	3	1	3	2.8	5	
	上津小校舎	旧館	B-	0.5	38	64	2.5	3	2.9	3	3	5	1	3	2.5	1	
		本館	B-	0.5	38	64	2.5	3	2.7	2	3	5	1	3	2.5	1	
	塩冶小校舎	旧館	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.3	1	3	2	1	3	2.5	1	
		本館	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.4	2	3	2	1	3	2.5	1	
	神戸川小校舎	旧館	B-	0.6	39	64	2.9	5	2.8	3	3	5	1	3	2.8	5	
		本館	B-	0.6	39	64	2.9	5	2.6	2	3	5	1	3	2.8	5	
	高松小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.3	2	3	1	1	3	2.5	1	
	長浜小校舎	旧館	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.4	2	3	1	1	2.5	2.5	1	
		本館	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	2	3	5	1	3	2.5	1	
	四絡小校舎	旧館	B-	0.6	39	64	2.9	5	2.8	3	3	5	1	3	2.6	2	
		本館	B-	0.6	39	64	2.9	5	2.6	2	3	5	1	3	2.6	2	
	高浜小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	63	2.5	3	2.6	2	3	5	1	3	2.5	1	
	北陽小校舎	本館	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.1	1	3	1	1	3	2.5	1	
		新館	B-	0.5	38	64	2.5	3	2.7	2	3	5	1	3	2.5	1	
	朝山小校舎	(校舎)	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.2	1	3	1	1	3	2.5	1	
	乙立小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.3	2	3	1	1	3	2.5	1	
	穂原小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	2	3	5	1	3	2.5	1	
	神西小校舎	(校舎)	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.1	1	3	1	1	3	2.5	1	
	平田小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.3	1	3	3	1	3	2.5	1	
	灘分小校舎	旧館	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.2	1	3	1	1	3	2.5	1	
		本館	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	3	3	1	1	3	2.5	1	
	国富小校舎	本館	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.2	1	3	1	1	3	2.6	2	
	西田小校舎	(校舎)	B-	0.5	35	64	2.5	3	2.2	1	3	1	1	2.5	2.5	1	
	鰐淵小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.3	1	3	2	1	3	2.5	1	
	猪目分校舎	(校舎)	B-	0.5	35	66	2.5	3	2.2	1	3	1	1	2.5	2.5	1	
	久多美小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.3	2	3	1	1	3	2.6	2	
	檜山小校舎	(校舎)	B-	0.5	35	64	2.5	3	2.2	1	3	1	1	2.5	2.5	1	
	東小校舎	北館	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.2	1	3	1	1	3	2.6	2	
		南館	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.4	2	3	1	1	3	2.6	2	
	北浜小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	2	3	3	1	3	2.5	1	
	塩津小校舎	(校舎)	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.2	1	3	1	1	3	2.5	1	
	佐香小校舎	旧館	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.2	1	3	1	1	3	2.6	2	
		本館	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.4	2	3	1	1	3	2.6	2	
	伊野小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.4	1	3	3	1	3	2.5	1	
	窪田小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.7	3	3	2	1	3	2.5	1	
	須佐小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.3	2	3	1	1	3	2.5	1	
	岐久小校舎	(校舎)	B-	0.6	39	64	2.9	5	2.6	2	3	5	1	3	2.6	2	
	田儀小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.4	2	3	1	1	3	2.5	1	
	湖陵小校舎	(校舎)	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.1	1	3	1	1	3	2.6	2	
	大社小校舎	(校舎)	B-	0.6	39	64	2.9	5	2.6	2	3	5	1	3	2.8	5	
	荒木小校舎	(校舎)	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.1	1	3	1	1	3	2.6	2	
	遙堪小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	3	3	1	1	3	2.5	1	
	鶺鴒小校舎	(校舎)	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.2	1	3	1	1	3	2.5	1	
日御碕小校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.5	2	3	3	1	3	2.6	2		
荘原小校舎	校舎	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.5	2	3	3	1	3	2.5	1		
西野小校舎	旧館	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.3	1	3	3	1	3	2.5	1		
	新館1	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	2	3	3	1	3	2.5	1		
	新館2	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	2	3	3	1	3	2.5	1		
中部小校舎	本館	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.1	1	3	1	1	3	2.5	1		
	新館	B-	0.5	38	64	2.5	3	2.7	2	3	5	1	3	2.5	1		
	北館	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	3	3	1	1	3	2.5	1		
出東小校舎	旧館	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.7	3	3	3	1	3	2.5	1		
	昇降口棟	B-	0.5	37	65	2.5	3	2.6	2	3	3	1	3	2.5	1		
	新館	B-	0.5	38	64	2.5	3	2.7	2	3	5	1	3	2.5	1		
第一中学校舎	南館	B-	0.5	35	64	2.5	3	2.3	1	3	2	1	2.5	2.5	1		
	本館	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.4	2	3	2	1	3	2.5	1		
第二中学校舎	北館	B-	0.5	37	64	2.9	5	2.3	1	3	2	1	2.5	2.5	1		
	本館	B-	0.5	38	64	2.9	5	2.6	3	3	2	1	3	2.5	1		
	新館	B-	0.6	39	64	2.9	5	2.7	2	3	5	1	3	2.5	1		
第三中学校舎	南館	B-	0.5	38	64	2.9	5	2.2	1	3	1	1	3	2.5	1		
	本館	B-	0.5	38	64	2.9	5	2.3	2	3	1	1	3	2.5	1		
河南中学校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	2	3	5	1	3	2.5	1		
浜山中校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.4	2	3	2	1	3	2.6	2		
南中校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	2	3	5	1	3	2.5	1		
平田中校舎	(校舎)	B-	0.6	39	64	2.9	5	2.6	2	3	5	1	3	2.8	5		
光中校舎	(校舎)	B-	0.5	36	64	2.5	3	2.4	2	3	2	1	2.5	2.5	1		
多伎中校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	2	3	5	1	3	2.5	1		
湖陵中校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.4	2	3	2	1	3	2.8	5		
大社中校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.4	2	3	2	1	3	2.5	1		
斐川東中校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.5	2	3	3	1	3	2.5	1		
斐川西中校舎	(校舎)	B-	0.5	37	64	2.5	3	2.6	2	3	5	1	3	2.5	1		

※赤字は、他施設より評価が高いもの。

## 建築環境総合性能評価システム（CASBEE）評価結果からみる課題

---

- ・ BEE ランクは、全施設において BEE=0.5~0.6 : 「やや劣る」の「B-」である。
- ・ 環境品質Qを向上させる要因となる項目は、バリアフリー計画、耐震性、屋上・外壁仕上げ材の更新、砂塵の抑制である。
- ・ 神戸川小学校、四絡小学校、岐久小学校、大社小学校、平田中学校の環境品質が高いことから、本市の具体的な取組みとして、石州瓦への葺き替え、校庭の芝生化・敷地内の緑化が環境品質の向上につながっているといえる。

### 今後の評価作業について

---

基礎資料のないものについては、評価レベル3とすることができるが、各施設の詳細な評価のため、学校環境衛生基準にもとづく環境衛生検査の各種データが必要である。

環境負荷の更に詳細な評価のためには、各施設のエネルギー消費量のモニタリングも必要である。



## 2.4 学校施設の増改築・大規模改造事業の計画に関する課題

### 2.4.1 校舎（園舎）・屋内運動場の耐震化・改築・大規模改造事業に取り組む各施設の評価

2.1～2.3では、現状分析をもとに全施設の課題を把握した。

計画的な学校施設整備のためには、これらを総括し、各施設における個別評価を行い、整備事業の検討を進める必要がある。以下に個別評価項目を示す。

#### 個別評価項目

<b>耐震性</b>	本市の耐震化目標を満たしているか																				
	<p>&lt;出雲市における学校施設の耐震化目標&gt;</p> <p>非木造：Is 値 0.7 以上</p> <p>木造：Iw 値 1.1 以上</p> <p>※文部科学省では、公立学校施設の耐震改修の補助要件として、地震時の児童生徒の安全性、被災直後の避難場所としての機能性を考慮し、補強後は Is 値：0.7 以上、Iw 値：1.1 以上になることとしている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">構造耐震指標</th> <th>構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">非木造</td> <td rowspan="3">Is 値</td> <td>0.3 未満</td> <td>倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。</td> </tr> <tr> <td>0.3 以上 0.6 未満</td> <td>倒壊し、又は崩壊する危険性がある。</td> </tr> <tr> <td>0.6 以上 (q 値 1.0 以上)</td> <td>倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">木造</td> <td rowspan="3">Iw 値</td> <td>0.7 未満</td> <td>倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。</td> </tr> <tr> <td>0.7 以上 1.0 未満</td> <td>倒壊し、又は崩壊する危険性がある。</td> </tr> <tr> <td>1.0 以上</td> <td>倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※国土交通省告示第 184 号より</p>			構造耐震指標		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性	非木造	Is 値	0.3 未満	倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。	0.3 以上 0.6 未満	倒壊し、又は崩壊する危険性がある。	0.6 以上 (q 値 1.0 以上)	倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。	木造	Iw 値	0.7 未満	倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。	0.7 以上 1.0 未満	倒壊し、又は崩壊する危険性がある。	1.0 以上
構造耐震指標		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性																			
非木造	Is 値	0.3 未満	倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。																		
		0.3 以上 0.6 未満	倒壊し、又は崩壊する危険性がある。																		
		0.6 以上 (q 値 1.0 以上)	倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。																		
木造	Iw 値	0.7 未満	倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。																		
		0.7 以上 1.0 未満	倒壊し、又は崩壊する危険性がある。																		
		1.0 以上	倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。																		
<b>築年数</b>	築 30 年以上経過しているか																				
<b>老朽度</b>	大規模な改修工事が必要となるような老朽化が見られるか																				
	<p>I：全体的に極めて老朽化</p> <p>II：全体的に老朽化</p> <p>III：部分的に老朽化</p> <p>IV：老朽化が見られない</p>																				
<b>教室の過不足</b>	必要教室数を満たしているか																				
	むこう 10 年間の推移予測からみた児童・生徒数急増による教室数の不足の有無																				

※ 検討する整備事業には、全施設に共通するトイレ改修事業、エアコン整備事業、バリアフリー改修事業などの質的向上を目的とする事業は含まない。

出雲市の学校施設の個別評価と整備方針(案) 一覧表  
(学校別・棟別一覧)

平成23年度現在

学校名	CASBEE 建物名称	棟名称	区分	構造 区分	階 数	建設 年月	床面積	評価					教室数の 不足の有 無	整備方針(案) (事業メニュー) (※4)	備考				
								耐震性		築年数 (×:築40年以上) ■50年以上 ■40~49年 ■30~39年		老朽度							
								Is値											
小学校 出雲地区	今市小	北館	教室棟(北)	校舎	RC	3	S31.7	1,048	0.55	×	55	×	I	無	耐震改築				
		北館(木造)	校舎棟(北)	校舎	W	2	S31.7	530	1w0.83	×	55	×	I	無	耐震改築				
		本館	校舎棟(北)	校舎	W	2	S31.8	375	-	(×)	55	×	I	無	耐震改築				
			教室棟(南)	校舎	RC	4	S54.3	2,138	0.36	×	33	○	II	無	耐震補強と大規模改造				
			管理・教室棟(南)	校舎	RC	4	S54.3	2,312	0.36	×	33	○	II	無	耐震補強と大規模改造				
		廊下棟	校舎	RC	2	S54.3	74	1.62	○		○	○	無	-					
	屋内運動場	屋内運動場棟(児童クラブ等共)	屋体	RC	2	H19.3	1,691	新耐	○	5	○	IV	無	-					
	大津小	北館	教室棟(北)	校舎	RC	3	S49.3	3,241	0.52	×	38	○	II	無	耐震補強と大規模改造				
			教室棟(南)	校舎	RC	3	S49.3												
			廊下棟(西)	校舎	RC	2	S49.3												
		屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	1	S54.12	846	0.53	×	32	○	III	無	耐震改築				
		本館	管理棟	校舎	RC	3	H9.11	2,280	新耐	○	14	○	IV	無	-				
	廊下棟(東)		校舎	RC	3	H9.11	36	新耐	(○)										
	特別教室棟	校舎	RC	3	H9.11	299	新耐	○		○									
	上津小	旧館	普通教室棟	校舎	RC	2	S41.2	1,233	0.76	○	46	×	IV	無	-				
	本館	玄関棟	校舎	RC	4	H10.2	971	新耐	○	14	○	IV	無	-					
		給食荷受室	校舎	RC	4	H10.2													
		食堂	校舎	RC	4	H10.2													
		音楽室	校舎	RC	4	H10.2													
		渡廊下棟	屋体	RC	2	H10.2									20	新耐	(○)	14	○
		便所棟	校舎	RC	2	H10.2									84	新耐	(○)	14	○
屋内運動場	屋内運動場棟(児童クラブ等共)	屋体	RC	2	H9.3	1,169	新耐	○	15	○	IV	無	-						
塩冶小	旧館	教室棟(南)	校舎	RC	3	S47.3	1,347	0.52	×	40	×	II	無	耐震補強と大規模改造					
		教室棟(南)	校舎	RC	3	S51.2			36	○									
	本館	特別教室棟・管理棟	校舎	RC	3	H1.3	5,342	新耐	○	23	○	III	無	大規模改造					
		教材室	校舎	RC	3	H6.3		新耐	○	18	○								
屋内運動場	屋内運動場棟(西)	屋体	RC	1	S63.3	1,050	新耐	○	24	○	III	無	大規模改造						
屋内運動場	屋内運動場棟(北)(クラブハウス共)	屋体	S	2	H11.9	789	新耐	○	12	○	IV	無	-						
神戸川小	旧館	管理特別教室棟	校舎	RC	2	S44.3	1,156	0.92	○	43	×	IV	無	-					
		教室棟	校舎	RC	3	S44.3	1,996	0.87	○		○								
	本館	管理・教室棟(西)	校舎	RC	3	H17.7	3,617	新耐	○	6	○	IV	無	-					
		学校給食棟	校舎	RC	1	H17.7													
	渡廊下棟	校舎	RC	3	H17.7	104	新耐	(○)		○									
屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)	屋体	RC	2	H16.3	1,421	新耐	○	8	○	IV	無	-						
高松小	校舎	管理教室棟	校舎	RC	4	S58.3	1,775	新耐	○	29	○	II	無	大規模改造					
		特別教室棟	校舎	RC	4	S58.3	2,019	新耐	○										
		教室棟	校舎	RC	4	S58.3	1,780	新耐	○										
		渡廊下棟	校舎	RC	3	S58.3	108	新耐	(○)										
	プール	プール上屋	校舎	S	1	H9.3	758	新耐	○	15	○	III	無	-					
プール付属室	校舎	RC	1	H9.3															
プール付属室	校舎	RC	1	H9.3															
屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)	屋体	RC	2	H9.3	1,487	新耐	○	15	○	III	無	-						
長浜小	旧館	教室棟(東)	校舎	RC	3	S34.3	961	0.60	×	53	×	II	無	耐震改築					
	本館	校舎棟	校舎	RC	2	S63.9	2,460	新耐	○	23	○	III	無	大規模改造					
	屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	RC	1	S63.9	920	新耐	○	23	○	III	無	大規模改造					
四路小	旧館	管理棟	校舎	RC	2	S50.3	1,293	0.81	○	37	○	IV	無	-					
		教室棟	校舎	RC	3	S50.3	2,138	0.75	○										
	本館	管理教室棟	校舎	RC	3	H19.6	2,517	新耐	○	4	○	IV	無	-					
		教室棟(西)	校舎	RC	3	H19.6	998	新耐	○										
	渡廊下棟	校舎	RC	3	H19.6	86	新耐	(○)		○									
屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	1	S50.12	680	0.30	×	36	○	II	無	耐震補強	耐震補強10年程度後に改築					
高浜小	校舎	校舎棟(学校食堂共)	校舎	RC	3	H6.3	2,894	新耐	○	18	○	III	無※	-					
		音楽室	校舎	RC	2	H6.3	1,279	新耐	○										
	屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)	屋体	RC	2	H6.3													
北陽小	本館	管理教室棟(北)	校舎	RC	3	S52.3	3,568	0.53	×	35	○	II	有	-	教室改造				
		管理教室棟(北)2F	校舎	RC	3	S56.12											30	○	増築
	新館	教室棟(南)	校舎	RC	3	H11.3	1,623	新耐	○	13	○	IV	有	-					
		学校食堂棟(機械室共)	校舎	RC	3	H11.3													
屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	1	S52.12	680	0.26	×	34	○	II	無	耐震補強	耐震補強10年程度後に改築					
朝山小	校舎	管理教室棟(南)	校舎	RC	3	S43.3	1,660	0.44	×	44	×	II	無	-					
	屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	1	S56.2	684	0.73	○	31	○	III	無	-					
乙立小(幼)	校舎	本館棟(園舎含む)	校舎	RC	3	S60.3	2,157	新耐	○	27	○	III	無	-					
	屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	1	S54.2	556	0.71	○	33	○	III	無	-					

出雲市の学校施設の個別評価と整備方針(案) 一覧表  
(学校別・棟別一覧)

平成23年度現在

学校名	CASBEE 建物名称	棟名称	区分	構造 区分	階 数	建設 年月	床面積	評価					教室数の 不足の有 無	整備方針(案) (事業メニュー) (※4)	備考	
								耐震性		築年数 (×:築40年以上) ■50年以上 ■40~49年 ■30~39年		老朽度				
								Is値								
出雲地区	神原小	校舎	校舎棟(機械室共)	校舎	RC	2	H4.10	2,099	新耐	○	19	○	III	無	-	
			校舎棟(屋体側)	校舎	RC	2	H4.10									
			学校食堂	校舎	RC	2	H4.10									
			幼稚園便所棟	校舎	RC	1	H4.10									
		図書室・家庭科室	校舎	RC	3	H4.10										
屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)	屋体	RC	3	H4.10	1,530	新耐	○	19	○	III					
神西小	校舎	教室棟(南)	校舎	RC	3	S45.3	1,788	0.38	×	42	×	II	無	耐震補強と大規模改造		
		特別教室棟	校舎	RC	3	S61.2	384	新耐	○	26	○	I		-		
		北館(通級指導・音楽・家庭科)	校舎	W	1	S45.3	683	-	-	42	×	I		改築		
屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)	屋体	RC	2	H12.3	1,138	新耐	○	12	○	IV		-			
平田小	校舎	教室棟(南)	校舎	RC	3	S42.2	1,896	0.28→ 0.703	○	45	×	II	無	大規模改造		
		管理教室棟(北)	校舎	RC	3	S42.9	2,501	0.30	×	44	×	II		耐震補強と大規模改造		
		教室棟(東)	校舎	RC	3	S42.9	183	0.75	(○)	44	×	I		大規模改造		
		渡り廊下棟(東)	校舎	RC	3	S42.9	183	0.75	(○)	44	×	I		耐震改築		
	屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	1	S46.3	811	0.41	×	41	×	I		耐震改築		
灘分小	本館	教室棟(北)	校舎	RC	2	S55.3	1,406	0.86	○	32	○	III	無※	大規模改造		
		管理教室棟(南)	校舎	RC	2	S55.3	247	0.81	○	32	○	III		大規模改造		
	旧館	管理教室棟(南)	校舎	RC	2	S44.1	801	0.48	×	43	×	II		耐震補強と大規模改造		
屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	1	S54.3	741	0.78	○	33	○	II		大規模改造			
国富小	本館	管理教室棟(南)	校舎	RC	3	S44.3	1,403	0.50	×	43	×	II	無※	耐震補強と大規模改造		
		教室棟(西)	校舎	S	1	S44.3	248	0.30	×	43	×	I		耐震改築	増築含む	
屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	RC	2	S56.7	902	0.52	×	30	○	III		耐震補強と大規模改造			
西田小	校舎	管理教室棟	校舎	S	2	S48.12	1,328	0.50	×	38	○	I	無	耐震補強		
		屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	2	S49.11	620	0.42	×	37	○		I	耐震補強	
鵜瀬小	校舎	管理教室棟	校舎	RC	3	S40.3	1,609	0.56	×	47	×	III	無	耐震補強		
		廊下棟	校舎	RC	3	S57.12	1,609	新耐	○	29	○	III		耐震補強		
屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	1	S50.12	504	0.96	○	36	○	II		-			
鵜瀬小 猪目分校	校舎	校舎	校舎	W	1	S27.3	167	-	-	60	×	I	無	-	休校中	
		屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	W	1	S38.3	193	-	-	49	×		I	-	休校中
久多美小	校舎	教室・管理棟	校舎	RC	3	S57.6	3,486	新耐	○	29	○	II	無	大規模改造		
		他	児童クラブ	他	RC	3	S57.6	3,486	新耐	○	29	○		II		
屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	2	S59.1	891	新耐	○	28	○	III		大規模改造			
檜山小	校舎	管理教室棟(南)	校舎	RC	3	S41.3	1,195	0.48	×	46	×	II	無	耐震補強		
		屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	RC	2	S56.3	1,440	0.20	×	31	○		III	耐震補強	
東小	北館	階段室棟(北)	校舎	RC	3	S45.3	114	0.49	×	42	×	III	無	耐震補強		
		管理教室棟(北)	校舎	RC	2	S45.3	1,064	0.61	×	42	×	III		耐震補強		
		便所棟(北)	校舎	RC	2	S45.3	84	0.74	○	42	×	I		-		
	南館	教室棟(南)	校舎	RC	2	S60.3	1,332	新耐	○	27	○	III		-		
屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	1	S61.2	920	新耐	○	26	○	III		-			
北浜小	校舎	教室棟・管理棟	校舎	RC	3	H1.3	1,584	新耐	○	23	○	III	無	-		
		多目的室棟	校舎	RC	1	H1.3	228	新耐	○	23	○	III		-		
屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	1	H2.3	936	新耐	○	22	○	IV		-			
他	クラブハウス	連	RC	1	H2.3	936	新耐	○	22	○	IV		-			
塩津小	校舎	校舎・屋内運動場棟	校舎	W	2	S30.3	510	lw0.33	×	57	×	II	無	耐震補強		
佐香小	旧館	管理教室棟(東)	校舎	RC	3	S39.3	856	0.46	×	48	×	II	無	耐震補強		
本館	特別教室棟	校舎	RC	3	H3.3	977	新耐	○	21	○	IV	無	-			
	渡廊下	校舎	RC	3	H3.3	977	新耐	○	21	○	IV		-			
屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	2	S44.10	473	0.26	×	42	×	I		耐震補強			
伊野小	校舎	管理教室棟	校舎	RC	3	S55.3	1,857	0.45	×	32	○	III	無	耐震補強		
		屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)	屋体	S	1	H4.3	932	新耐	○	20	○		IV	-	
窪田小	校舎	校舎棟	校舎	RC	3	S50.3	1,603	1.19	○	37	○	III	無	-		
		特別教室棟	校舎	RC	3	S58.3	316	新耐	○	29	○	III		-		
屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)	屋体	RC	2	H3.2	919	新耐	○	21	○	III		-			
須佐小	校舎	校舎棟(児童クラブ共)	校舎	RC	3	S59.3	3,108	新耐	○	28	○	III	無	大規模改造		
		屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)	屋体	S	2	S59.3	1,174	新耐	○	28	○		III	大規模改造	
岐久小	校舎	管理教室棟	校舎	RC	3	H18.7	3,063	新耐	○	5	○	IV	無	-		
		屋体玄関	屋体	RC	3	H18.7	3,063	新耐	○	5	○	IV		-		
屋内運動場	屋内運動場棟(プール付風棟共)	屋体	RC	2	H19.7	1,176	新耐	○	4	○	IV		-			
田橋小	校舎	校舎棟(学校食堂共)	校舎	RC	2	S58.2	1,960	新耐	○	29	○	III	無	-		
		屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	1	S59.1	974	新耐	○	28	○		III	-	
クラブハウス	連	S	1	S59.1	974	新耐	○	28	○	III		-				
湖陵小	校舎	普通教室棟	校舎	RC	3	S48.4	2,667	0.43	×	38	○	III	無	耐震補強と大規模改造		
		特別教室棟(東)	校舎	RC	3	S48.8	595	1.35	○	38	○	III		耐震補強と大規模改造		
		特別教室棟(北)	校舎	RC	1	S48.8	595	1.35	○	38	○	III		耐震補強と大規模改造		
屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	2	S49.3	1,189	0.21	×	38	○	II		耐震補強と大規模改造			

出雲市の学校施設の個別評価と整備方針(案) 一覧表  
(学校別・棟別一覧)

平成23年度現在

学校名	CASBEE 建物名称	棟名称	区分	構造 区分	階 数	建設 年月	床面積	評価					教室数の 不足の有 無	整備方針(案) (事業メニュー) (※4)	備考						
								耐震性		築年数 (×:築40年以上) ■50年以上 ■40~49年 ■30~39年		老朽度									
								Is値													
大社地区	大社小	校舎	管理・校舎棟	校舎	RC	2	H16.11	4,227	新耐	○	7	○	IV	無	-						
			渡廊下(屋体)	屋体	RC	2	H16.2										40	新耐	○	7	○
			渡廊下(校舎)	校舎	RC	2	H16.11														
	荒木小	校舎	屋内運動場棟(クラブハウス共)	屋体	RC	2	H16.2	1,252	新耐	○	8	○	IV	無	-						
			渡廊下(屋体)	屋体	RC	2	H16.2	25	新耐	○	8	○									
			教室棟(西)	校舎	RC	3	S54.2	1,951	0.38	×	33	○	III	無	耐震補強と大規模改造						
	遙塔小	校舎	管理特別教室棟	校舎	RC	3	S54.2	2,462	0.50	×	33	○	III	無	耐震補強と大規模改造						
			屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	RC	2	S55.2	1,096	0.39	×	32	○	II	無	耐震補強と大規模改造					
			校舎	管理特別教室棟	校舎	RC	2	S51.2	1,604	0.78	○	36	○	II	無	増築	大規模改造も行う				
	鶴賀小	校舎	屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	S	2	S52.3	715	0.28	×	35	○	III	無	耐震補強					
			校舎	校舎棟	校舎	W	2	S36.3	1,037	lw0.61	×	51	×	II	無	耐震補強					
			校舎	校舎棟	校舎	RC	3	H2.3	2,148	新耐	○	22	○	III	無	-					
日御碕小	校舎	渡廊下(屋体)	屋体	RC	2	H2.3	655	新耐	○	22	○	IV	無	-							
		屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	RC	2	H2.3	655	新耐	○	22	○									
		校舎	校舎棟	校舎	RC	3	H2.3	655	新耐	○	22	○									
小学校	荏原小	校舎	教室棟	校舎	RC	3	S90.5	2,149	0.72	○	36	○	III	無	大規模改造						
			教室棟	校舎	RC	3	S51.6	840	0.72	○	35	○									
			管理特別教室棟	校舎	RC	3	S51.6	888	0.69	×	35	○									
	西野小	校舎	管理棟	校舎	RC	1	S51.6	219	1.39	○	35	○	III	無	耐震補強と大規模改造						
			屋内運動場	屋内運動場	屋体	S	2	S43.2	817	0.87	○	44	×	III	無	大規模改造					
			管理教室棟	校舎	RC	3	S46.3	1,474	0.74	○	41	×	III	無	大規模改造						
	中部小	旧館	管理教室棟	校舎	RC	3	S46.7	635	0.74	○	40	×	III	無	大規模改造						
			特別教室棟	校舎	RC	2	S46.7	1,146	0.63	×	40	×									
			低学年教室棟	校舎	RC	2	S46.7	675	0.47	×	40	×									
		新館1	特別及び普通教室棟	校舎	RC	2	S63.12	503	新耐	○	23	○	IV	無	-						
			新館2(ウース)	特別教室棟	校舎	S	2	H16.8	492	新耐	○	7	○	IV	無	-					
			屋内運動場	屋内運動場	屋体	S	2	S47.3	678	0.29	×	40	×	II	無	耐震改築					
出東小	本館	教室棟	校舎	RC	3	S45.3	1,567	0.43	×	42	×	II	無	耐震補強と大規模改造							
		管理特別教室棟	校舎	RC	3	S45.7	1,026	0.54	×	41	×										
		昇降口棟	校舎	RC	1	S45.3	240	0.61	×	42	×										
	北館	渡り廊下棟	校舎	RC	2	S45.7	75	0.46	×	41	×										
		教室棟	校舎	RC	3	S56.3	513	0.71	○	31	○	II	無	-							
		新館	特別及び普通教室棟	校舎	RC	2	H3.2	1,179	新耐	○	21	○	III	無	-						
第一中	南館	教室棟(南)	校舎	RC	3	S33.6	796	0.50	×	53	×	II	無	耐震改築							
		教室棟(南)	校舎	RC	3	S36.8	670	0.53	×	50	×										
		管理・教室棟	校舎	RC	3	S61.8	4,668	新耐	○	25	○	III	無	大規模改造							
	第二中	本館	特別教室棟	校舎	RC	3	S61.8	282	新耐	○	○	○	III	無	-						
技術室棟			校舎	RC	1	S61.8	372	新耐	○	○	○										
音楽室棟			校舎	RC	1	S61.8	372	新耐	○	○	○										
北館		屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	RC	3	H11.12	2,454	新耐	○	12	○	III	無	-						
		クラブハウス	連	RC	3	H11.12	2,454	新耐	○	○	○										
		教室棟(北)	校舎	RC	3	S32.8	1,048	0.48	×	54	×	II	無	耐震改築							
第三中		本館	教室棟	校舎	RC	3	S53.3	973	0.71	○	34	○	III	無	大規模改造						
			渡り廊下棟(中央)	校舎	S	3	S53.3	45	0.53	×	34	○									
			渡り廊下棟(北)	校舎	S	3	S53.3	38	0.60	×	34	○									
		新館	管理教室棟	校舎	RC	4	S53.3	3,129	0.74	○	34	○	IV	無	大規模改造						
			屋内運動場	屋内運動場棟	屋体	RC	3	H16.5	2,409	新耐	○	7	○	IV	無	-					
			クラブハウス	連	RC	3	H16.5	2,409	新耐	○	○	○									
第三中	南館	部室棟	部	RC	3	H16.5	1,434	新耐	○	5	○	IV	無	-							
		管理教室棟(南)	校舎	RC	4	H19.3	54	新耐	○	○	○										
		渡廊下棟	屋体	RC	4	H19.3	54	新耐	○	○	○										
	本館	渡り廊下棟(南)	校舎	RC	4	H19.3	54	新耐	○	○	○										
		教室棟(南)	校舎	RC	3	S38.7	1,919	0.38	×	48	×	I	無	耐震改築							
		教室棟(南)廊下東	校舎	RC	3	S59.3	54	新耐	○	○	○	III	無	-							
		教室棟(南)廊下中	校舎	RC	3	S59.3	96	新耐	○	○	○										
		教室棟(南)廊下西	校舎	RC	3	S59.3	97	新耐	○	○	○										
		渡り廊下棟	校舎	RC	2	S59.3	86	新耐	○	○	○										
		教室棟(東)	校舎	RC	3	S59.3	533	新耐	○	○	○										
		特別教室・管理棟(北)	校舎	RC	4	S59.3	2,458	新耐	○	○	○										
		特別教室棟(東)	校舎	RC	4	S59.3	678	新耐	○	○	○										
屋内運動場	屋内運動場棟(東)	屋体	S	2	S57.2	800	0.40	×	30	○	II	無	耐震改築								
屋内運動場	屋内運動場棟(西)	屋体	S	2	S57.2	320	0.31	×	○	○	II	無	耐震改築								

出雲市の学校施設の個別評価と整備方針(案) 一覧表  
(学校別・棟別一覧)

平成23年度現在

学校名	CASBEE 建物名称	棟名称	区分	構造 区分	階 数	建設 年月	床面積	評価					整備方針(案) (事業メニュー) (※4)	備考		
								耐震性		築年数 (×:築40年以上) ■50年以上 ■40~49年 ■30~39年		老朽度			教室数の 不足の有 無	
								Is値								
出雲地区	河南中	校舎	校舎棟	校舎	RC	3	H2.9	4,283	新耐	○	21	○	IV	無	大規模改造	
			渡廊下(北)	屋体	RC	3	H2.9		新耐	○	21	○				
		屋内運動場	渡廊下(南)	屋体	RC	2	H3.3	13	新耐	○	21	○	IV		大規模改造	
	部室棟		屋体	RC	1	H3.3	465	新耐	○	21	○					
	浜山中	校舎	校舎棟	校舎	RC	4	S62.8	5,412	新耐	○	24	○	III	無	大規模改造	
			特別教室棟	校舎	RC	1	S63.3	345	新耐	○	24	○				
	屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)		屋体	RC	2	S63.3	1,998	新耐	○	24	○	III	大規模改造		
		校舎	校舎棟	校舎	RC	3	H1.3	3,447	新耐	○	23	○	III	無	大規模改造	
	図書室		校舎	RC	3	H4.9		新耐	○	19	○					
	屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)		屋体	RC	2	H1.3	1,389	新耐	○	23	○	IV	大規模改造		
		平田中	校舎	校舎棟(南)	校舎	RC	2	H11.3	5,012	新耐	○	13	○	IV	無	-
	校舎棟(北)			校舎	RC	2	H11.3	3,106	新耐	○	13	○	IV			
屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)		屋体	RC	3	H11.3	3,109	新耐	○	13	○	IV	-			
	旭丘中	管理教室棟	管理教室棟	校舎	RC	3	S32.3	1,923	-	-	55			無	移転改築中	
教室棟(西)			校舎	RC	3	S32.12		-	-	54						
昇降口棟(西)			校舎	RC	2	S33.12		-	-	53						
湯沸室棟			校舎	RC	1	S33.12		-	-	53						
教室棟			校舎	RC	2	S41.2	929	-	-	46						
屋内運動場棟			屋体	S	1	S36.12	624	-	-	50						
屋内運動場棟			屋体	S	1	S63.2		-	-	24						
光中	校舎	管理教室棟	校舎	RC	3	S53.4	2,080	0.62	×	33	○	III	無	耐震補強		
		屋内運動場棟	屋体	RC	2	S54.7	1,291	0.20	×	32	○	III		耐震補強		
屋内運動場	屋内運動場棟		屋体	RC	3	S37.6	1,190	-	-	49			無	改築計画中		
	教育棟(部室共)	校舎	RC	3	S38.3		-	-	49							
佐田中	校舎	管理教育棟(部室共)	校舎	RC	3	S38.3	1,390	-	-	49			無	改築計画中		
		教室棟(中央)(コンピュータ室共)	校舎	RC	1	S38.3		-	-	49						
		教室棟(中央)	校舎	RC	1	S53.3		-	-	34						
		渡り廊下棟(西)	校舎	RC	3	S38.3	225	-	-	49						
		渡り廊下棟(東)	校舎	RC	3	S38.3	233	-	-	49						
		屋内運動場棟	屋体	S	2	S38.3	903	-	-	49						
		屋内運動場棟	屋体	S	2	S38.3	79	-	-	49						
		管理・教室棟	校舎	RC	4	S60.3	2,630	新耐	○	27	○	III			無	大規模改造
屋内運動場	屋体	RC	1	S61.1	1,110	新耐	○	26	○	III	大規模改造					
湖陵中	校舎	特別教室棟	校舎	RC	3	S58.8	3,563	新耐	○	28	○	III	無	大規模改造		
		普通教室棟	校舎	RC	3	S58.8		新耐	○	24	○	III		大規模改造		
屋内運動場	屋内運動場棟		屋体	RC	1	S63.2	1,356	新耐	○	24	○	III	大規模改造			
	大社中	校舎	特別教室棟	校舎	RC	2	S58.11	1,550	新耐	○	28	○	III	無	大規模改造	
教室棟(東)			校舎	RC	3	S58.11	2,340	新耐	○							
音楽室棟			校舎	RC	1	S58.11	389	新耐	○							
教室棟(西)			校舎	RC	3	S58.11	1,664	新耐	○							
管理棟			校舎	RC	2	S58.11	1,068	新耐	○							
屋内運動場	屋内運動場棟(クラブハウス共)		屋体	RC	3	S60.3	2,300	新耐	○	27	○	II	大規模改造			
斐川東中	校舎	教室棟	校舎	RC	3	S62.8	5,256	新耐	○	24	○	IV	無	大規模改造		
		特別教室棟	校舎	S	1	S62.8	250	新耐	○	24	○					
屋内運動場	屋内運動場		屋体	RC	3	S63.3	2,474	新耐	○	24	○	III	大規模改造			
	校舎	管理教室棟	校舎	RC	3	H9.12	4,952	新耐	○	14	○	IV	無	-		
特別教室棟		校舎	RC	2	H9.12	2,509	新耐	○	14	○	IV	-				
屋内運動場	屋内運動場		屋体	RC	3	H9.12	2,900	新耐	○	14	○	IV	-			
幼稚園	今市幼	園舎棟	園舎棟(北)	園舎	S	1	S45.2	389	0.29	×	42	×	III	無	耐震補強と大規模改造	
			園舎棟(南)	園舎	S	1	S45.2	380	0.30	×	42	×	II			
	大津幼	園舎棟	園舎棟	園舎	RC	1	H6.3	894	新耐	○	18	○	III	無	大規模改造	
			園舎棟	園舎	RC	1	H9.1	400	新耐	○	15	○	IV		-	
	上津幼	園舎棟	園舎棟(南)	園舎	RC	2	S58.3	844	新耐	○	29	○	III	無	大規模改造	
			園舎棟(北)	園舎	RC	1	S58.3	671	新耐	○						
	塩冶幼	園舎棟	園舎棟	園舎	S	1	H19.3	503	新耐	○	5	○	IV	無	-	
			園舎棟	園舎	S	1	S52.12	504	0.50	×	34	○	III		耐震改築	
	長浜幼	園舎棟	園舎棟	園舎	S	1	H18.3	534	新耐	○	6	○	IV	無	-	
			園舎棟	園舎	S	1	H14.3	1,163	新耐	○	10	○	IV		-	
	四格幼	園舎棟	園舎棟	園舎	S	1	S53.12	642	0.23	×	33	○	II	無	耐震補強と大規模改造	
			園舎棟	園舎	S	1	H21.7	878	新耐	○	2	○	IV		有	旧園舎解体
	薦巢幼	園舎棟	園舎棟	園舎	S	1	H19.1	400	新耐	○	5	○	IV	無	-	
			園舎棟	園舎	RC	1	H10.3	399	新耐	○	14	○	IV		-	
	朝山幼	園舎棟	園舎棟	園舎	RC	1	H4.10	346	新耐	○	19	○	III	無	大規模改造	
			園舎棟	園舎	RC	1	H12.3	690	新耐	○	12	○	IV		-	
	神原幼	園舎棟	園舎棟	園舎	S	1	H16.3	497	新耐	○	8	○	IV	無	-	
			園舎棟	園舎	RC	1	H5.3	234	新耐	○	19	○	III		-	
	神門幼	園舎棟	園舎棟	園舎	S	1	S46.3	586	0.75	○	41	×	II	無	大規模改造	駐車場整備
			園舎棟(北)	園舎	S	1	S46.3	293	0.74	○						
中央幼	園舎棟	園舎棟	園舎	S	1	H19.3	1,014	新耐	○	5	○	IV	無	-		
		園舎棟	園舎	S	1	H19.3	1,014	新耐	○	5	○	IV		-		
平田幼	園舎棟	園舎棟(南)	園舎	S	1	S46.3	586	0.75	○	41	×	II	無	大規模改造	駐車場整備	
		園舎棟(北)	園舎	S	1	S46.3	293	0.74	○							
東幼	園舎棟	園舎棟	園舎	S	1	H19.3	1,014	新耐	○	5	○	IV	無	-		
		園舎棟	園舎	S	1	H19.3	1,014	新耐	○	5	○	IV		-		

出雲市の学校施設の個別評価と整備方針(案) 一覧表  
(学校別・棟別一覧)

平成23年度現在

学校名	CASBEE 建物名称	棟名称	区分	構造 区分	階 数	建設 年月	床面積	評 価					整備方針(案) (事業メニュー) (※4)	備考		
								耐震性		築年数 (×:築40年以上)		老朽度			教室数の 不足の有 無	
								Is値		50年以上 40~49年 30~39年						
幼稚園	河内地区	多伎幼	園舎棟	園舎	W	1	H15.11	813	新耐	○	8	○	IV	無	-	
		湖陵幼	園舎棟	園舎	W	1	H17.1	884	新耐	○	7	○	IV	無	-	
	大社地区	大社幼	園舎棟	園舎	RC	2	S56.5	1,999	0.72	○	30	○	III	無	大規模改造	
		荒木幼	園舎棟	園舎	RC	2	S54.2	1,419	0.95	○	33	○	III	無	大規模改造	
		遙塔幼	園舎棟	園舎	RC	2	S54.12	675	0.79	○	32	○	III	無	大規模改造	
		日御碕幼	園舎棟	園舎					-						-	日御碕小学校内に編入
	斐川地区	荘原幼	園舎棟	園舎					-						移転改築中	旧園舎解体
		西野幼	園舎棟	園舎	S	1	H15.3	853	新耐	○	9	○	IV	無	-	
		中部幼	園舎棟	園舎	S	1	S47.10	395	未実施		39	○	II	無	改築	
		出東幼	園舎棟	園舎	S	1	S39.12	375	未実施		47	×	II	無	改築	

※ 小学校1・2学年を30人学級した場合、一時的に1教室不足が生ずるが、いずれも1学年または2学年が35人以下であるため、35人学級としてSS(スクールサポーター)を配置することにより現有施設で対応可能となる。

### Is 値・築年数・老朽度

Is 値、築年数、老朽度評価を重ね合わせたものを図 63 に示す。

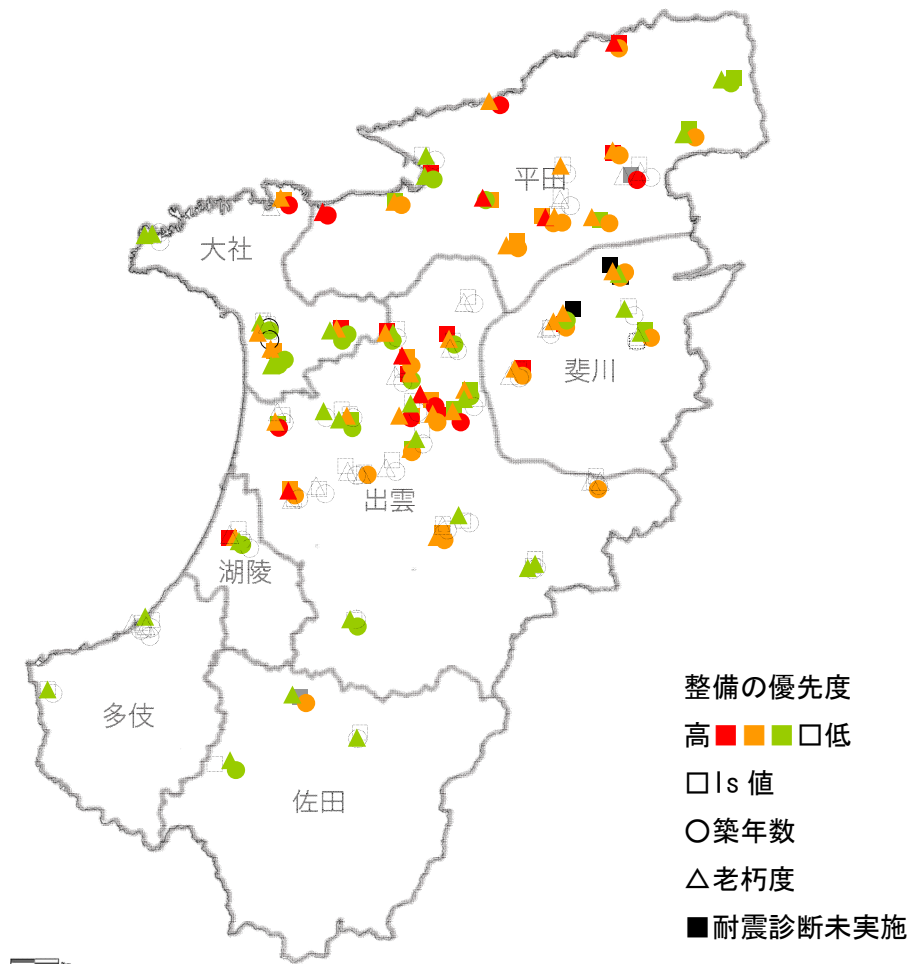


図 63 Is 値・築年数・老朽度別のプロットを重ね合わせ

- ・ 事業の優先度が高いものは、主に市北部に見られ、出雲地域市街地・平田全地域に比較的多く集まっている。



## 2.4.2 プール施設の現状と整備の方向性

### ■ プールの利用状況

#### (1) 利用回数

平成 22 年度におけるプールの授業利用回数と利用内容を以下に示す。

計画：児童生徒数・時間割から算出した必要数

実施：実際の利用数

(p71 充足率の説明を参照)

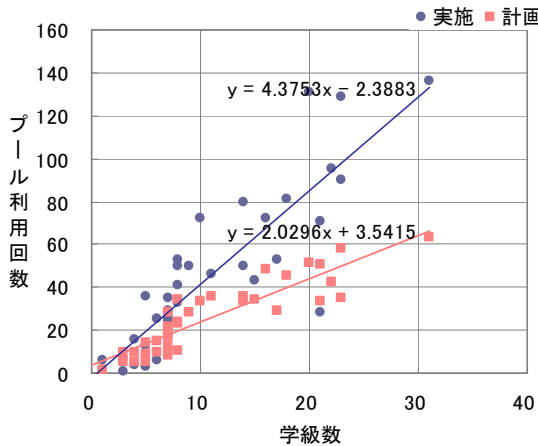


図 64 学級規模別プールの授業利用回数（小学校）

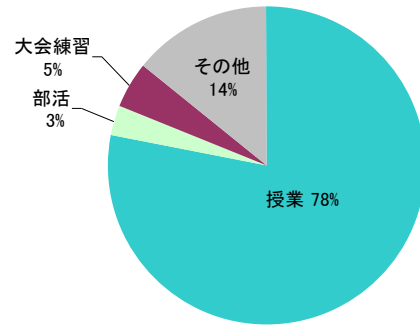


図 65 プールの利用内容（小学校）

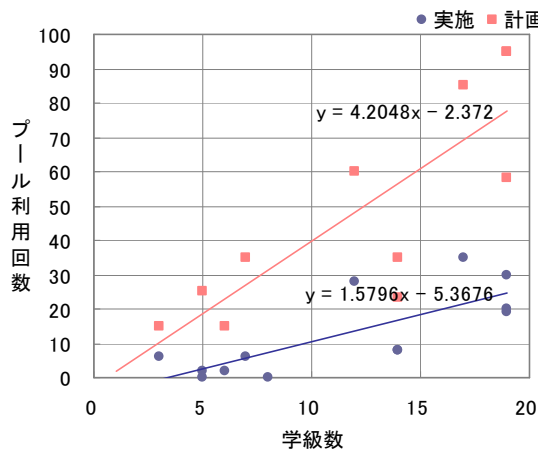


図 66 学級規模別プールの授業利用回数（中学校）

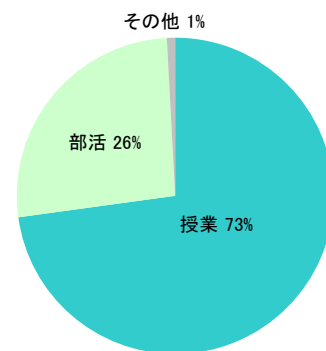


図 67 プールの利用内容（中学校）

- 1) 小中学校とも学級規模が増すと、プール利用回数も増す傾向がみられる。
- 2) 中学校は小学校に比べて全体的にプール利用回数が計画回数の 1 / 3 以下であり、学校による回数の差やばらつきも多い。
- 3) 中学校は授業以外の部活動における利用が多い。
- 4) 小学校では 12 学級未満の学校の平均利用回数は 33.6 回、12 学級以上では 85.9 回である。
- 5) 小学校は同時に平均 2.27 クラス/回が利用するのに対して、中学校は 1.47 クラス/回と少ない（約 65%）。



## (2) 利用率

プールの利用期間を2カ月（6～9月の間）、2時間単位で1日3回利用するとした場合、2ヶ月のプール利用期間内で最大120回の利用が可能となる。利用率は最大利用回数120回に対する実際の回数の割合をいう。以下は、学級規模別のプールの授業利用率を表示したものである。

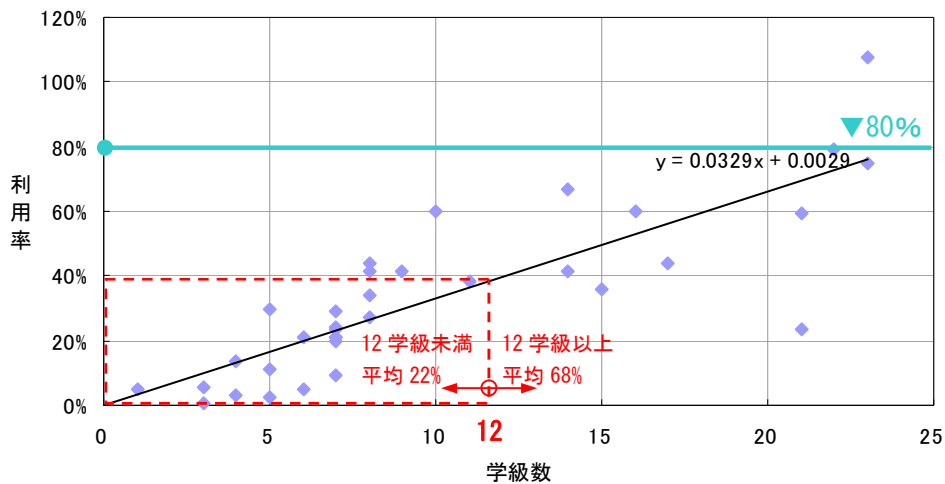


図 68 プールの授業利用率（小学校）

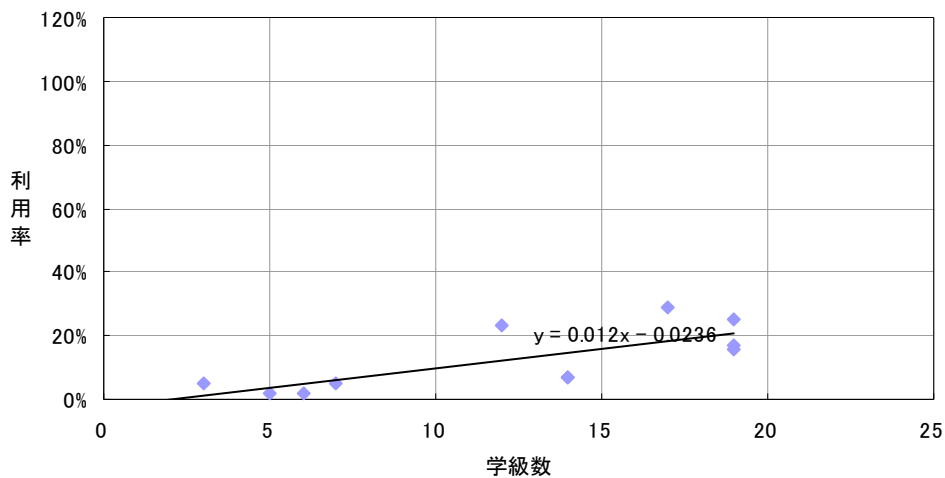


図 69 プールの授業利用率（中学校）

- 1) 規模が大きくなるほど利用率はあがる。小学校では20学級以上になると100%を超えることもある。
- 2) 小学校では、12学級未満で平均22%、12学級以上で68%になる。
- 3) 実際には時間割編成の制約等から利用率は、80%程度が最大と思われる。小学校の場合、利用率が80%に近くなるのは18学級以上の規模からである。
- 4) 中学校は、ほとんどが40%以下で利用率は小学校の1/3以下である。
- 5) 中学校での授業における利用回数は、ほとんど1日1回以下である。

### (3) 充足率

必要な水泳授業回数（計画回数という）に対して実際に行われた授業回数（実態回数）の割合を充足率とする。充足率は次のように計算できる。

$$\text{充足率（\%）} = A / P$$

A 実態回数（回）：1年度中に実際にプールで授業を行った回数。  
各学校へのヒアリング調査結果を利用。

P 計画回数（回）：C×学級数／授業1回あたりのクラス数

C 必要水泳授業数：

- ① 小学校の必要水泳授業数は「体育」週3コマのうち期間中2コマを水泳授業にあてるとし、出雲市の基準、全10コマ（2コマ／回）から5回とする。
- ② 中学校の場合も同様に「保健体育」週3コマのうち期間中は2コマを水泳授業にあて合計10時間履修するものとする。
- ③ 小中学校とも水泳授業は2時間単位で行われるものとする。

学級数と充足率の関係を次ページの図70・71に示す。

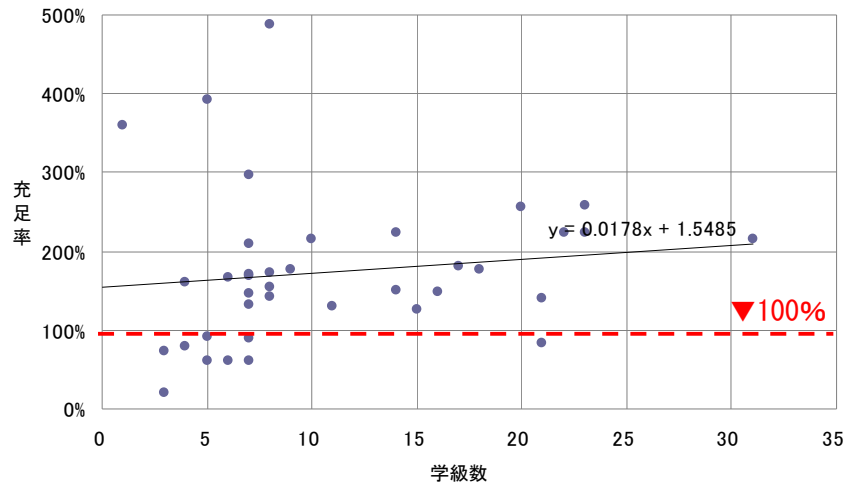


図 70 水泳授業の充足率（小学校、年間10コマの場合）

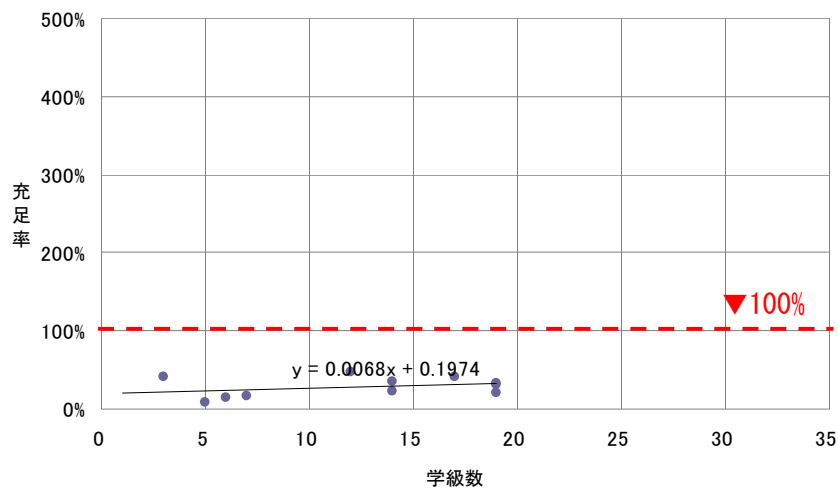


図 71 水泳授業の充足率（中学校、年間10コマの場合）

- 7) 小学校は、ほとんどの学校で100%を超える。
- 8) 中学校では、ほとんどが40%以下で、10%台という学校も半数近くある。
- 9) 同規模における充足率のばらつきは、小学校の小規模校で顕著である。
- 10) 中学校では、規模が大きくなると充足率が上がる傾向がみられる。
- 11) 小学校では、12学級未満の学校の平均充足率は153%、12学級以上は142%で小規模の方がわずかに高い。
- 12) 中学校では12学級未満の学校の平均充足率は12%、12学級以上では27%と逆転する。
- 13) 中学校の見かけの充足率が低いのは、必要授業時間数が実際は設定ほど高くない可能性があるためである。いずれにしても中学校のプールは、それほど使われていないのが実態である。
- 14) 小学校では、利用率が小規模校ほど下がる傾向が見られたが、充足率はほとんど100%に近い。つまりプールの未利用時間が多いといえる。

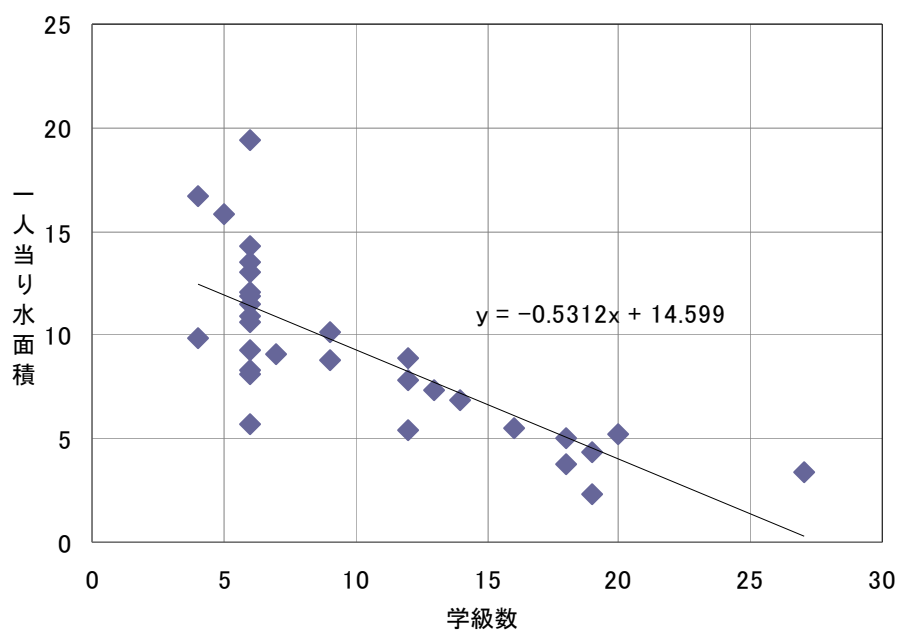


図 72 一人当りの水面積（小学校）

- 1) 規模が大きくなるほど、一人当たりの水面積は小さくなる。一人当たり 3 m<sup>2</sup>程度が下限値となっている。
- 2) 小規模校では、ばらつきが大きい。これは水泳授業がクラス単位で行われるので、1クラスの人数にばらつきが大きいことを示している。
- 3) 平均は 9.1 m<sup>2</sup>/人。12 学級未満の平均 11.51 m<sup>2</sup>/人に対して、12 学級以上では 5.5 m<sup>2</sup>/人と半減する。
- 4) 仮に 6 m<sup>2</sup>/人（約 4 畳分）を標準とすると 325 m<sup>2</sup>の水面積のプールでは 1.69 クラスの同時使用が可能であり 425 m<sup>2</sup>のプールでは 2.21 クラスが可能となる。
- 5) 中学校は同時使用が平均 1.47 クラスで 6.9 m<sup>2</sup>/人となる。

（この項はいずれも 1 クラス平均 32 人として計算）

## ■公営・民間施設利用

将来、他施設利用を予定しているのは、小学校 28 校、中学校 11 校である。そのうち、公営・民間施設利用を現在行っている、または予定しているのは小学校 4 校である。

## ■小学校のプール施設の再編により今後不要となる維持管理費の試算

国富小学校のプールについて、今後、自前で維持する場合と民間プール利用の場合の経費の試算を行った。ここでは、仮に小学校のプール施設を再編した場合の試算を示す。

自前で維持する場合の年間経費は 1,586,584 円である。一方、民間プール（平田 S S）利用の場合は、669,660 円である。

個々に学校事情は異なるが、年間経費 1,500,000 円、輸送費 200,000 円、施設使用料 400,000 円とすると、

近隣校利用の場合の差額 A : 1,300,000 円（年間経費－輸送費）

公営・民間利用の場合の差額 B : 900,000 円（年間維持費－施設使用料－輸送費）

となり、12 学級未満の施設について近隣校または公営・民間利用を行うと仮定した場合に、今後の維持管理費の縮減は、おおよそ以下ようになる。（プール施設の存続を予定している小学校 12 校を拠点校とし、近隣校利用を 24 校と仮定した。）

## ◇近隣校利用

区分	学校数（校） ※各拠点校 1 校含む	縮減される 年間経費（円）
ケース 1	3	2,600,000
ケース 2	3	2,600,000
ケース 3	3	2,600,000
ケース 4	3	2,600,000
ケース 5	3	2,600,000
ケース 6	3	2,600,000
ケース 7	3	2,600,000
ケース 8	3	2,600,000
ケース 9	3	2,600,000
ケース 10	3	2,600,000
ケース 11	3	2,600,000
ケース 12	3	2,600,000
合計	36	31,200,000

## ◇公営・民間施設利用

区分	縮減される年間経費 （円）	備考
小学校	3,600,000	4 校

以上のことから、小学校のプール施設再編による年間経費の削減は約 3,480 万円と見込まれる。プールを自前で持つ学校との格差をどう調整していくかという問題は残るが、財政的な見地からは、拠点校のプール利用によるメリットは大きい。

## 小中学校プールの設置状況と今後の整備の方向性

### 【小学校】

平成23年度現在

番号	学 校 名	構 造	水面積 (㎡)	建築年月	経過 年数	学級数・児童生徒数		当 面 対 応 (15年計画)	長 期 対 応 方 針 (改築等の方針)	備 考		
						H23	H33					
1	稗原小学校	R	250	S'45'7	41	6	76	6	70	修繕	他施設利用(※1)	
2	大津小学校	R	250	S'46'7	40	18	590	18	597	改築	存続(12学級以上有)	屋体改築と合わせて整備
3	長浜小学校	R	250	S'47'7	39	12	306	6	215	大規模改造	他施設利用(※1)	
4	朝山小学校	R	250	S'48'6	38	6	108	6	68	修繕	他施設利用(※1)	
5	四絡小学校	R	250	S'49'7	37	20	686	22	753	改築	存続(12学級以上有)	屋体改築と合わせて整備
6	乙立小学校	R	250	S'49'7	37	4	40	3	23	修繕	他施設利用(※1)	
7	湖陵小学校	アルミ	355	S'50'7	36	12	298	7	235	修繕	他施設利用(※1)	
8	北陽小学校	R	250	S'51'7	35	18	600	19	683	改築	存続(12学級以上有)	屋体改築と合わせて整備
9	国富小学校	R	325	S'51'9	35	6	186	6	134	廃止	他施設利用(※1)	H24から平田SSを利用
10	灘分小学校	鋼製	325	S'52'9	34	9	249	6	156	修繕	他施設利用(※1)	
11	窪田小学校	R	387	S'52'6	34	6	65	6	58	修繕	他施設利用(※1)	
12	檜山小学校	R	325	S'53'11	33	6	64	5	55	修繕	他施設利用(※1)	
13	平田小学校	FRP	445	S'54'10	32	12	416	12	316	大規模改造	存続(12学級以上有)	
14	東小学校	R	325	S'54'3	32	6	127	6	116	修繕	他施設利用(※1)	
15	伊野小学校	FRP	310	S'55'8	31	6	75	4	46	修繕	他施設利用(※1)	
16	田儀小学校	ステンレス	285	S'55'8	31	5	52	4	34	修繕	他施設利用(※1)	
17	西田小学校	R・FRP	310	S'56'10	30	6	75	5	53	修繕	他施設利用(※1)	
18	久多美小学校	R・FRP	372	S'57'11	29	6	144	6	121	修繕	他施設利用(※1)	
19	須佐小学校	FRP	385	S'59'2	28	6	109	6	94	修繕	他施設利用(※1)	
20	鰐淵小学校	R・FRP	315	S'59'11	27	4	29	4	30	修繕	他施設利用(※1)	
21	荒木小学校	FRP	390	H'3'3	21	12	336	12	328	大規模改造	存続(12学級以上有)	
22	遙堪小学校	FRP	390	H'4'1	20	6	122	6	113	修繕	他施設利用(※1)	
23	高浜小学校	R	325	H'6'3	18	7	229	6	185	修繕	他施設利用(※1)	
24	上津小学校	FRP	325	H'9'3	15	5	59	6	52	修繕	他施設利用(※1)	
25	高松小学校	FRP	325	H'9'3	15	19	663	18	608	修繕	存続(12学級以上有)	屋根付プール
26	神西小学校	FRP	325	H'12'3	12	8	220	6	177	修繕	他施設利用(※1)	
27	大社小学校	FRP	350	H'16'2	8	12	288	6	220	修繕	他施設利用(※1)	
28	神戸川小学校	FRP	325	H'18'3	6	18	570	18	525	修繕	存続(12学級以上有)	
29	今市小学校	FRP	325	H'19'3	5	15	491	12	419	修繕	存続(12学級以上有)	
30	岐久小学校	FRP	275	H'19'7	4	6	128	6	99	修繕	他施設利用(※1)	
31	塩冶小学校	FRP	425	H'22'5	1	26	883	27	912	修繕	存続(12学級以上有)	
32	北浜小学校	未設置	-	-	-	4	44	3	24	-	他施設利用(※1)	平田SS利用中
33	塩津小学校	未設置	-	-	-	3	14	3	7	-	他施設利用(※1)	平田SS利用中
34	佐香小学校	未設置	-	-	-	5	51	4	43	-	他施設利用(※1)	平田SS利用中
35	鵜鷺小学校	未設置	-	-	-	3	7	3	5	-	他施設利用(※1)	大社小利用中
36	日御碕小学校	未設置	-	-	-	3	19	3	26	-	他施設利用(※1)	大社小利用中
37	莊原小学校	R	325	S'37'	49	12	410	12	345	修繕	存続(12学級以上有)	
38	西野小学校	FRP	375	H'24'3	0	19	685	12	441	修繕	存続(12学級以上有)	
39	中部小学校	FRP	325	S'50'	36	13	424	12	269	修繕	存続(12学級以上有)	
40	出東小学校	FRP	325	H'12'3	12	7	204	6	184	修繕	他施設利用(※1)	

### 【中学校】

番号	学 校 名	構 造	水面積 (㎡)	建築年月	経過 年数	学級数・児童生徒数		当 面 対 応 (15年計画)	長 期 対 応 方 針 (改築等の方針)	備 考		
						H23	H33					
1	浜山中学校	R	325	S'63'3	24	12	408	12	437	修繕	存続(12学級以上有)	
2	南中学校	R	325	H'1'3	23	5	145	3	106	修繕	他施設利用(※1)	
3	河南中学校	R	325	H'3'3	21	10	349	9	316	修繕	他施設利用(※1)	
4	佐田中学校	FRP	325	H'6'8	17	3	90	3	85	修繕	他施設利用(※1)	
5	平田中学校	ステンレス	350	H'7'	16	15	576	10	383	修繕	他施設利用(※1)	
6	第一中学校	FRP	325	H'11'12	12	16	587	15	556	修繕	存続(12学級以上有)	
7	第二中学校	FRP	325	H'15'12	8	14	528	12	467	修繕	存続(12学級以上有)	
8	第三中学校	FRP	325	H'19'3	4	17	638	21	806	修繕	存続(12学級以上有)	
9	大社中学校	R	375	S'43'	43	11	391	11	376	廃止	他施設利用(※1)	高校用プール、老朽化、上水道なしのため解体
10	向陽中学校	未設置	-	-	-	4	131	6	196	-	他施設利用(※1)	
11	光中学校	未設置	-	-	-	3	60	3	48	-	他施設利用(※1)	
12	湖陵中学校	未設置	-	-	-	5	144	4	127	-	他施設利用(※1)	湖陵小利用
13	多伎中学校	未設置	-	-	-	3	97	3	85	-	他施設利用(※1)	岐久小利用
14	斐川東中学校	FRP	375	H'1'5	22	10	360	9	286	修繕	他施設利用(※1)	
15	斐川西中学校	未設置	-	-	-	15	531	12	453	-	他施設利用(※1)	斐川東中利用

小中学校プールの新改築は、原則として、普通学級12学級以上の小中学校を対象に行う。

※1 12学級未満の小中学校のプールは、現在のプールを有効に活用しながら、当面は修繕し運用するが、原則として新改築を行わず、状況を確認しながら他施設利用(公共・民間プール利用や近隣の学校の利用)へ随時転換を図る。

### **3. 学校施設の耐震化及び施設整備の計画基準**

本市では、計画の実施にあたり、文部科学省の施設基準・補助基準をもとに独自に計画基準を策定した。本計画における事業の実施時期や具体的な整備内容は、原則として本計画基準に沿って組み立てられていくものとする。

次に、本市の校地（園地）・校舎（園舎）・屋内運動場等の新增改築時の整備基準面積と、学校施設の耐震補強・改築・大規模改造・修繕工事（校舎・園舎リフレッシュ事業）の計画基準を示す。



3.1 校地(園地)・校舎(園舎)・屋内運動場等の新増改築時の整備基準面積

対象施設		文部科学省基準面積(H23年度)		出雲市の基準面積(案)	
(1)校地(園地)整備面積	小中学校	基準なし(※1) 「小・中学校 学校規模別校地面積基準表(平成8年度版)」 (以下「旧文部科学省敷地面積基準」という。)参照		旧文部科学省敷地面積基準の108%(100㎡未満切上)以内(※4)	
	幼稚園	基準なし(※1)		2学級以下 2,000㎡(※4) 3学級以上 2,000㎡+700㎡×(学級数-2)(※4) 文部科学省基準以内(自転車置場は含まず)	
(2)建物整備面積	小学校	校舎部分	1学級及び2学級	769㎡+279㎡×(学級数-1)	整備内容については個別検討 整備内容については個別検討。整備する場合、文部科学省基準面積の60%(文部科学省補助下限値)から100%以内。 整備内容については個別検討
			3学級~5学級	1,326㎡+381㎡×(学級数-3)	
	6学級~11学級	2,468㎡+236㎡×(学級数-6)			
	12学級~17学級	3,881㎡+187㎡×(学級数-12)			
	18学級以上	5,000㎡+173㎡×(学級数-18)			
	特別支援教室	168㎡×特別支援学級数			
	通級指導教室	校舎必要面積の20%以内(※2)			
	多目的教室のみ	校舎必要面積(特別支援教室を含む)×10.8%以内			
	多目的教室+少人数指導教室	校舎必要面積(特別支援教室を含む)×18.0%以内			
	中学校	校舎部分	848㎡+651㎡×(学級数-1) 2,150㎡+344㎡×(学級数-3) 3,181㎡+324㎡×(学級数-6) 5,129㎡+160㎡×(学級数-12) 6,088㎡+217㎡(学級数-18) 168㎡×特別支援学級数		
校舎(園舎)・屋内運動場等の新増改築時の整備基準面積	小学校	校舎部分	1学級及び2学級	848㎡+651㎡×(学級数-1)	整備内容については個別検討 整備内容については個別検討。整備する場合、文部科学省補助下限値)から100%以内。 文部科学省基準以内(渡り廊下は含まず)
			3学級~5学級	2,150㎡+344㎡×(学級数-3)	
	6学級~11学級	3,181㎡+324㎡×(学級数-6)			
	12学級~17学級	5,129㎡+160㎡×(学級数-12)			
	18学級以上	6,088㎡+217㎡(学級数-18)			
	特別支援教室	168㎡×特別支援学級数			
	通級指導教室	校舎必要面積の20%以内(※2)			
	多目的加算	校舎必要面積(特別支援教室を含む)×8.5%以内			
	多目的教室+少人数指導教室	校舎必要面積(特別支援教室を含む)×10.5%以内			
	中学校	屋内運動場部分	1,138㎡ 1,476㎡ 450㎡ 250㎡ 300㎡ (※3)		
部室	部室	基準なし(※1)			
自転車置場	自転車置場	基準なし(※1)			

対象施設		文部科学省基準面積 (H23 年度)		出雲市の基準面積 (案)			
幼稚園	園舎 (遊戯室含む)	1 学級及び 2 学級	307 m <sup>2</sup> +209 m <sup>2</sup> × (学級数-1)	文部科学省基準以内 (自転車置場は含まず)			
	園舎部分	3 学級～5 学級	725 m <sup>2</sup> +161 m <sup>2</sup> × (学級数-3)				
種かり保育室	20 人以下/日平均 21 人～35 人/日平均 36 人以上/日平均	6 学級～8 学級	1,208 m <sup>2</sup> +168 m <sup>2</sup> × (学級数-6)				
		9 学級以上	1,713 m <sup>2</sup> +161 m <sup>2</sup> × (学級数-9)				
		88 m <sup>2</sup> を加算					
		132 m <sup>2</sup> を加算					
プール	屋外プール	水面積	176 m <sup>2</sup> を加算			プールの新改築は、原則として、普通学級 12 学級以上の小中学校を対象に行う。(※5) ・普通学級 12 学級～23 学級：325 m <sup>2</sup> 以内 (25m 6 コー) ・普通学級 24 学級以上：425 m <sup>2</sup> 以内 (25m 8 コー) プールの改築は、原則として、40 年以上経過し、老朽化した場合に行う。 325 m <sup>2</sup> (25m×13m 6 コー) プールで、上屋を設ける場合は次の基準に従い整備する。 ・普通学級 12 学級～23 学級：630 m <sup>2</sup> 以内 ・普通学級 24 学級以上：840 m <sup>2</sup> 以内	
		屋内プール	400 m <sup>2</sup>				

共通事項：「学級数」とは、普通教室数及び特別支援教室数を合わせた必要学級数とする。なお、必要学級数は今後の推移を確認し決定する。

(※1)：国庫補助対象外

(※2)：暖房施設(2%)・空調施設(4%)等の施設整備面積や学級数の増加が見込まれるため、通級指導教室を設置するための面積加算は、これらを含めて校舎必要面積の 20%以内の範囲内で補助採択される。

(※3)：単に学校施設整備のみを行なう施設は、補助対象とならない。

補助対象となる学校施設は、地域の生涯学習活動等の拠点となるような他の文教施設(社会教育施設、社会体育施設、文化施設・文化財保護施設)や福祉施設(高齢者福祉施設、児童福祉施設等、身体障害者更生援護施設等)等(以下「複合化対象施設」という。)と合築するものである。具体的に補助対象となる範囲は、学校施設と複合化対象施設との共有スペースの面積の 1/2 (ただし、校舎又は屋内運動場の必要面積の 7%が上限)である。

(※4)：校地(園地)として利用可能なものを対象とし、山林や法面等を含まない。

(※5)：12 学級未満の小中学校のプールは、当面は修繕を図りながら運用するが、原則として新改築を行わず、下記のとおり公共・民間プール利用や近隣の学校プール(拠点校プール)利用へ転換する。

また、学校再編を含めて検討する。

区 分		耐用年数を超え、修繕が困難となった場合のプール授業の代替方法
12 学級未満の学校	6 学級以下かつ 90 人未満	公営・民間プール利用へ転換
	6 学級以上かつ 90 人以上	公営・民間プール利用 または、近隣校プール共同利用(拠点校プール)へ転換

3.2 学校施設の耐震補強・改築・大規模改造・修繕工事（校舎・園舎リフレッシュ事業）の計画基準

対象施設		文部科学省補助基準（H23年度）	出雲市の計画基準（案）	備考									
工事区分	施設												
(1) 耐震補強工事	小中学校の校舎・屋内運動場	補助対象となる棟は次のとおり 非木造 Is 値 0.7 未満 木造 Iw 値 1.0 未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Is 値 0.3 未満は、<b>早急に耐震補強工事を実施する。</b>（※1）</li> <li>・ Is 値 0.3 以上 0.7 未満は、原則、Is 値が低い順に耐震補強工事を実施する。（※1）</li> </ul>	<p>※1：耐震補強対象建物が下記の【改築事業対象表】の改築計画対象、または再編計画対象施設となる場合、それらの計画との整合性を図り計画する。</p> <p>また、昭和46年以前の建物の耐震補強工事の実施にあたっては、改築を含め総合的な検討を行う</p>									
	幼稚園の園舎		<p>※1：耐震補強対象建物が下記の【改築事業対象表】の改築計画対象、または再編計画対象施設となる場合、それらの計画との整合性を図り計画する。</p> <p>また、昭和46年以前の建物の耐震補強工事の実施にあたっては、改築を含め総合的な検討を行う。</p>										
(2) 改築工事実施基準	小中学校の校舎・屋内運動場	補助対象となる棟は次のとおり 耐力度調査（※2）の結果、次の点数未満となった棟 ・ 非木造 4500(5000)点未満 ・ 木造 5500(6000)点未満 （ ）は、別敷地移転、全面改築又は適正配置の為に危険改築の場合や敷地立地等特別の理由（S45年以前の建物）がある場合にある500点の耐力度の緩和措置。	<p>文部科学省が定める耐力度調査結果により、国の補助を受け実施する。また、改築事業は、次の建物の経過年数を目安として、耐力度調査を行い計画する。</p> <p><b>【改築事業対象表】</b></p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>昭和56年以前に建築された建物</td> <td>昭和57年以上に経過した建物</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート構造(※3)</td> <td>50年以上経過した建物</td> <td>60年以上経過した建物</td> </tr> <tr> <td>鉄骨構造(※3)</td> <td>40年以上経過した建物</td> <td>40年以上経過した建物</td> </tr> </table> <p>なお、再編計画との整合性を図り計画する。</p>		昭和56年以前に建築された建物	昭和57年以上に経過した建物	鉄筋コンクリート構造(※3)	50年以上経過した建物	60年以上経過した建物	鉄骨構造(※3)	40年以上経過した建物	40年以上経過した建物	<p>※2：耐力度調査は、構造耐力と保存度（老朽化）を評価するもので、満点は10,000点。文部科学省の補助を受けて改築する場合には必要な調査がある。</p> <p>※3：参考；文部科学省が示す財産処分年限（財産処分制限期間）・・・鉄筋コンクリート構造：60年、鉄骨構造：40年、ブール：30年</p>
		昭和56年以前に建築された建物	昭和57年以上に経過した建物										
鉄筋コンクリート構造(※3)	50年以上経過した建物	60年以上経過した建物											
鉄骨構造(※3)	40年以上経過した建物	40年以上経過した建物											
幼稚園の園舎													

対象施設		文部科学省補助基準（H23年度）		出雲市の計画基準（案）	
工事区分	施設	補助対象となるものは次のとおり		補助制度を受け、次表の方針で計画的に実施する。	
(3) 大規模改造工事	小中学校	校舎・屋内運動場・設備他	7000万円 (小規模校等は1000万円)	建築 設備	大規模改造計画時期
		校舎・屋内運動場・設備他	7000万円 (1事業400万円以上)	建物全体の改修 エコ改修	大規模改造計画時期
(3) 大規模改造工事	幼稚園	園舎・設備他	400万円	建築 設備	大規模改造計画時期
		園舎・設備他	400万円	建物全体の改修 エコ改修	大規模改造計画時期
プール		プール	1000万円	増改築・大規模改造時に合わせ計画 (工事用仮設スペースを校庭に確保するなど整備が必要となるもの)	増改築・大規模改造時に合わせ計画(個別検討)
		プール	400万円	園舎の全面的な改築に合わせ計画(個別検討)	園舎の全面的な改築に合わせ計画(個別検討)

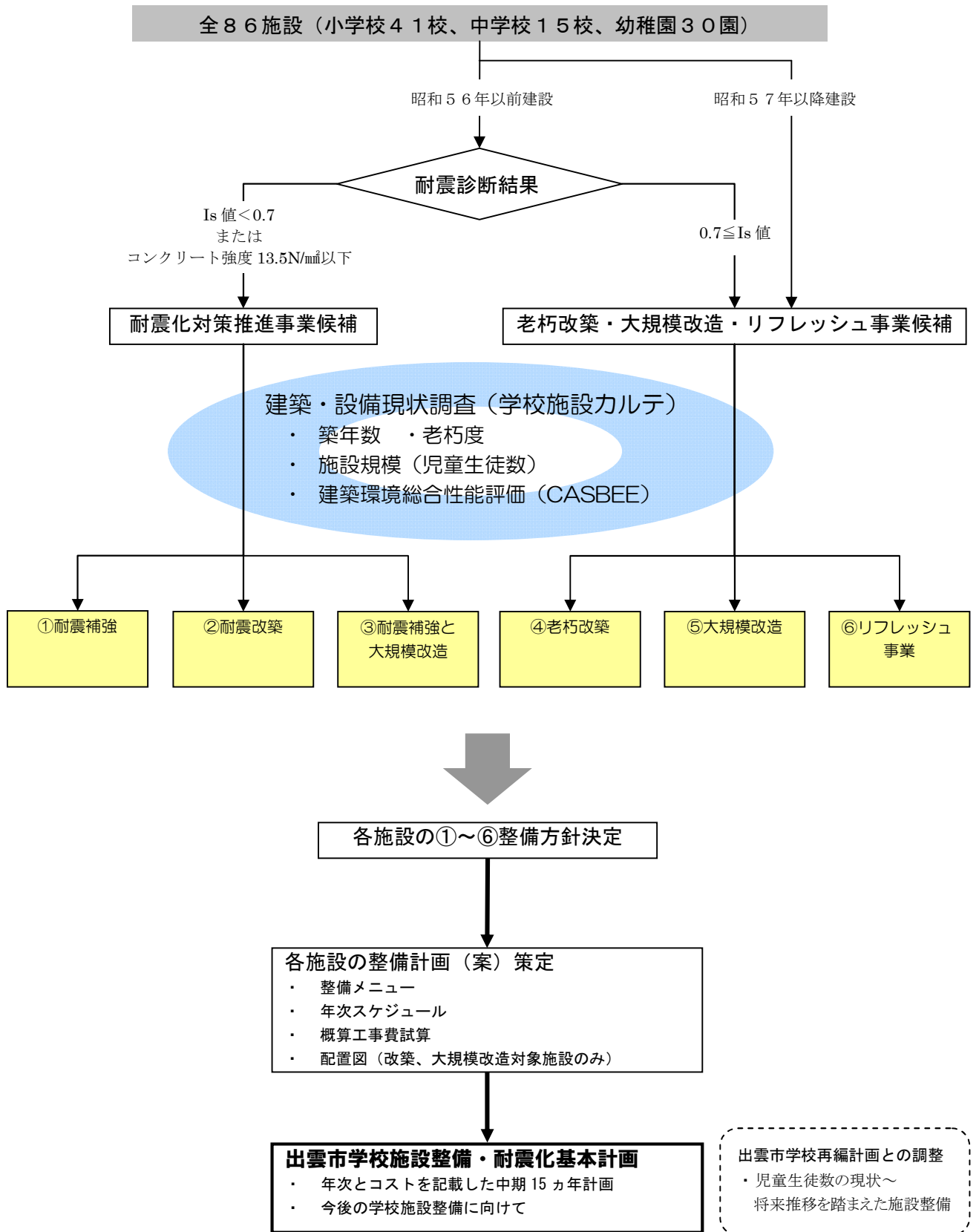
文部科学省補助基準（H23年度）		出雲市の計画基準（案）			
工事区分	施設	補助対象となるものは次のとおり		補助制度を受け、次表の方針で計画的に実施する。	
(3) 大規模改造工事	小中学校	校舎・屋内運動場・設備他	7000万円 (小規模校等は1000万円)	建築 設備	大規模改造計画時期
		校舎・屋内運動場・設備他	7000万円 (1事業400万円以上)	建物全体の改修 エコ改修	大規模改造計画時期
(3) 大規模改造工事	幼稚園	園舎・設備他	400万円	建築 設備	大規模改造計画時期
		園舎・設備他	400万円	建物全体の改修 エコ改修	大規模改造計画時期
プール		プール	1000万円	増改築・大規模改造時に合わせ計画 (工事用仮設スペースを校庭に確保するなど整備が必要となるもの)	増改築・大規模改造時に合わせ計画(個別検討)
		プール	400万円	園舎の全面的な改築に合わせ計画(個別検討)	園舎の全面的な改築に合わせ計画(個別検討)

出雲市の計画基準 (案)																					
工事区分・対象施設 (4)校舎・園舎リフレッシュ事業	<p>文部科学省補助基準 (H23 年度)</p> <p>基準なし</p>																				
次の優先度の高い順で整備を行なう	<table border="1"> <thead> <tr> <th>優先度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Aランク</td> <td>老朽化が著しく危険であるため可及的速やかに実施が必要な修繕</td> </tr> <tr> <td>Bランク</td> <td>老朽化が進みおおむね1年以内に実施が必要な修繕</td> </tr> <tr> <td>Cランク</td> <td>おおむね2～3年以内に実施が必要な修繕</td> </tr> <tr> <td>Dランク</td> <td>A・B・C以降の修繕</td> </tr> <tr> <td>Eランク</td> <td>改築・大規模改造事業との調</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整を行って対応する修繕</td> </tr> <tr> <td></td> <td>E-A Aランク該当</td> </tr> <tr> <td></td> <td>E-B Bランク該当</td> </tr> <tr> <td></td> <td>E-C Cランク該当</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 主要な建築部位及び設備種別による修繕整備方針は別途に定める。 ただし、鋼板製屋根は、経年劣化により雨漏りを生ずるため、築後概ね 20 年経過で修理（塗装等）を実施するなど、建物の状況に応じた対応をする。</p>	優先度	内容	Aランク	老朽化が著しく危険であるため可及的速やかに実施が必要な修繕	Bランク	老朽化が進みおおむね1年以内に実施が必要な修繕	Cランク	おおむね2～3年以内に実施が必要な修繕	Dランク	A・B・C以降の修繕	Eランク	改築・大規模改造事業との調		整を行って対応する修繕		E-A Aランク該当		E-B Bランク該当		E-C Cランク該当
優先度	内容																				
Aランク	老朽化が著しく危険であるため可及的速やかに実施が必要な修繕																				
Bランク	老朽化が進みおおむね1年以内に実施が必要な修繕																				
Cランク	おおむね2～3年以内に実施が必要な修繕																				
Dランク	A・B・C以降の修繕																				
Eランク	改築・大規模改造事業との調																				
	整を行って対応する修繕																				
	E-A Aランク該当																				
	E-B Bランク該当																				
	E-C Cランク該当																				
(5)エレベータ設置	<p>原則、次表のとおりとする</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置時期</th> <th>設置場所</th> <th>設置条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>校舎の増改築時、または、肢体不自由・病弱等となる児童生徒の在籍状況を考慮して計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>小中学校の校舎に設置</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>3階以上に教室がある場合に設置</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>小学校 12 学級、中学校6学級以上の学校に設置</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設置時期	設置場所	設置条件		校舎の増改築時、または、肢体不自由・病弱等となる児童生徒の在籍状況を考慮して計画			小中学校の校舎に設置			3階以上に教室がある場合に設置			小学校 12 学級、中学校6学級以上の学校に設置						
設置時期	設置場所	設置条件																			
	校舎の増改築時、または、肢体不自由・病弱等となる児童生徒の在籍状況を考慮して計画																				
	小中学校の校舎に設置																				
	3階以上に教室がある場合に設置																				
	小学校 12 学級、中学校6学級以上の学校に設置																				
(6)エアコン整備	<p>エアコンの整備対象室・時期</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備時期</th> <th>整備対象室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存施設に年次的に整備する室</td> <td>小学校 校舎の校長室・職員室・相談室・音楽室・図書室・コンピュータ教室・音楽室 中学校 校舎の校長室・職員室・相談室・音楽室・図書室・コンピュータ教室・音楽室 幼稚園 園舎の職員室・預かり保育室</td> </tr> <tr> <td>増改築に合わせ整備する</td> <td>校舎(園舎):上記以外の教室、保育室及び管理諸室に整備する。 (廊下拡張型の多目的スペースには整備しない) 屋内運動場(武道場含む):ミーティングルーム</td> </tr> </tbody> </table>	整備時期	整備対象室	既存施設に年次的に整備する室	小学校 校舎の校長室・職員室・相談室・音楽室・図書室・コンピュータ教室・音楽室 中学校 校舎の校長室・職員室・相談室・音楽室・図書室・コンピュータ教室・音楽室 幼稚園 園舎の職員室・預かり保育室	増改築に合わせ整備する	校舎(園舎):上記以外の教室、保育室及び管理諸室に整備する。 (廊下拡張型の多目的スペースには整備しない) 屋内運動場(武道場含む):ミーティングルーム														
整備時期	整備対象室																				
既存施設に年次的に整備する室	小学校 校舎の校長室・職員室・相談室・音楽室・図書室・コンピュータ教室・音楽室 中学校 校舎の校長室・職員室・相談室・音楽室・図書室・コンピュータ教室・音楽室 幼稚園 園舎の職員室・預かり保育室																				
増改築に合わせ整備する	校舎(園舎):上記以外の教室、保育室及び管理諸室に整備する。 (廊下拡張型の多目的スペースには整備しない) 屋内運動場(武道場含む):ミーティングルーム																				
(7)校庭の芝生化	<p>校庭(園庭)の全面的な芝生化は、下記のとおりとする。</p> <p>① 地元において、芝の植え付け、育成、管理について、市ど「覚書」を交わし、永続的かつ適切に管理できる団体があること。</p> <p>② 芝生化にあたっての基盤整備に関わる費用(校庭の排水整備、散水設備、芝の当初育成に關わる経費等)は、市の負担とし、芝の維持管理に関する費用は、地元負担とする。</p> <p>※中学校の校庭は、原則、芝生化は行わない。</p>																				



#### **4. 学校施設整備・耐震化基本計画**

4.1 出雲市学校施設整備・耐震化基本計画フロー





4.2 事業メニュー表

事業内容	事業対象	工事内容	実施の基準（緊急性など）
耐震化対策推進事業	①耐震補強 耐震診断によって構造耐震指標（以下、「I s 値」という。）が、0.7（文部科学省の耐震補強補助基準値）未満と判定された棟	耐震ブレース等で補強する工事	最も緊急性が高い。 I s 値の低いものから実施する。 文部科学省による耐震化補助率の嵩上げのあるH27年度（2015年）までに実施することが望ましい。
	②耐震改築 耐震診断によってI s 値が0.7未満と判定され、次のいずれかに該当する棟 ・技術上耐震補強が困難であるもの ・老朽化が著しく、老朽改築④の年限に達したもの ・市基準面積（文部科学省基準）と比較し、著しく狭隘であるもの ※文部科学省の改築の補助対象となるには、耐震診断とは別に耐力度調査を行い、「危険改築」対象棟として認められる必要がある。	対象棟を解体し改築する工事	事業の優先度は耐震補強と同じ（I s 値0.3未満は、H27度（2015年）までに完全実施） 財政上の理由から、改築年をH27年度（2015年）より先に延ばす場合は、Is 値等を参考に総合的に判断する。
大規模改造 + ④老朽改築 (増築を含む)	③耐震補強 + 耐震診断によってI s 値が0.7未満と判定され、屋根・外壁・設備などの主要部位や内装が著しく老朽化しているもので、かつ、建築後30年が経過した棟 ※文部科学省の補助対象となるには、内外装の同時改修が求められる。	耐震ブレース等で補強する工事 + 既存施設の内外装・設備の大規模な改修工事（長寿命化対策工事）	耐震補強を、優先的に実施する。 なお、耐震補強と大規模改造の同時実施、または、切り離して実施することに関しては、個別に老朽度を調査し計画する。
	④老朽改築 次の耐用年数（文部科学省の示す財産処分年限）に達した棟 ・鉄筋コンクリート構造：60年（S56年以前に建築された棟は、50年） ・鉄骨構造：40年 ※文部科学省の改築の補助対象となるには、耐力度調査を行い、「危険改築」対象棟として認められる必要がある。 児童生徒数の増加に伴い増築が必要となるもの	対象棟を解体し改築する工事	耐震推進事業と比較し、緊急性は低く、実施時期には融通性がある。 耐用年数に達したのものから順次計画する。 学校においては、建設時期が異なる複数の棟から構成されている場合が多い。 そのため、学校施設全体の整備計画を策定し、改築時期の検討を行う必要がある。
	⑤大規模改造 屋根・外壁・設備などの主要部位や内装が著しく老朽化しているもので、かつ、建築後30年が経過した棟 ※文部科学省の補助対象となるには、内外装の同時改修が求められる。	既存施設の内外装・設備の大規模な改修工事（長寿命化対策工事）	緊急性は低く、実施時期には融通性はあるが、計画的に実施しないと老朽化が進み、改築時期を早めてしまう。 主要部位ごと（屋根・外壁・設備他）に改修必要時期は異なる。
	⑥リフレッシュ事業 (既存施設の老朽修繕・質的向上改修)	次に掲げる老朽箇所の修繕 ・学校要望箇所 ・現地調査し修繕が必要と判断した箇所 ・各種法令点検の指摘箇所	特定された老朽箇所の修繕工事
長寿命化事業	バリアフリー改修事業 スロープ設置 優先トイレ設置 エレベータ設置	校舎（園舎）及び屋内運動場の玄関または昇降口 校舎（園舎）及び屋内運動場の1階 校舎（3階以上に教室がある場合、小学校12クラス・中学校6クラス以上）	未整備校への設置工事 学校（園）規模や児童・生徒の在籍状況を把握し、計画的に実施する。
	トイレ改修事業	改修内容は次のとおり ・児童・生徒用便所の洋式化(各トイレ1カ所) ・男女共用の解消と間仕切壁の設置 ・屋外トイレの設置（小中学校のみ） ・トイレの水洗化	各対象部位の改修工事 各施設のトイレの状況を把握し、計画的に実施する。
	エアコン整備事業	整備対象室は次のとおり ・小中学校：職員室、校長室、保健室、会議室、相談室、図書室、コンピュータ教室、音楽室 ・幼稚園：職員室、預かり保育室	整備対象室への新設・取替工事 エアコンが未設置のものから順に設置する。 また、既に設置しているエアコンについても老朽化を調査し、計画的に取替を進める。

## ■施設整備事業化にあたっての決定方針

各学校で実施するメニューと実施時期を一覧にしたものが、4.2 事業メニュー表である。適用する事業メニューの選択と実施時期の決定は、現地調査を参考にしながら、以下のような観点から行った。

- 1) 最も優先度が高いメニューは、耐震化対策推進事業（耐震補強、耐震改築）である。特に  $I_s$  値が 0.3 未満の建物については緊急に対策を講ずる。
- 2) 大規模改造や増築などが耐震補強工事に付加されて実施されるケースもあるが、もし大規模改造や増築が加わることで、事業実施が先送りされ危険な状況が生まれるようであれば、すみやかに事業を切り離し、耐震化工事を先行させる。
- 3) 実施時期に融通性がある場合には、工事による影響、トータルの工事費用を軽減できるなどのメリットが大きいため、耐震補強工事に合わせた大規模改造や増築の実施を積極的に推し進める。
- 4) 耐震改築は、望ましい（耐震ブレースなどが表に出ない）手段であるが、1件当たりの工事費が高くなる欠点がある。耐震補強か耐震改築かを選ぶ際の判断は、以下の点を考慮する。
  - 既存ストックを長く活用することを基本として、耐震補強を原則とする。
  - コンクリート強度が低いなど、補強の効果が期待できない場合、または老朽化が進み、建替え時期が改築計画基準年となる建物については、耐震改築を検討する。

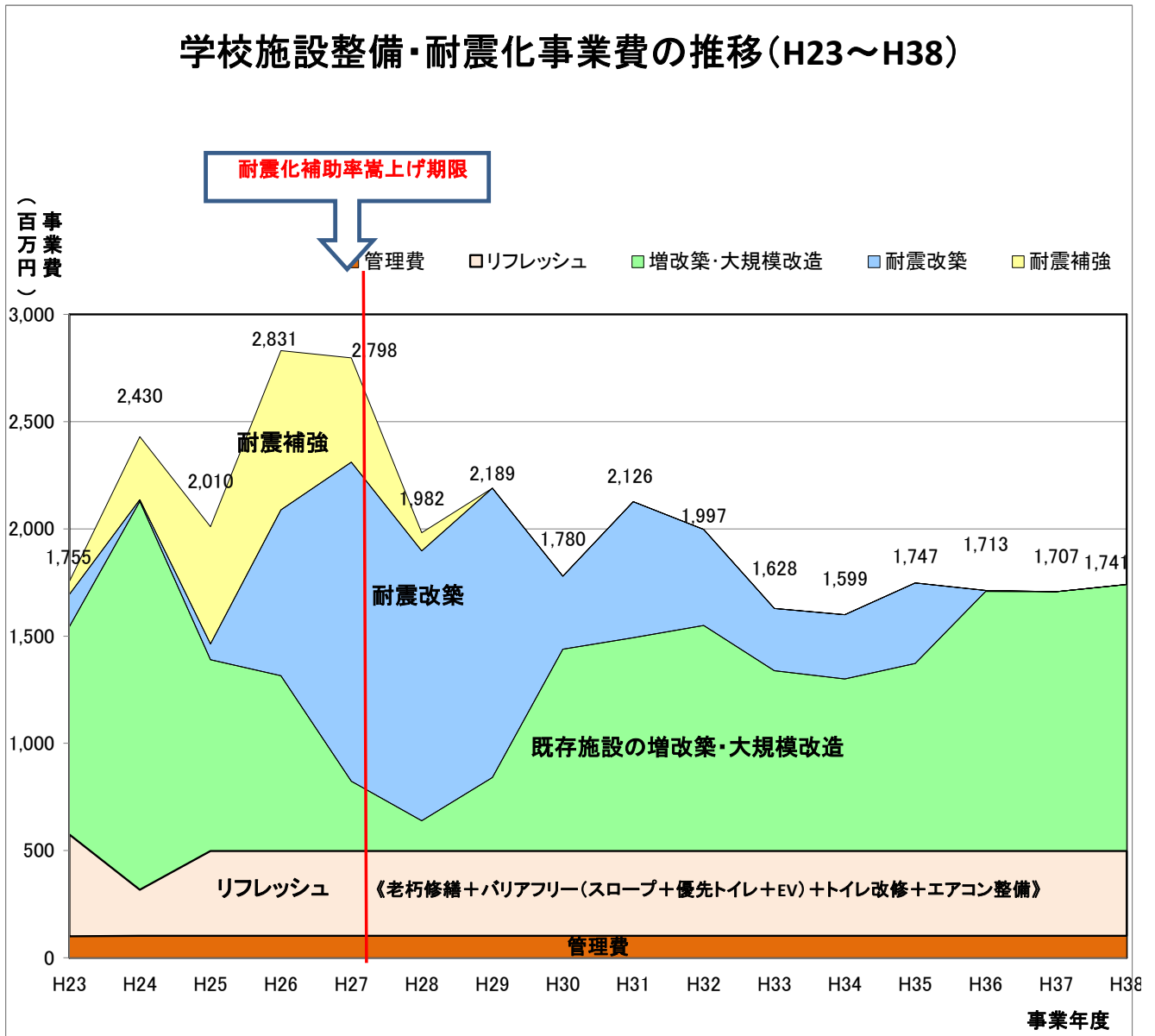
4.3 出雲市学校施設整備・耐震化基本計画（中期計画）の骨子

事業内容	対 象	中期計画期間内に実施を予定する事業 (15年間：平成24(2012)年度～平成38(2026)年度)		
		内 容	事業費(千円)	
耐震化推進事業 資料1	①耐震補強のみ 資料2	44棟	全棟実施（非木造42棟＋木造2棟） ※平成24年度診断予定の中部幼・出東幼2棟除く	2,155,023
	②耐震改築 資料3	17棟	全棟実施（非木造16棟＋木造1棟） ※生徒数急増に伴い改築を行なう第三中（校舎・屋体）を含む	7,340,973
既存施設の増改築・大規模改造 ※備品購入費除く 資料4	43施設 小19 中11 幼13		○継続事業として取り組んでいるもの ※北陽小校舎増築事業、向陽中移転改築事業、佐田中改築事業 ○老朽化が進行し改築が必要なもの 耐震構造指標(Is値)0.7以上（耐震補強済みを含む）含む ○大規模改造が必要なもの （塩害を受けやすい施設は経過年数35年を目処に、それ以外はRC造（鉄筋コンクリート造）50年・S造（鉄骨造）40年以内を目処に実施し、施設の長寿命化を図る。（※1）	13,497,816
⑥リフレッシュ事業 （既存施設の老朽修繕・質的向上改修） 資料5				5,741,539
老朽修繕 （老朽化等修繕の整備課題額）平 成24年1月現在 資料5-1	全施設		全施設を対象とし継続実施 ・170,000千円(H24)＋251,749千円×14年分(H25～H38) 課題額 3,694,487千円(1,002件)	3,694,487
バリアフリー 改修事業 資料5-2	スロープ・ 優先トイレ	48施設	対象施設の計画実施 ・29,176千円/年×14年分(H25～H38) 課題額 408,464千円	408,464
	エレベータ （適正規模の小中学校に設置）	14施設 小8 中6	対象施設のうち、1施設（第1中）はH24に実施	41,100
トイレ改修事業 資料5-3	73施設	対象施設の計画実施 ・68,292千円/年×14年分(H25～H38) 課題額 627,200千円	956,088	
エアコン整備事業（新設・取替） 資料5-4 ※整備基準対象室に限った整備	全施設	全施設を対象とし継続実施（※2） ・3,000千円(H24)＋45,600千円×14年分(H25～H38)	641,400	
⑦学校管理費 （法定点検、借地料、浄化槽維持、下水道接続） ※水道、電気、ガス料金除く	全施設	全施設を対象とし継続実施 ・102,900千円/年×15年分(H24～H38)	1,543,500	
計		30,278,851千円（2,018,590千円/年）		

(※1)：学校施設の計画基準に照らし合わせると、本来耐力度調査を行い改築対象となる年度近くになつて大規模改造する施設も含む。

(※2)：エアコン整備費(年度経費の設定)＝学校施設の計画基準整備対象室への新設・取替経費 912,343千円÷耐用年数20年＝45,600千円/年

4.4 中期計画事業費推移グラフ



[単位: 百万円]

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	合計
耐震補強	60	294	547	742	487	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,155
耐震改築	150	8	74	774	1,487	1,258	1,348	341	634	447	290	299	375	5	0	0	7,341
増改築・大規模改造	970	1,811	892	817	326	141	343	941	995	1,052	840	802	875	1,210	1,209	1,243	13,498
リフレッシュ <small>(老朽修繕・質的向上改修)</small>	474	214	395	395	395	395	395	395	395	395	395	395	395	395	395	395	5,742
管理費	100	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	1,544
<b>合計</b>	<b>1,755</b>	<b>2,430</b>	<b>2,010</b>	<b>2,831</b>	<b>2,798</b>	<b>1,982</b>	<b>2,189</b>	<b>1,780</b>	<b>2,126</b>	<b>1,997</b>	<b>1,628</b>	<b>1,599</b>	<b>1,747</b>	<b>1,713</b>	<b>1,707</b>	<b>1,741</b>	<b>30,279</b>

各項目の年度ごとの金額は、四捨五入により百万円単位で計上しているため、年度ごと、項目ごとの集計は必ずしも一致しない。

(注) 学校再編統合の事業費は、計画が明確になった時点で上記事業費に別途加わるものとする。また、再編統合校の新規改築事業(耐震補強・修繕工事は除く)は含まない。

学校施設耐震化 事業計画一覧表 (案)

4.5 事業計画一覧表  
以下に事業メニューごとの事業計画の内訳を示す。

1. 非木造施設の耐震化

(1) 耐震補強工事のみを実施する棟

42棟						2,122,348千円		
工事年	№	学校名	種別	建物種別	構造	床面積 ㎡	耐震補強総費 (千円)	棟数
H24	1	南郷小学校	屋	屋内運動場棟	RC	1,440㎡	291,160	7棟
	2	南郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	1,189㎡	36,480	
	3	北中學校	屋	屋内運動場棟	RC	1,291㎡	60,400	
	4	北中學校	屋	屋内運動場棟	RC	679㎡	34,230	
	5	西郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	680㎡	32,529	
	6	西郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	452㎡	19,529	
	7	西郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	715㎡	44,619	
H25	8	西郷小学校	屋	管理棟	S	642㎡	21,385	
	9	西郷小学校	屋	管理棟	S	380㎡	14,810	
	10	西郷小学校	屋	管理棟	S	380㎡	14,810	
	11	西郷小学校	屋	管理棟	RC	2,501㎡	70,485	
	12	西郷小学校	校	教室棟	RC	1,789㎡	56,625	
	13	西郷小学校	校	教室棟	RC	1,951㎡	61,615	
	14	西郷小学校	屋	屋内運動場棟	RC	1,096㎡	28,381	
	15	西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	2,462㎡	83,815	
	16	西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	3,414㎡	37,200	
H26	17	北郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	880㎡	46,071	
	18	北郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	473㎡	106,315	
	19	西郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	620㎡	21,388	
	20	西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	2,667㎡	178,290	
	21	西郷小学校	校	教室棟	RC	1,567㎡	56,858	
	22	西郷小学校	校	速部下棟	RC	75㎡	2,889	
	23	西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	1,026㎡	37,258	
	24	西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	240㎡	8,808	
	25	西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	1,650㎡	69,060	
	26	西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	1,257㎡	44,800	
	27	西郷小学校	校	低学年教室棟	RC	675㎡	24,577	
	H27	28	西郷小学校	校	特別教室棟	RC	1,146㎡	41,594
29		西郷小学校	校	特別教室棟	RC	1,526㎡	53,938	
30		西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	801㎡	21,315	
31		西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	1,195㎡	32,154	
32		西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	1,144㎡	9,810	
33		西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	1,094㎡	15,309	
34		西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	1,328㎡	102,212	
35		西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	1,403㎡	83,281	
36		西郷小学校	屋	屋内運動場棟	RC	902㎡	9,783	
37		西郷小学校	屋	屋内運動場棟	RC	1,347㎡	47,275	
38		西郷小学校	校	教室棟	RC	3,241㎡	57,871	
H28		39	西郷小学校	校	速部下棟(中央)	S	46㎡	15,433
	40	西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	1,609㎡	77,773	
H28	41	西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	2,080㎡	81,286	
	42	西郷小学校	校	管理特別教室棟	RC	888㎡	32,272	
小計							2,122,348	42棟

※米診所の中部・出車口 計2棟を除く(H24診断済済予定)

2. 木造施設の耐震化

(1) 耐震補強工事のみを実施する棟

2棟						32,675千円		
工事年	№	学校名	種別	建物種別	構造	床面積 ㎡	耐震補強総費 (千円)	棟数
H28	1	西郷小学校	校	教室棟	W	755㎡	14,186	2棟
	2	西郷小学校	校	教室棟	W	956㎡	18,489	
小計							32,675	2棟

(1) 耐震補強工事で対応する棟

44棟 2,155,023千円

(2) 耐震改築工事で対応する棟

16棟						7,340,973千円		
工事年	№	学校名	種別	建物種別	構造	床面積 ㎡	耐震改築総費 (千円)	棟数
H26	1	西郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	676㎡	653,927	1棟
	2	西郷小学校	校	教室棟	RC	2,138㎡	1,589,539	
H27	3	西郷小学校	校	管理棟	RC	2,317㎡	1,940,256	3棟
	4	西郷小学校	校	教室棟	RC	1,048㎡	292,708	
H28	5	西郷小学校	校	教室棟	RC	1,919㎡	292,708	1棟
	6	西郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	320㎡	1,940,256	
H29	7	西郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	800㎡	408,047	1棟
	8	西郷小学校	校	教室棟	S	248㎡	292,708	
H31	9	西郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	811㎡	644,444	1棟
	10	西郷小学校	校	教室棟	RC	786㎡	480,439	2棟
H32	11	西郷小学校	校	教室棟	RC	670㎡	408,047	1棟
	12	西郷小学校	校	管理棟	S	594㎡	408,047	
H33	13	西郷小学校	校	教室棟	RC	1,048㎡	191,780	2棟
	14	西郷小学校	校	速部下棟	S	38㎡	0.60	
H34	15	西郷小学校	校	教室棟	RC	981㎡	359,408	1棟
	16	西郷小学校	屋	屋内運動場棟	S	846㎡	779,445	1棟
小計							7,340,973	16棟

(2) 耐震改築工事で対応する棟

3棟 32,675千円

1棟 非木造で計上

1棟						非木造で計上		
工事年	№	学校名	種別	建物種別	構造	床面積 ㎡	耐震改築総費 (千円)	棟数
H28	1	西郷小学校	校	特別教室棟	W	590㎡	0.83	1棟
小計							-	1棟

(2) 耐震改築工事で対応する棟

17棟 7,340,973千円

学校施設 耐震補強計画(案) 平成24～38年度

【参考】

内の数字は工事実施年における施設年数

耐震化補助事業上げ期限

【小学校】	学年	学校名	内容	H23 【2011】	H24 【2012】	H25 【2013】	H26 【2014】	H27 【2015】	H28 【2016】	H29 【2017】	H30 【2018】	H31 【2019】	H32 【2020】	H33 【2021】	H34 【2022】	H35 【2023】	H36 【2024】	H37 【2025】	H38 【2026】	合計 【H24～H38】	【単位:千円】				
																						建築 年数	建築 年数	建築 年数	建築 年数
H25実施 6棟 (校舍 5棟) (屋体 1棟)	H24 【2012】	44	平田小学校	校舎(教室棟)	0.28	44	設計 増築 21,100	設計 増築 46,700	11棟	1棟															
			榑山小学校	屋内運動場棟	0.20	30	設計 増築 38,680																	29,160	
			湖原小学校	屋内運動場棟	0.21	37	設計 増築 34,239																		36,480
			中郷小学校	屋内運動場棟	0.16	40	設計 増築 32,289																		34,239
			西郷小学校	屋内運動場棟	0.30	36	設計 増築 19,529																		32,289
			鶴堂小学校	屋内運動場棟	0.37	34	設計 増築 44,019																		19,529
			兼滝小学校	屋内運動場棟	0.28	34	設計 増築 60,853																		44,019
			平田小学校	管理教室棟(北)	0.30	44	設計 増築 52,183																		70,485
			神西小学校	教室棟(南)	0.38	41	設計 増築 17,610																		56,825
			荒木小学校	屋内運動場棟	0.39	31	設計 増築 23,303																		144,615
			H29実施 12棟 (校舍 9棟) (屋体 3棟)	H28 【2016】	37	北郷小学校	管理特別教室棟(東)	0.50	32	設計 増築 97,295															
北郷小学校	管理教室棟	0.53				34	設計 増築 4,408																	37,200	
北郷小学校	屋内運動場棟	0.26				34	設計 増築 4,996																		46,071
佐音小学校	屋内運動場棟	0.26				42	設計 増築 9,246																		106,315
西田小学校	屋内運動場棟	0.42				37	設計 増築 16,011																		21,388
湖原小学校	普通教室棟 特別教室棟(東)	0.43				38	設計 増築 170,033																		176,290
湖原小学校	特別教室棟	0.43				41	設計 増築 50,346																		56,858
中郷小学校	渡廊下棟	0.46				41	設計 増築 2,418																		2,889
中郷小学校	管理特別教室棟	0.54				41	設計 増築 32,964																		37,258
中郷小学校	屏風口棟	0.61				41	設計 増築 7,718																		8,808
榑山小学校	管理教室棟(南)	0.44				43	設計 増築 61,965																		69,060
H27実施 11棟 (校舍 10棟) (屋体 1棟)	H26 【2014】	51	伊野小学校	普通教室棟	0.45	31	設計 増築 139,448																		
			伊野小学校	低学年教室棟	0.47	40	設計 増築 21,868																	140,804	
			西野小学校	特別教室棟	0.63	40	設計 増築 38,824																	24,577	
			佐音小学校	管理教室棟(東)	0.46	47	設計 増築 5,838																		41,594
			瀬分小学校	管理教室棟(南)	0.48	42	設計 増築 5,191																		23,938
			榑山小学校	管理教室棟(南)	0.48	45	設計 増築 6,397																		71,315
			東小学校	階段室棟北	0.49	41	設計 増築 3,824																		32,154
			東小学校	管理教室棟北	0.61	41	設計 増築 9,746																		9,810
			西田小学校	管理教室棟	0.50	38	設計 増築 5,542																		15,309
			西郷小学校	管理教室棟(南)	0.50	42	設計 増築 6,704																		102,212
			西郷小学校	屋内運動場棟	0.52	30	設計 増築 4,650																		82,281
埴谷小学校	教室棟(南)	0.52	39	設計 増築 46,055																		9,793			
大津小学校	教室棟(北)	0.52	37	設計 増築 8,882																		47,275			
藤瀬小学校	管理教室棟・地下棟	0.56	46	設計 増築 7,036																		57,871			
荏原小学校	管理特別教室棟	0.69	35	設計 増築 24,531																		71,773			
小学校計				53,135	228,100	503,840	788,746	487,154	26,531												1,964,372				



学校施設 耐震補強計画(案) 平成24～38年度

内の数字は工事実施毎にける建築年数

【参考】

耐震化補助事業上げ別冊

【中学校】	学校名	建築年	建物種別	延床面積	H23 [2011]	H24 [2012]	H25 [2013]	H26 [2014]	H27 [2015]	H28 [2016]	H29 [2017]	H30 [2018]	H31 [2019]	H32 [2020]	H33 [2021]	H34 [2022]	H35 [2023]	H36 [2024]	H37 [2025]	H38 [2026]	合計	
																					【H24～H38】	
校舎 2棟 体育 1棟	光中学校	(建) S54	屋内運動場棟	0.20	設計 7,100	計画 00,000	33	設計 3,459	11,974 計画 37	1棟											60,400	
	第二中学校	(校) S53	渡り廊下棟(中央)	0.53																		15,433
	光中学校	(校) S53	管理教室棟	0.62							23,889 計画 38											31,286
<b>中学校 計</b>																						<b>107,119</b>
【幼稚園】	学校名	建築年	建物種別	延床	H23 [2011]	H24 [2012]	H25 [2013]	H26 [2014]	H27 [2015]	H28 [2016]	H29 [2017]	H30 [2018]	H31 [2019]	H32 [2020]	H33 [2021]	H34 [2022]	H35 [2023]	H36 [2024]	H37 [2025]	H38 [2026]	合計	
	【H24～H38】																					
	3棟																					
園舎 3棟	高浜幼稚園	(園) S53	園舎棟	0.23		設計 2,924	18,491 計画 35															21,385
	今市幼稚園	(園) S45	園舎棟(北)	0.29		設計 2,449	12,491 計画 43															14,910
	今市幼稚園	(園) S45	園舎棟(南)	0.30		設計 2,449	12,113 計画 43															14,562
<b>幼稚園 計</b>																						<b>50,857</b>
非木造 耐震補強事業(小・中・幼)の計					60,235	294,322	546,874	742,207	486,744	52,201												2,122,348
非木造 耐震化棟数(小・中・幼)の計					7棟	7棟	8棟	12棟	12棟	2棟												42棟

【木造】	小学校名	建築年	建物種別	延床	H23 [2011]	H24 [2012]	H25 [2013]	H26 [2014]	H27 [2015]	H28 [2016]	H29 [2017]	H30 [2018]	H31 [2019]	H32 [2020]	H33 [2021]	H34 [2022]	H35 [2023]	H36 [2024]	H37 [2025]	H38 [2026]	合計	
																					【H24～H38】	
小学校校舎 3棟	今市小学校	(校) S31	特別教室棟	0.83				改築 53		2棟												2棟
	堤津小学校	(校) S30	教室管理棟	0.33						計画 14,186 01												14,186
	鶴賀小学校	(校) S35	教室管理棟	0.61						計画 18,469 05												18,469
<b>木造 耐震補強事業(小・中・幼)の計</b>																						<b>32,875</b>
木造 耐震化棟数(小・中・幼)の計					2棟					2棟												2棟

【集計】

内容	H23 [2011]	H24 [2012]	H25 [2013]	H26 [2014]	H27 [2015]	H28 [2016]	H29 [2017]	H30 [2018]	H31 [2019]	H32 [2020]	H33 [2021]	H34 [2022]	H35 [2023]	H36 [2024]	H37 [2025]	H38 [2026]	合計 [H24～H38]
耐震補強事業(非木造+木造)の計 ①	60,235	294,322	546,874	742,207	486,744	84,876											2,155,023
耐震化棟数(非木造+木造)の計 ②		7棟	9棟	12棟	12棟	4棟											44棟



学校施設 耐震改築計画(案) 平成24～38年

〔参考〕

内の数字は工事実施年度にける建築年数

耐震化補助事業上上げ期間

学校名	内容	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)	合計 (H24～H38)			
																		棟数 年数	棟数 年数		
今市小学校	①教室棟南(S54) 耐震補強+ ②管理棟西棟南(S54) 大規模改築 ③教室棟北(S51) 耐震改築 ④特別教室棟(N5) 耐震改築	32			1棟	3棟	1棟					1棟	1棟						9棟	1,589,539	
		0.36				36	811,577	385,950	65,395				43,668	249,830					43	1,589,539	
		0.36				301,391	811,577	385,950	65,395				43,668	249,830						43	1,589,539
		0.53				301,391	811,577	385,950	65,395				43,668	249,830						43	1,589,539
大津小学校	①教室棟南(S54) 耐震改築 ②廊下(東)改修	32																		779,445	
		0.53																		779,445	
長浜小学校	①教室棟南(S54) 耐震改築 ②廊下(東)改修	52																		359,408	
		0.90																		359,408	
平田小学校	①教室棟南(S54) 耐震改築 ②廊下(東)改修	40																		644,444	
		0.41																		644,444	
國草小学校	①教室棟南(S44) 耐震改築 ②廊下(東)改修	42																		292,708	
		0.30																		292,708	
西野小学校	①教室棟南(S47) 耐震改築 ②廊下(東)改修	39																		653,927	
		0.29																		653,927	
<b>小学校計</b>		150,000	8,200	45,519	739,756	1,058,315	604,264	724,564	4,306	4,306	165,087	290,339	290,091	374,746	5,284				4,319,471	480,439	
第一中学校	①教室棟南1(S33) 耐震改築 ②教室棟南2(S36) 耐震改築	59																		480,439	
		0.50																		480,439	
		0.53																		480,439	
		0.53																		480,439	
第二中学校	①教室棟北(S32) 耐震改築 ②廊下(北)改修	54																		191,760	
		0.48																		191,760	
第三中学校	①教室棟南(S38) 耐震改築 ②廊下(東)改修 ③廊下(東)改修	49																		1,940,256	
		0.31																		1,940,256	
<b>中学校計</b>		28,100	34,000	429,145	647,730	582,550	218,731	10,522	9,512	171,726	218,731	290,339	218,049	374,746	5,284				1,940,256	2,612,455	
幼稚園	①教室棟南(S38) 耐震改築 ②廊下(東)改修 ③廊下(東)改修	34																		409,047	
		0.50																		409,047	
<b>幼稚園計</b>		34																		409,047	
<b>【集計】</b>		150,000	8,200	73,619	779,756	1,487,460	1,258,305	1,348,298	341,194	633,502	447,179	290,339	299,091	374,746	5,284				7,340,973	17棟	
<b>耐震改築事業の計</b>		①'																			
<b>耐震改築事業による耐震化棟数</b>		②'																			
<b>【総計】</b>																					
<b>耐震補強・改築 総計 (①+①')</b>		210,235	302,522	620,493	1,515,963	1,974,205	1,343,181	1,348,298	341,194	633,502	447,179	290,339	299,091	374,746	5,284				9,495,996	61棟	
<b>耐震化棟数 総計 (②+②')</b>																					



学校施設 増改築・大規模改造計画(案) 平成24～38年

【参考】

内の数字は工事実施年に行ける建築年数

新築化補助事業上付期間

学校名	内容	H23 [2011]	H24 [2012]	H25 [2013]	H26 [2014]	H27 [2015]	H28 [2016]	H29 [2017]	H30 [2018]	H31 [2019]	H32 [2020]	H33 [2021]	H34 [2022]	H35 [2023]	H36 [2024]	H37 [2025]	H38 [2026]	合計 [H24～H38]
大津小学校	①校舎棟(北・西)・(S49) 耐震補強→大規模改造					41									50	50		242,917
	小計					41									50	50		242,917
塩冶小学校	①教室棟(南)(S47) 耐震補強→大規模改造					43				47							37	137,046
	②特別教室・管理棟(H1) 大規模改造																38	106,342
	③第一廊下(S63) 大規模改造																38	25,154
小計						43				47							37	268,542
高松小学校	校舎(S58) 大規模改造								5,172	62,759					41	4,962	126,834	467,121
長浜小学校	①校舎棟(西)・(S63) 大規模改造					42												80,459
	②プール(S47) 大規模改修																	74,389
	小計					42												154,828
四緒小学校	廊下(S50) 耐震補強 廊下(S49)・(S4) 改築																	677,667
北勝小学校	①校舎棟 増築					37												486,046
	②廊下(S52) 耐震補強 廊下(S51) 改築																	603,797
	小計					37												1,089,843
神西小学校	①教室棟(S45) 耐震補強→大規模改造 ②教室棟(北) 改築																	697,428
平田小学校	①管理教室棟(北)(S42) 耐震補強→大規模改造 ②管理教室棟(南)・(廊下) 大規模改造																	603,012
	③プール(S44) 大規模改修																	60,288
	小計																	663,300
瀧分小学校	①管理教室棟(南)(S44) 耐震補強→大規模改造 ②管理教室棟(北)ほか 大規模改造					46												54,822
富田小学校	③廊下(S54) 大規模改修																	46,977
	小計					46												101,799
	①教室棟南(S44) 耐震補強→大規模改造 ②廊下(S56) 耐震補強→大規模改造																	132,655
久多美小学校	①校舎(S57) 大規模改造 ②廊下(S59) 大規模改造 ③校舎前庭フェンス設置・排水不 良改修																	18,637
須佐小学校	①校舎(S59) 大規模改造																	59,301
	②廊下(S59) 大規模改造																	27,806
	小計																	87,107

【小学校】

学校施設 増改築・大規模改造計画(案) 平成24～38年

【参考】

内の数字は工事実施年に行ける建築年数

新量化補助準備上げ時期

学校名	内容	H23 [2011]	H24 [2012]	H25 [2013]	H26 [2014]	H27 [2015]	H28 [2016]	H29 [2017]	H30 [2018]	H31 [2019]	H32 [2020]	H33 [2021]	H34 [2022]	H35 [2023]	H36 [2024]	H37 [2025]	H38 [2026]	合計 [H24～H38]																
																			0.43	0.21	0.38	0.50	0.39	老朽	0.69	0.47	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43
湖陵小学校	①校舎(S48) 耐震補強⇒大規模改造	38	36		41				3,414	87,062			5,367	136,852					142,219															
	②廊下(S49) 耐震補強⇒大規模改造	37								87,062									90,476															
	小計																	232,695																
荒木小学校	①校舎(S54) 耐震補強⇒大規模改造	32	34				36												120,422															
	②廊下(S55) 耐震補強⇒大規模改造	31	33																63,849															
	③プール(S47) 大規模改修	39																	81,355															
小計																		270,636																
逢坂小学校	①校舎(新築) 耐震補強⇒大規模改造	35																	393,297															
	②管理教室棟(S51) 大規模改造	34																	393,297															
	③廊下(S52) 耐震補強	34																	393,297															
小計																		786,594																
荏原小学校	①管理特別教室棟(S51) 耐震補強⇒大規模改造	35					40												390,093															
	②その他教室 大規模改造	43																	63,718															
	③廊下(S43) 大規模改造	43																	63,718															
小計																		453,811																
西野小学校	①底学年棟、特別教室棟(S46) 耐震補強⇒大規模改造	40																	351,689															
	②管理教室棟 大規模改造	40																	351,689															
	小計																		703,378															
中郷小学校	①教室棟(南)、渡廊下棟、管理 特別教室棟、昇降口棟(S45) 耐震補強⇒大規模改造	41																	403,807															
	②廊下(S46) 耐震補強+改築	40																	473,787															
	小計																		877,594															
出東小学校	①管理教室棟(S42) 大規模改造	44																	230,663															
	②廊下(S53) 大規模改造	33																	14,525															
	小計																		245,188															
<b>小学校計</b>																			<b>99,537</b>	<b>384,700</b>	<b>109,058</b>	<b>67,380</b>	<b>20,343</b>	<b>86,121</b>	<b>659,693</b>	<b>675,485</b>	<b>734,799</b>	<b>603,879</b>	<b>702,243</b>	<b>742,893</b>	<b>1,123,916</b>	<b>996,597</b>	<b>400,713</b>	<b>7,635,266</b>
学校名	内容	建築 年数																																
第一中学校	管理教室棟ほか(S61) 大規模改造	25																	120,326															
	小計																		120,326															
第二中学校	管理教室棟ほか(S62) 大規模改造	33																	230,762															
	小計																		230,762															
河南中学校	①校舎(H2) 大規模改造	21																	71,975															
	②廊下(H3) 大規模改造	20																	68,652															
小計																			135,627															
浜山中学校	①校舎(S62) 大規模改造	24																	131,361															
	②廊下(S63) 大規模改造	23																	59,026															
小計																			190,387															
①校舎(H1) 大規模改造		22																	75,395															

学校施設 増改築・大規模改造計画(案) 平成24～38年

〔参考〕

内の数字は工事実施年に行ける建築年数

新量化補助事業上付期間

園名	内容	Is値	建築年数	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	合計 〔H24～H38〕		
				〔2011〕	〔2012〕	〔2013〕	〔2014〕	〔2015〕	〔2016〕	〔2017〕	〔2018〕	〔2019〕	〔2020〕	〔2021〕	〔2022〕	〔2023〕	〔2024〕	〔2025〕	〔2026〕			
南中学校	②厩舎(H1) 大規模改造	老朽	22															465	84,404	12,319		
	小計																	3,310		87,714		
	向陽中学校	①校舎(S31)・厩舎(S36) 移転改築	老朽	55	1,403,000 改築 618,000	85,000 解体	740,875 改築 626,862	303,071 改築 303,071													1,488,000	
	小計			619,000	1,403,000	85,000	740,875	303,071													1,488,000	
佐田中学校	①校舎(S37)・厩舎(S37) 改築	老朽	49	5,000 基本計画 5,000	23,000	626,862	740,875	303,071													1,693,628	
	小計			5,000	23,000	626,862	740,875	303,071													1,693,628	
	多枝中学校	①校舎(S80) 大規模改造	老朽	26																		59,434
		②校舎管理棟等配置換え工事	-																			60,808
③厩舎(S81) 大規模改造		老朽	25																		30,688	
小計																				150,940		
湖瀬中学校	①校舎(S89) 大規模改造	老朽	28																		106,980	
	②厩舎(S83) 大規模改造	老朽	23																		57,543	
	小計																				164,503	
	大杜中学校	①校舎(S88) 大規模改造	老朽	28																	164,826	
大杜中学校	②厩舎(S80) 大規模改造	老朽	26																		89,792	
	小計																				254,618	
	妻川東中学校	①校舎(S82) 大規模改造	老朽	24																		159,081
		②厩舎(S83) 大規模改造	老朽	23																		84,873
小計																					243,954	
<b>中学校計</b>				<b>624,000</b>	<b>1,426,000</b>	<b>711,682</b>	<b>740,875</b>	<b>305,242</b>	<b>55,372</b>	<b>4,036</b>	<b>104,082</b>	<b>35,223</b>	<b>142,394</b>	<b>169,652</b>	<b>62,148</b>	<b>128,631</b>	<b>56,799</b>	<b>30,845</b>	<b>767,539</b>	<b>4,760,459</b>		
今市幼稚園	園舎(S45)1・2 附属補型⇒大規模改造	老朽	41																		96,592	
	小計																				96,592	
	大津幼稚園	園舎(V6) 大規模改造	老朽	17																		26,422
		小計																				26,422
塩谷幼稚園	園舎(S58) 大規模改造	老朽	28																		38,572	
	小計																				38,572	
高浜幼稚園	園舎(S53) 附属補強 大規模改造	老朽	33																		97,309	
	小計																				97,309	
川崎幼稚園	園舎	解体	-																		49,943	
	小計																				49,943	
神原幼稚園	園舎(H4) 大規模改造	老朽	19																		11,397	
	小計																				11,397	
平田幼稚園	①園舎(S66) 大規模改造	老朽	28																		109,991	
	②駐車場整備	-																			11,471	
	小計																				121,462	

学校施設 増改築・大規模改造計画(案) 平成24～38年

【参考】

内の数字は工事実施年における建築年数

新置化補助事業上付期間

内容		H23 [2011]	H24 [2012]	H25 [2013]	H26 [2014]	H27 [2015]	H28 [2016]	H29 [2017]	H30 [2018]	H31 [2019]	H32 [2020]	H33 [2021]	H34 [2022]	H35 [2023]	H36 [2024]	H37 [2025]	H38 [2026]	合計 [H24～H38]	
大杜幼稚園	園舎(S56) 大規模改造 老朽	30									2,558 築造設計	65,239 大規模改造							67,797
	小計										2,558	65,239							67,797
荒木幼稚園	園舎(S54) 大規模改造 老朽	32								2,229 築造設計	66,841 大規模改造								69,070
	小計									2,229	66,841								69,070
遠徳幼稚園	園舎(S54) 大規模改造 老朽	32									56,841								59,070
	小計										56,841								59,070
荏原幼稚園	旧園舎 解体	-		18,540															18,540
	小計			18,540															18,540
中部幼稚園	園舎(S47) 改築 未実施	39						3,810 解体	30,852 築造設計	224,949 改築	20,948 解体								280,559
	小計							3,810	30,852	224,949	20,948								280,559
出東幼稚園	園舎(S39) 改築 未実施	47																	204,211
	小計																		204,211
<b>幼稚園計</b>				71,026	8,928			11,633	176,944	284,263	175,209	66,732	38,079	3,327	29,206	181,969	54,855		1,102,091

内容		H23 [2011]	H24 [2012]	H25 [2013]	H26 [2014]	H27 [2015]	H28 [2016]	H29 [2017]	H30 [2018]	H31 [2019]	H32 [2020]	H33 [2021]	H34 [2022]	H35 [2023]	H36 [2024]	H37 [2025]	H38 [2026]	合計 [H24～H38]	
<b>増改築・大規模改造事業費の計</b>		969,882	1,810,700	891,766	817,183	325,585	141,493	343,115	940,719	994,991	1,052,342	840,263	802,470	874,851	1,209,821	1,209,311	1,243,106		13,497,816

学校施設 リフレッシュ事業・保守管理計画(案) 平成24～38年

【参考】

内容	H23 [2017]	H24 [2012]	H25 [2013]	H26 [2014]	H27 [2015]	H28 [2016]	H29 [2017]	H30 [2018]	H31 [2019]	H32 [2020]	H33 [2021]	H34 [2022]	H35 [2023]	H36 [2024]	H37 [2025]	H38 [2026]	合計 [H24～H38]
	老朽修繕	306,761	170,000	251,749	251,749	251,749	251,749	251,749	251,749	251,749	251,749	251,749	251,749	251,749	251,749	251,749	251,749
バリアフリー 改修事業	71,000	41,100	29,176	29,176	29,176	29,176	29,176	29,176	29,176	29,176	29,176	29,176	29,176	29,176	29,176	29,176	408,464
トイレ改修事業	2,025		68,292	68,292	68,292	68,292	68,292	68,292	68,292	68,292	68,292	68,292	68,292	68,292	68,292	68,292	956,088
エアコン整備事業	4,000	3,000	45,600	45,600	45,600	45,600	45,600	45,600	45,600	45,600	45,600	45,600	45,600	45,600	45,600	45,600	641,400
リフレッシュ事業費 合計	474,386	214,100	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	5,741,539

内容	H23 [2017]	H24 [2012]	H25 [2013]	H26 [2014]	H27 [2015]	H28 [2016]	H29 [2017]	H30 [2018]	H31 [2019]	H32 [2020]	H33 [2021]	H34 [2022]	H35 [2023]	H36 [2024]	H37 [2025]	H38 [2026]	合計 [H24～H38]
	保守管理経費	100,003	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900
保守管理経費 合計	100,003	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	1,543,500

内容	H23 [2017]	H24 [2012]	H25 [2013]	H26 [2014]	H27 [2015]	H28 [2016]	H29 [2017]	H30 [2018]	H31 [2019]	H32 [2020]	H33 [2021]	H34 [2022]	H35 [2023]	H36 [2024]	H37 [2025]	H38 [2026]	合計 [H24～H38]
	I. 耐震補強 合計	60,235	294,322	546,874	742,207	486,744	84,876										
II. 耐震改築 合計	150,000	8,200	73,619	773,756	1,487,460	1,258,305	1,348,298	341,194	633,502	447,179	290,339	299,091	374,746	5,284			7,340,973
III. 増改築・大規模改造 合計	969,882	1,810,700	891,766	817,183	325,585	141,493	343,115	940,719	994,991	1,052,342	840,283	802,470	874,851	1,209,921	1,209,311	1,243,106	13,497,816
IV. リフレッシュ 合計	474,386	214,100	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	394,817	5,741,538
V. 保守管理 合計	100,003	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	102,900	1,543,500
総 計	1,754,506	2,430,222	2,009,976	2,830,863	2,797,507	1,982,391	2,189,130	1,779,630	2,126,210	1,997,238	1,628,319	1,589,278	1,747,314	1,712,922	1,707,028	1,740,823	30,278,850

年平均均 = 2,018,590千円/年

総課題値 30,864,950千円

再編予定学校施設の統合整備(別途、整備費が必要となる)

再編予定学校施設の中で一併統合進まない場合の改修(対象施設の改修経費が高くなるものが発生する可能性もある)

## 4.6 計画の位置づけと実施にあたっての留意点

---

### 4.6.1 位置づけ

本計画は、平成 24 年度に策定予定の出雲市総合計画及び出雲市中期財政計画に従い、今後調整を図っていくものとする。

### 4.6.2 実施にあたっての留意点

本計画の実施にあたっては、以下の 4 点に留意し、円滑な整備を進めていくこととする。

#### <本計画の実施にあたっての留意点>

1. 将来の国の補助採択の状況や市の財政状況により、計画の変更・修正については、柔軟に考え、財源の確保に努めること。
2. 各事業費は、出雲市の過去の実績から標準的な単価により概算を行っているため、具体的な事業費や設計・工事の内容については、事業実施時に再検討していくこと。
3. 情報の開示（耐震診断結果、老朽状況、ランニングコストなど）を進め、議会及び市民とともに考えていくこと。
4. 学校再編については、その進捗に応じた事業計画を本計画へ組み入れること。

## **5. 今後の学校施設整備に向けて**

## 5. 今後の学校施設整備に向けて

---

将来の施設整備の効率化を図るにあたっては、学校施設の長寿命化や、それに向けたファシリティマネジメント体制の構築、新しい工事の発注方式などの検討が必要である。ここでは、それらの考え方を示す。

### 5.1 学校施設の長寿命化

---

#### <長寿命化による教育環境整備>

今後の施設整備・維持にあたり、学校施設の長寿命化は重要な課題である。

学校施設の長寿命化にあたり、今後の検討必要事項には次のようなものが挙げられる。

#### ① 予防保全工事

…建物の劣化を遅らせる保全工事を行うことで、学校施設を長寿命化し、建物の劣化や、それに伴う工事が教育環境に与える影響を抑えることが可能である。

#### ② エコスクール化

…校舎や校地の整備にあたって、省エネルギーかつ長寿命な要素を導入し学校施設全体の長寿命化を図る。学校環境自体が環境教育の素材となり、子どもたちの成長に寄与することが期待できる。

本計画においては、学校施設の整備にあたって、まず「予防保全工事」の考え方を取り入れ、長寿命化を図る。次に予防保全の考え方について示す。



### 5.1.1 予防保全の考え方

本計画の主な事業は、耐震化対策推進事業（耐震補強、耐震改築）と、現在まで維持補修が十分になされていない施設における大規模改造事業である。本計画完了後は、市内の学校施設における建築物性能が一定品質を満たすこととなる。

しかし、建築物の性能は経年劣化を伴うものであり、新築・改修後も建物の良好な状態を保つ、すなわち長寿命化を図るため、計画的な「予防保全工事」が重要となる。

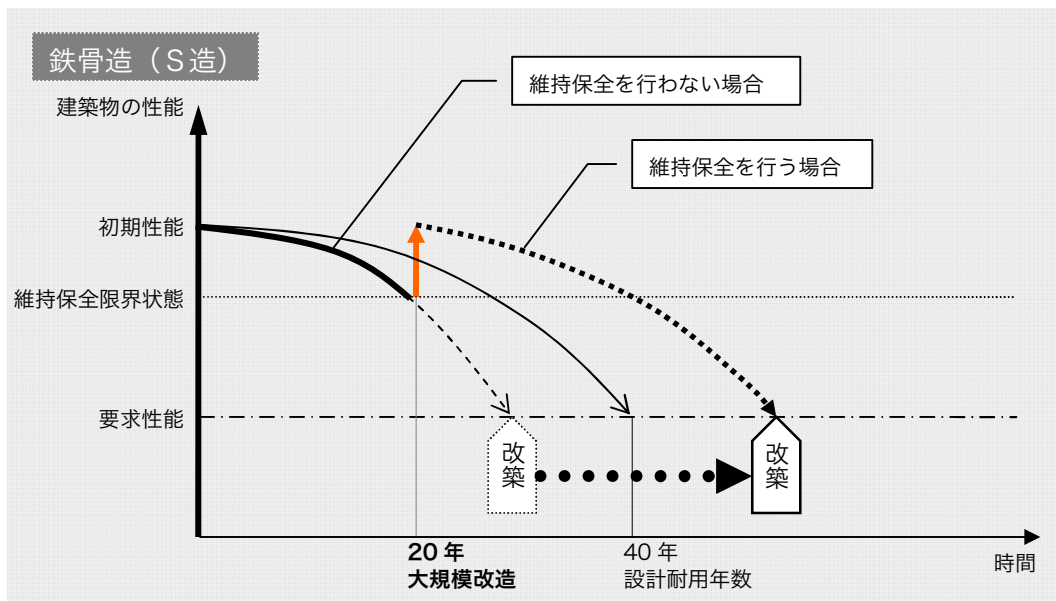
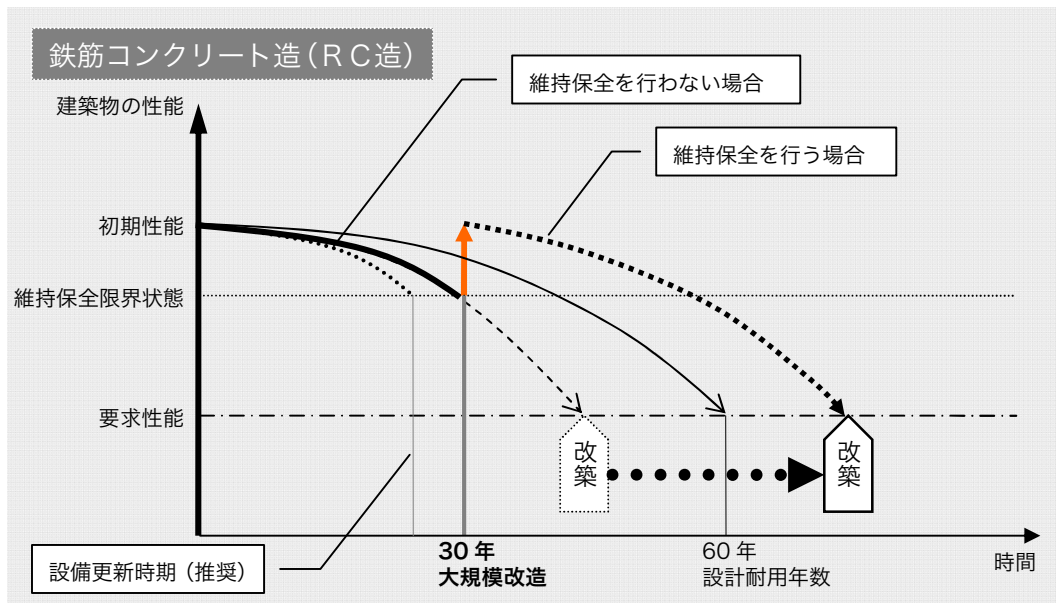


図 73 維持保全周期のイメージ

建築物は、ただ使うだけでは、設計耐用年数まで初期性能を維持できない。樹木の手入れと同じように、日ごろの清掃活動や一定の周期での改修を行う必要がある。

“予防保全工事”とは、建築物竣工後、年とともに老朽化する箇所について、初期性能に近い復元が技術的に可能な時期に改修工事を行い、建築物の性能を保つことを示す。予防保全工事をより短い周期で行うほど、建築物への手入れが行き届き、長期的な視点から工事の規模・コストは抑えることができると考えられる。

ただし、「外壁」「屋根」「内装」などは全面的な改修により工事効果・効率・整備後の美観性が向上するため、大規模な工事とすることが望ましい。しかし、これらは建築物の主要な構成要素であるため、工事の効果は大きくなるが、コストも大きくなる。

学校施設の工事には、条件や組み合わせにより国からの補助金を利用することができるが、大規模な維持保全工事と小規模な維持保全工事それぞれについて、本市の財政を考慮した工事周期を計画する必要がある。

表 5.2.1 主な修繕工事と関連部位・機器等の例

部位・設備等	主な修繕工事	修繕周期 ( )内は 計画更新年数	同時に措置することが 望ましい 部位・設備等の例
屋根	シート防水改修	5 (20)	排水溝 (ルーフトレイン)、笠木、屋上手すり、設備架台、断熱材
	アスファルト防水改修	10 (30)	
	粘土瓦	10	
外壁	仕上げ改修 (塗装、吹き付け等)	8～10 (15)	シーリング、外部建具、笠木、樋、断熱材
	クラック補修、浮き補修		シーリング、外部建具、笠木
	建具改修 (アルミサッシ等)	5 (40)	シーリング
電気設備	受変電設備改修	10 (25～30)	分電盤、変圧機、コンデンサ、幹線
空調設備	冷暖房設備 (ファンコイル、空調機) 改修	5～10 (15～20)	ポンプ、冷却塔、配管等、屋上防水
	熱源改修	4～7 (20)	配管等
給排水 衛生設備	浄化槽、配管等	2～7 (30)	ポンプ、受水槽配管、(冷温水管) 等
	衛生陶器	3～10 (30)	
	水栓	3 (25～15)	

『公共建築の部位・設備の特性等を踏まえた中長期修繕計画策定及び運用のためのマニュアル(案)』  
『建築物のライフサイクルコスト』  
(平成17年 国土交通省)より

### 5.1.2 大規模な予防保全工事

本計画では、学校施設に対する大規模な保全工事として、外装材・内装材・設備等の全面的な改修を行う大規模改造事業をメニュー化している。

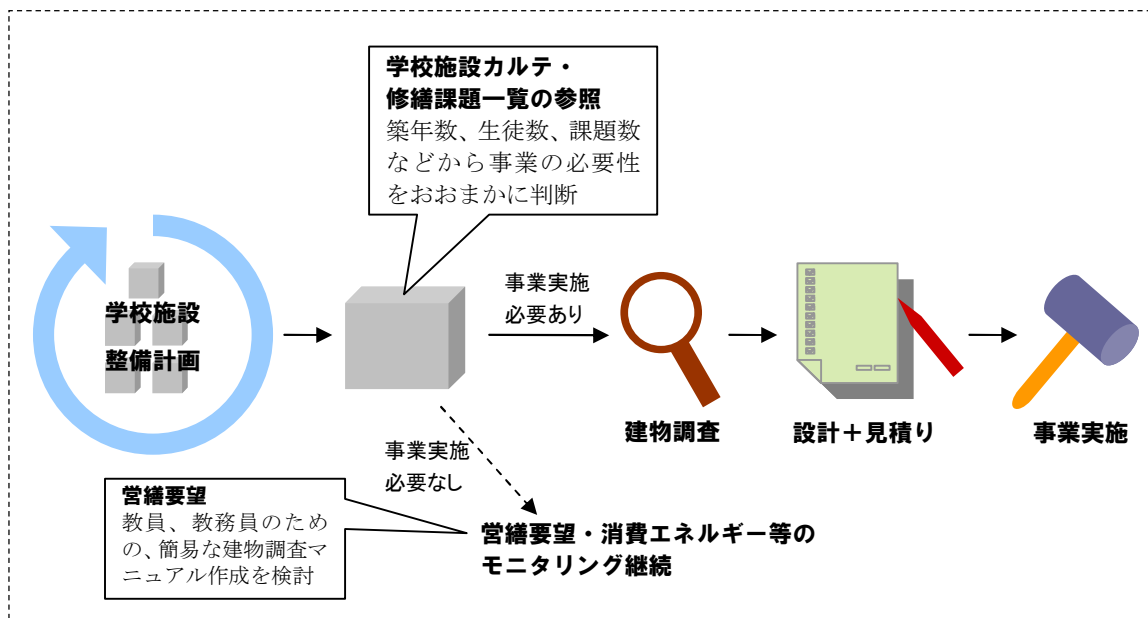
本計画における学校施設建物の耐用年数は、**RC造：60年**としており、その1/2の**竣工後30年を大規模改造の実施判断時期**としている。

事業の実施判断時期は、既存施設の築年数・老朽度の分析結果に加え、空調や電気設備の耐用年数20年、居住性に影響する「屋上防水」「内装」の耐久年数20～30年（『建築物のライフサイクルコスト』国土交通省）を加味し、現在の本市における厳しい財政状況を考慮して建築物耐用年数の間、最低限の1回とした。

※空調や電気設備の耐用年数は、一般的に20年といわれている。より丁寧な予防保全のためには、工事周期を20年に設定することで、より適切な時期に建築・設備を一体的に大改修することが可能となる。

予防保全工事を行わない場合には、建築物性能の劣化スピードが早まり、耐用年数前に改築の必要が生じる可能性も決して低くない。建物の長寿命化には、工事実施時期に見合った適切な内容の維持保全工事を行うことが重要である（前頁の表5.2.1参照）。

#### 将来における予防保全工事の流れ



また、本計画では耐用年数の1/2の時期に大規模改造を設定しているため、事業実施時の改修箇所が多く、事業費が高くなると予想される。

市の学校建物にはどれひとつとして同じものはない。適切な予防保全工事のためには、事業実施時期の建物劣化状況を詳細に把握した上で、設計・工事を行うことが必要である。

### 5.1.3 予防保全工事のための簡易な点検

現在、本市には 86 の学校施設（県有施設の若松分校 2 校除く）があり、同時期に建てられた建物も複数ある。将来においても整備時期が重なることが予想され、事業実施の優先順位を検討する必要があると考えられる。

本計画では、大規模改造・改築事業の判断時期を定めているが、その際の建物調査のみで事業優先順位を決定するには、事業時期の切迫性から判断が難しくなる場合がある。そのため、毎年の簡易な点検体制の構築も課題である。

現況の点検体制は以下の 2 つである。

<b>① 建築基準法第 12 条に基づく定期検査報告</b>
…建築基準法における特殊建築物等、昇降機、遊戯施設、特殊建築物等に設ける建築設備について、その所有者・管理者が安全を確保するため義務付けられている、専門技術者（1 級建築士又は国土交通省大臣が定める資格を有する者）による定期的（※）な調査・検査。建築物の損傷や腐食などの劣化状況についての点検。 ※建築物：1 回／3 年、設備・昇降機：1 回／1 年
<b>② 営繕要望</b>
…学校施設側（教職員等）が記入する。建物に関する機能劣化の改善や、劣化箇所の修繕・改修の要望をまとめたもの。

①は、建築基準法に基づいた調査が行われ、建築物の安全性を客観的に確認することができる。

しかし、それと同時に、より学校の教育環境に沿った建築物の維持、改修の内容や時期を把握するためには、**学校施設利用者である教職員・校務員等による点検体制が重要**である。

営繕要望書の提出は、毎年受け付けられており、市がとりまとめる体制が構築されている。ただし、要望書に書かれる内容は記入者に任せられている面が大きく、各項目の書き方などは統一されていない。

各施設からの要望を適切な時期に反映させるためにも、営繕要望書の記入に際して、**共通するチェック項目、劣化箇所の簡易な劣化評価などをマニュアル化**することが望ましい。

学校施設利用者が、積極的に建物状況を把握することで、整備を担う市との情報共有が円滑に行われると考える。

教育環境は日々変わっていくものである。学校施設を利用する側・整備する側の協力体制を強化することで、変化していく教育環境をサポートしていく必要がある。

## ■簡易な点検マニュアルの作成にあたって

以下に、今後のマニュアル作成にあたっての参考資料を示す。いずれも建築物の外観から内部の設備に至る維持管理項目が網羅されている。

### <今後のマニュアル作成にあたっての参考資料>

『住宅・社会資本の管理運営技術の開発 第Ⅱ部 1. 公共建築物の中長期修繕マネジメント技術の開発』国土技術政策総合研究所 プロジェクト研究報告

『建築物のライフサイクルコスト』国土交通省大臣官房 官庁営繕部

『公共建築の部位・設備の特性等を踏まえた中長期修繕計画策定及び運用のためのマニュアル(案)』(平成 17 年 国土交通省)

マニュアルの作成にあたっては、建築物の専門家ではない学校施設利用者でも、簡易に状況を把握できる項目の抽出と点検・評価方法の設定が必要である。

簡易な点検項目として望ましいもの	
日常的に外観を見ることが可能なもの	外装、内装、サッシ、建具、外構など
危険を伴わずに点検が可能なもの	屋上防水、防火シャッターなど

## ■簡易な点検の評価方法について

営繕要望をもとに新たな点検体制を整えるにあたって、評価ランクの設定には注意すべきである。要望書提出後には、評価ランクに基づいて整備方針が決定されるためである。

劣化が、どの状況に達すると安全性や美観が保たれなくなるのか、修繕が難しくなるのか、学校施設を利用する側と整備する側で共通認識を持つ必要がある。

マニュアルは共通認識を持つために作成されるが、点検体制の導入初年度には、全学校施設の代表者が参加できるような講習会等を開くなどして、市全体の教育関係者が点検体制を認知する機会を設けることが望ましい。

## 5.2 学校再編計画（案）との調整

### 5.2.1 学校再編計画の基本的考え方

現在、出雲市では次に示す①～④のような背景があり、学校の適正規模化を図ることにより、子どもたちのより望ましい教育環境を整備するため、学校再編計画（案）の検討を行っている。

- ① 少子化が進行しており、出雲市全体で、今後の10年間でも小・中学校の児童・生徒数が、**9.2%（1,232人）**減少すると予想されている。

#### 【園児・児童・生徒数推移見込み】

	小学校		中学校		小中計	幼稚園		合計
	クラス数	児童数	クラス数	生徒数	児童 生徒数	クラス数	園児数	園児 児童 生徒数
平成23年度	390	10,147	143	5,043	15,190	85	1,593	16,783
平成32年度	342	9,249	134	4,709	13,958	77	1,430	15,388
差（減）	▲48	▲898	▲9	▲334	▲1,232	▲163	▲163	▲1,395

- ② 学校数（小学校42校、中学校16校、幼稚園30園）が多く、同規模の自治体比較（※）でも最も多い。特に、小学校は規模の小さな学校が多く、全体のほぼ3分の2を占めている。

#### ※ 同規模の自治体における小中学校数の比較

自治体	人口（千人）※	小学校数	中学校数
出雲市	171	41	15
苫小牧市（北海道）	173	23	15
立川市（東京都）	177	20	9
秦野市（神奈川県）	170	12	9
磐田市（静岡県）	171	23	10
宇部市（山口県）	174	24	13
松江市（島根県）	208	35	17
山口市（山口県）	196	34	18
鳥取市（鳥取県）	197	43	18
米子市（鳥取県）	148	23	11

国勢調査人口

【規模別小学校の状況】 (平成 23 年 5 月 1 日現在) ○印の中は、クラス数を表す。

規模	学級数	学校数	学校名(全 41 校、若松分校を除く)
過小規模校	5 学級以下	9	猪目分校①、塩津③、鶉鷺③、日御碕③、乙立④、鰐淵④、北浜⑤、佐香⑤、田儀⑤
小規模校	6～11 学級	17	上津⑥、朝山⑥、稗原⑥、国富⑥、西田⑥、久多美⑥、檜山⑥、東⑥、伊野⑥、窪田⑥、須佐⑥、岐久⑥、遙堪⑥、高浜⑦、出東⑧、神西⑨、灘分⑨
適正規模校	12～18 学級	10	長浜⑫、湖陵⑫、大社⑫、荒木⑬、荘原⑬、平田⑭、中部⑮、今市⑯、大津⑱、北陽⑱
大規模校	19～30 学級	5	神戸川⑲、四絡⑲、西野⑲、高松⑳、塩冶㉗
過大規模校	31 学級以上	0	
計		41	出雲 14、平田 13、佐田 2、多伎 2、湖陵 1、大社 5、斐川 4

【規模別中学校の状況】 (平成 23 年 5 月 1 日現在) ○印の中は、クラス数を表す。

規模	学級数	学校数	学校名(全 15 校、若松分校を除く)
過小規模校	2 学級以下	0	
小規模校	3～5 学級	6	光③、佐田③、多伎③、旭丘④、南⑤、湖陵⑤
適正規模校	6～18 学級	9	河南⑩、斐川東⑩、大社⑪、浜山⑫、第二⑭、平田⑮、斐川西⑮、第一⑯、第三⑰
大規模校	19～30 学級	0	
過大規模校	31 学級以上	0	
計		15	出雲 6、平田 3、佐田 1、多伎 1、湖陵 1、大社 1、斐川 2

【規模別幼稚園の状況】 (平成 23 年 5 月 1 日現在) ○印の中は、クラス数を表す。

規模	学級数	幼稚園数	園名(全 30 園)
極小規模園	0～1 学級	4	鶉鷺①、上津①、乙立①、日御碕①
過小規模園	2 学級	8	古志②、長浜②、高浜②、鶉巢②、朝山②、稗原②、遙堪②、出東②
小規模校園	3～5 学級	17	大津③、高松③、神門③、神西③、中央③、東③、多伎③、湖陵③、大社③、荒木③、荘原③、中部③、今市④、塩冶⑤、川跡⑤、平田⑤、西野⑤
適正規模園	6 学級以上	1	四絡⑥
計		30	出雲 17、平田 2、多伎 1、湖陵 1、大社 5、斐川 4

※学校教育法施行規則では学級数規模を以下のように設定している

第 41 条「小学校の学級数は、12 学級以上 18 学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りではない。」

第 79 条「第 41 条(略)の規定は、中学校に準用する。」

③ 今後も学校施設整備のための市負担が大きく、極めて厳しい財政状況になっている。

④ 旧平田市において、再編計画が策定されていた。

前述したことから、市民の幅広い意見を聞きながら、再編計画の検討を進めており、個別計画の作成については、下記に示す基準で検討を行っている。

なお、再編計画はおおむね 10 年を目途としているが、個別の再編計画にあたっては、実施期限は定めないものとし、地元と協議し、協議が整ったものについて実施に移していく方針である。

【個別計画の作成基準】（○は該当 ーは非該当）

基 準	小学校	中学校	幼稚園
①各地域(※1)に少なくとも1校は設置する。	○	○	ー
②過小規模校の解消を図る。	○	ー	ー
③可能な限り小規模校の適正規模校化(※2)を図る。	○	○	ー
④大規模校の適正規模校化は、将来課題とする。	○	○	ー
⑤中学校区は現状の枠組みを維持する。	○	ー	ー
⑥遠距離通学には、バス等(※3)を利用する。	○	○	○
⑦学級数1以下の幼稚園は、廃止を検討する。	ー	ー	○

※1：地域とは、出雲、平田、佐田、多伎、湖陵、大社、斐川の7地域をいう。

※2：学級数を基準とする適正な規模

小学校	12～18学級	中学校	6～18学級
-----	---------	-----	--------

※3：適正な通学距離・通学時間の基準

	小学校	中学校
徒歩・自転車	4 km 以内	6 km 以内
交通機関(バス・電車等)	30 分以内(交通機関のみの利用時間)	

## 5.2.2 学校再編計画（素案）における学校施設整備の試算

学校施設整備に関わる事業費の参考として、学校再編を行った場合とそのまま学校を継続し、改築（建替）整備等を行った場合の比較について、試算を行うと、おおむね下記のようなになる。

- ① 別途検討されている学校再編計画（素案）により学校を整備した場合の事業費は、**約 51 億円**が見込まれる。
- ② これに対して、学校再編計画（素案）のある学校を存続し、あらたに改築（建替）し、また維持（大規模改造）するための整備事業費は、今後 60 年間で見ると**約 214 億円**が必要である。市の改築等の計画基準に達する年度になる学校を改築するとなると、今後 15 年間で**約 85 億円**を要すると見込まれる。



## 5.3 その他

### 5.3.1 新しい工事発注方式の検討～PFI活用の可能性～

厳しい地方財政の下、民間の資金・経営能力・技術的能力の活用による事業コストの縮減、公共サービスの向上等の観点から、多くの地方公共団体が PFI を活用した施設整備に高い関心を寄せている。

#### PFI (Private Finance Initiative) とは

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。民間の資金、経営能力、技術的能力を活用することにより、国や地方公共団体等が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスを提供できる事業について、PFI 手法で実施される事例が増えている。

(内閣府 民間資金等活用事業推進室ホームページより)

公立学校の施設整備についても、平成 21 年 4 月 1 日時点で、38 事業について PFI 事業の実施方針が公表されており、今後とも各地方公共団体において幅広い活用が見込まれる。

国は、PFI を用いた場合でも、従来手法と同様の国庫補助を適用するよう公立学校の耐震化をはじめとして援助している。

なお公立学校施設整備にかかる国庫補助については、あくまでも施設の整備に要する経費に対してなされるものである。PFI を活用して行う公立学校施設整備事業の国庫補助の申請に当たっては、事業費のうち、施設整備に要する経費とそれ以外の経費（維持管理費、運営費等）を明確に区分する必要がある。

また、コンサルタント等のアドバイスを受けながら、公立学校の耐震化事業を PFI 方式で行う場合、そのコンサルタント費用についても国土交通省の補助制度が活用できる。

#### ■ PFI を導入することによるメリット・デメリット

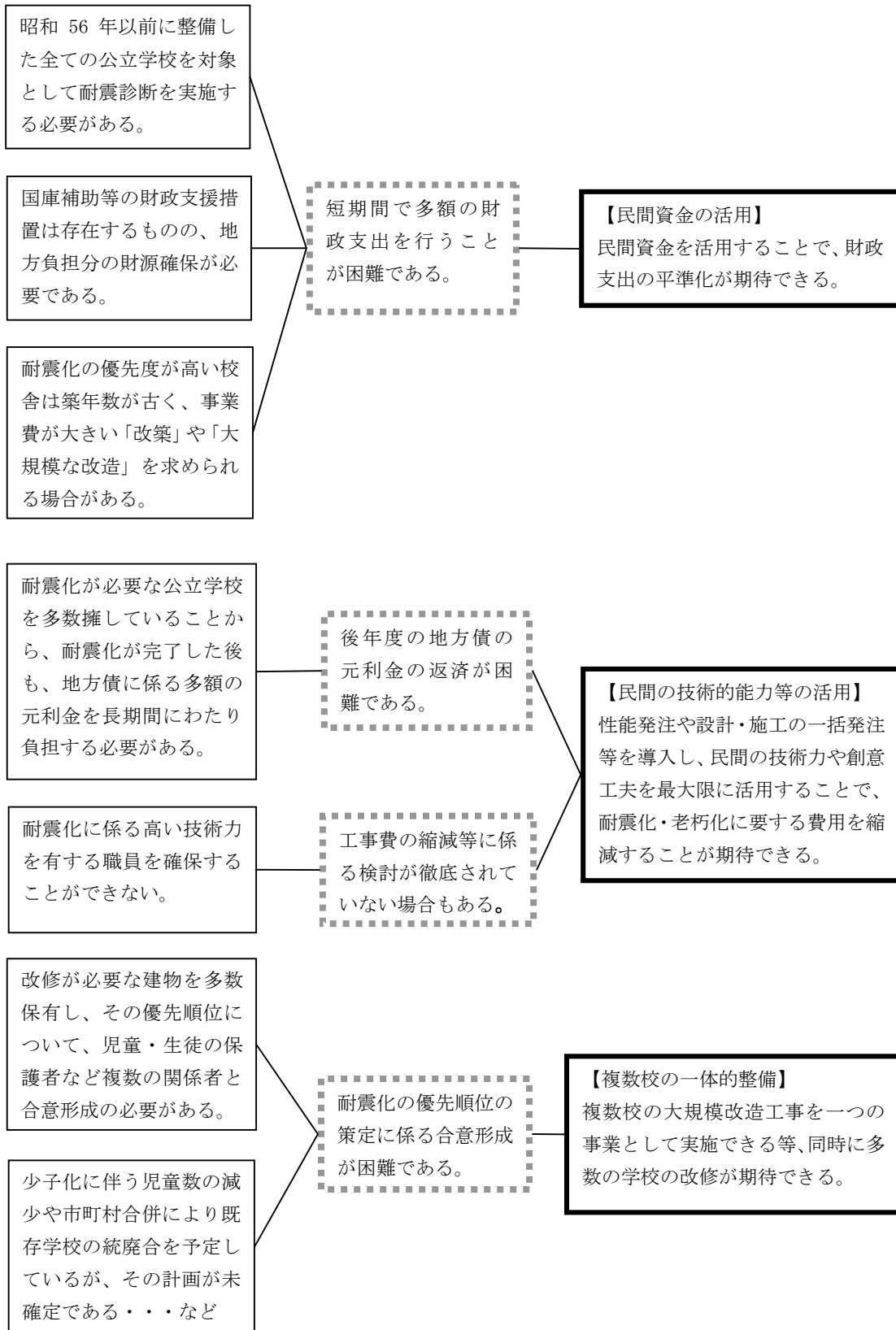
##### 【メリット】

- ・ 大型一括工事発注が可能となり、VFM（ヴァリュー・フォー・マネー）が向上する。
- ・ 高品質低価格の改修が可能となる。
- ・ 市全体の学校施設の早期整備が可能となる。
- ・ 利用率の低いプール等を民間委託することなどにより、効率的な運営が可能となる。

##### 【デメリット】

- ・ 地元企業の活躍の場をなくすおそれがある。
- ・ おおよそ 20 億円以上の事業にしないと VFM が期待できない＝PFI 事業による経済的効果が出ない。

■ 公立学校の施設整備を推進するための主な課題と PFI 導入による問題解決



### 5.3.2 多面的な学校施設の役割と整備

---

今後の学校施設運営にあたっては、以下の検討が必要と考えられる。

- ① 防災拠点・避難所としての整備
- ② 学校施設と他公共施設の相互利用
- ③ スクールアーキテクトの配置
- ④ 公共資産としての教育施設整備

ここでは簡単に、それぞれの考え方を示す。

## ①防災拠点としての学校施設整備

学校施設は、災害時に避難所や情報拠点となり得る。本市では、地震・水害・土砂災害を想定しており、災害の種類によって避難所としての適性が異なるため、必ずしも全ての学校施設が避難所指定を受けるとは限らない。

しかし、本計画で整備が進んだ施設については、災害時の拠点となる可能性が高く、できるだけ早急に防災機能の強化を図ることが望ましい。

文部科学省は、学校施設における防災機能・設備の強化を進めており、各省庁（内閣府、消防庁、国土交通省、水産庁）の防災対策事業を活用することで、より一層の整備促進を図ることを提言している。

以下に整備されることが望ましい主な防災設備を示す。補助制度については「公立学校施設整備に関する防災対策事業活用事例集」、「消防防災施設等の整備に係る主な財政措置（平成23年度）」（消防庁）を参照した。

防災機能	概要	補助率	補助事業名称	担当省庁
防災備蓄倉庫	食料、救急用品、小型発電設備、テントなどを備蓄。 コンテナ型のほかに、余裕教室を倉庫利用するケースもある。	1 / 3	●改築・大規模改造事業※1	文部科学省
			●消防防災施設整備費補助金	消防庁
		1 / 2	●新增築事業※1	文部科学省
			●消防防災施設整備費補助金※2	消防庁
防災トイレ	マンホールトイレ ※過去の災害では、汚物の処理場所が深刻な課題となっている。	1 / 3	●屋外教育環境整備（防災広場）	文部科学省
		1 / 2	●都市防災総合推進事業	国土交通省
			●下水道総合地震対策事業	
情報連絡網	防災無線	1 / 3	●改築・大規模改造事業※1	文部科学省
		1 / 2	●都市防災総合推進事業	国土交通省
	衛星電話	1 / 2	●地域防災力向上支援事業	内閣府

※ 1 新增改築・大規模改造事業と合わせて行う場合に補助対象となる

※ 2 地震防災対策特別措置法に基づく備蓄倉庫整備

## ②学校施設と他公共施設の相互利用

---

出雲市内には、幼稚園、小中学校などの学校施設ばかりでなく、保育所・子育て施設、病院、生涯学習施設などがある。ひとつの方法として、教育施設と社会教育施設・社会体育施設との相互利用は、学校施設を越えた教育的な効果が期待できる。

市の公共施設には、「ビッグハート出雲」などの文化施設、「出雲ドーム」などの運動施設、「サン・アビリティーズいずも」などの保健・福祉施設、「出雲ゆうプラザ」などの健康・保養施設、病院、宿泊施設などさまざまな用途の施設がある。

これらの施設も、それぞれに教育的な機能を内在しており、積極的に園児・児童・生徒が学校教育の中でこれらの施設を活用することが想定できる。

将来を見据えた学校施設整備にあたり、プールや体育館など他の施設で利用可能な機能は、学校施設ごとに計画するのではなく、地域利用施設としての整備を目指すべきである。

## ③スクールアーキテクトの配置

---

現在の小中学校、幼稚園の維持管理を効率的に、適切に実施するためには、常にそれぞれの施設の状況を正確に把握する必要がある。

同時に、現状を把握するばかりでなく、これまでの修繕箇所、問題点を把握している専門家が求められる。人間で言えば「掛かりつけ医」（ホームドクター）の存在である。

具体的には地元の建築士会や建築士事務所協会の協力を得て、施設ごとに「掛かりつけ建築家」（スクールアーキテクト）を選任する。

彼らは年1回程度の現状調査や施設利用者が建物の不具合に気がついたときなど、随時施設を訪問して適切なアドバイスを行う。

このようなスクールアーキテクトの配置により、建物に決定的なダメージが発現する前に費用を抑え、かつ安全な改修が実現可能となる。

このことは広い意味での理想的な予防保全といえる。

#### ④公共資産としての教育施設整備

出雲市の学校施設の延床面積は、合計約 29 万㎡ある。これは市の公共施設における延床面積の約 35%を占めている。

(※公共建築ストック調査により現状把握を行っている他の自治体例：東京都多摩市：44%、神奈川県藤沢市：48%)

平成 23 年度 市有建築物の延べ床面積に対する学校施設面積の割合 (※1)

単位:㎡

	市有建築物の延べ床面積(学校施設含む)		学校施設 ※2
	行政財産(学校施設含む)	普通財産	
旧出雲市	700,028	20,391	247,700
旧斐川町	105,849	3,244	39,514
計	805,877	23,635	287,214
	829,512 ①		

※1：市有建築物延べ面積に対する学校施設面積の割合 ②÷①=34.6%

※2：公有財産の台帳に明記された面積であり、学校施設台帳（文部科学省算定基準）の面積と一致しない。

本計画の策定により、学校施設のマネジメント体制が構築されることとなる。これに加えて、本市の所有するその他の公共施設についても、建物の現状と整備課題を把握することより、出雲市全体の公共施設のマネジメント方針の策定が可能となる。

この中では、人口比の施設規模の整理、中長期の施設整備計画（規模、費用）の策定、適切な維持管理計画の策定などを行う。これにより、出雲市全体の公共資産管理の方向性が確立される。

それと同時に、公共施設全体のマネジメント体制が、本計画のフレームにも影響を与えることが考えられる。

整備事業の円滑な実施あたっては、市の財政状況とバランスを図ることが必須であり、全体計画と本計画を相互に反映させながらマネジメント体制を維持することが重要である。

## 6. 用語解説

## A～Z

CASBEE	建築環境総合性能評価システムの略称。環境負荷、省エネルギー性から室内の快適性、景観への配慮までの総合的な観点から建築物の性能を5段階で評価する
CTU・SD値	鉄筋コンクリート構造の建物形状指標(CTU)と累積強度(SD)によって表される地震による水平力に対して抵抗できる建物の強さの指標。数値が大きいほど抵抗力が大きい。 文部科学省は、耐震補強にあたって、CTU・SD値を0.3以上とすることを求めている。
Is値	非木造建物の構造耐震指標。1981年以前に建築された建物の耐震性の評価に用いられる。Seismic Index of Structureの略。値が低いほど耐震性は低く、文部科学省では学校施設について0.7以上を確保することを目標としている。
Iw値	木造建物の構造耐震指標。文部科学省では学校施設において1.1以上を確保することを目標としている。
q値	鉄骨構造の建物の水平保有耐力に係る指標。水平力(地震、風など)に対して建築物の耐える強さを示す。 文部科学省は、耐震補強にあたって、q値を1.0以上とすることを求めている。
RC造	鉄筋コンクリート造のこと。Reinforced Concreteの頭文字RC。
S造	鉄骨造のこと。Steelの頭文字S。

## ア

移転改築	敷地を替えて改築すること。(力行：改築を参照)
営繕	建物の新築、増築、修繕及び模様替えなどをいう。
営繕要望書	各学校施設が営繕要望事項を記入したもの。要望がある場合には毎年提出され、市で取りまとめている。
屋上防水	建物の防水工事のうち、特に陸屋根部分に施す防水をいう。歩行用と非歩行用に大別される。



## カ

改築	建物を建てなおすこと。建物の全部または一部を除去して、従前と構造、規模、用途が著しく異なるものを建てることをいう。
躯体	建築物の、主として強度を受け持つ部分。建具、造作、仕上げ、設備などを除いた部分。
コンクリート強度	コンクリートの圧縮強度をいう。N/mm <sup>2</sup> で示される。1 k g 重 = 9.8 N。目標とする耐久年数によって以下のように使い分けられる。 短期：18N/mm <sup>2</sup> 標準：24N/mm <sup>2</sup> 長期：30N/mm <sup>2</sup> 超長期：36N/mm <sup>2</sup>

## サ

修繕	建物の劣化や損傷部分を実用上支障のない状態までに回復させることを老朽修繕といい、修理、補修ともいう。なお、本計画では、老朽修繕と共に、バリアフリー対策工事など、施設に改良を加える工事を含めて、リフレッシュ工事と呼んでいる。
少人数指導	1 クラスを 15～25 人程度の少人数で編成することによって、より児童生徒の個性にあった教育を行おうとする試み。最初から少人数編成にする場合と特定の教科だけ少人数編成にする場合とがある。
新耐震基準	建築基準法において、1981 年に改定された耐震基準。建物が壊れないことよりも、建物を使う人の安全に重点を置き、一次設計、二次設計の概念が導入された。二次設計では、規模によって第三者による、設計内容の妥当性判定が行われる。
充足率	要求が満たされる度合を示す指標。ここではある教科がその教科にふさわしい教室で行われているかを見る指標として使っている。

## タ

大規模改造	建物の過半に及ぶ老朽改造またはエコ改修をいう。新たな機能をつけ加え質的向上を図る工事も含む。
耐震診断	既存の建築物の構造材料の老朽化、強度の低減、ひびわれや変形などによる損傷・傷害を調べ、その建築物が現時点で保有する耐震性を判定すること。一次診断、二次診断、三次診断がある。
地震特措法	地震防災対策特別措置法（平成7年法律第111号）。 学校建物が、児童生徒の安全を確保する必要があること、及び地域の防災拠点（避難場所）となることから、木造建物を含む構造上危険な学校建物の改築や補強について国庫補助算定割合を嵩上げて国庫補助し、学校建物の耐震性能を確保し、地震防災対策の促進を図ることを目的として制定された。当初、平成22年度までの時限立法であったが、5ヶ年延長され、平成27年度までの期限となっている。
通級指導学級	小中学校の普通の学級に在籍しているが、言語障害、難聴、情緒障害、弱視、病弱、肢体不自由などの障害がある子供を対象に場所と時間を指定して特別な教育課程を施す制度。子供たちは指定された時間に指定された学校に通ってくる。
特別教室	教科のための教室。代表的なものとして、音楽室、理科室、図書室などが上げられる。近年は数学（算数）や国語など、普通教室で行われていた教科についても、専用の教室を設けるケースがみられるようになった。
特別支援学級	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒のために小、中、高に設けられる学級をいう。主として知的障害、肢体不自由、身体虚弱、弱視、難聴などの子供を受け入れる。1クラスの上限は8人。
構造耐震指標	建物構造体の地震に対する性能を示す指標。 非木造→Is 値 木造→Iw 値

## ハ

バリアフリー	ハンディキャップを負っている人々の行動を阻む物的、制度的、心理的障害を取り除くこと。
必要面積	各施設に通う児童生徒数・学級数をもとに決められた施設規模。 ※本市の基準については本報告書 3.1～3.2 を参照
非木造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造など木造以外の構造。
保有面積	学校施設の建物面積から借用面積、一時使用面積（※1）、未取り壊し面積（※2）を除き、当該年度 5 月 1 日現在において未完成な部分の面積を加えたものをいう。 ※ 1 火災復旧、災害復旧、増改築及び児童等の急増等に対処するために一時的に使用しているもので、その後は当該目的には使用しないこととなる建物の面積。 ※ 2 危険建物、不適格建物又はこれに準ずる建物として改築の対象となった建物で工事完了後又は、交付決定の翌年度 5 月 1 日までに取り壊していない建物の面積。

## ヤ

予防保全的改修	建築物を長期にわたって活用するために、部位ごとに期間を決めて計画的に実施する改修工事をいう。
---------	--

## ラ

利用率	施設の使われ方の頻度を表す指標。利用可能な総時間（日）に対して実際に使われた時間（日）数の割合で示すことが多い。
老朽度	建物の主要構造部である屋根、外壁、内装、建具などについて老朽の程度を判定する指標。本計画書策定にあたり、市が独自に設定したものである。 総合評価は以下の 4 段階で行っている。 Ⅰ：全体的に極めて老朽化 Ⅱ：全体的に老朽化 Ⅲ：部分的に老朽化 Ⅳ：老朽化が見られない ※評価方法の詳細は P23 を参照。

## 7. 付属資料

### 付属資料①

- 地震関連資料
- 学校施設カルテ
  - 小学校 (41 校)
  - 中学校 (15 校)
  - 幼稚園 (30 園)
- 老朽度評価資料
- リフレッシュ事業資料
  - 校舎・園舎 老朽修繕事業 課題額・箇所数一覧表資料 5-1
  - バリアフリー改修事業 課題一覧表資料 5-2
  - 学校施設のトイレ改修事業 課題一覧表資料 5-3
  - 学校施設のエアコン整備事業 課題一覧表
  - 学校施設のエアコン整備事業 (優先整備の教室のみ) 課題一覧表資料 5-4
  - 小荷物昇降機 (給食用リフト) の現状と課題
  - エレベータの設置状況
- 増改築・大規模改造事業資料
  - 事業費試算表
  - 事業費試算基礎資料
  - 事業費試算基本構想図
- 平成 24 年度の通級指導教室設置校と指導対象校について

## 付属資料②

- 現状調査資料
  - 非木造建物の耐震診断結果とその評価一覧表
  - 平成 17～22 年度の修繕実績一覧表
  - 職員更衣室間仕切り壁の現状と課題額一覧表
  - プール授業におけるプール施設活用状況調査結果一覧表
  - 建築環境総合性能評価（CASBEE）メイン・スコア・結果シート
- 増改築・大規模改造事業資料
  - 事業費試算表
  - 事業費試算基礎資料
  - 事業費試算基本構想図
  - 積算基準単価表
  - 耐震補強工事における財源内訳一覧表
  - 必要普通教室数（保育室）の推移と現有教室数
    - 小中学校の必要普通教室数（特別支援教室含む）の推移と現有教室数の比較
    - 幼稚園の必要保育室数の推移と現有保育室数の比較
  - 普通教室・保育室の保有数算出根拠（施設台帳図面）
- その他参考資料
  - 学校再編計画（案）における対象施設整備の試算
    - 再編対象施設整備の試算
    - 再編対象施設を今後建替・大規模改造していく場合の試算
  - 平成 17～22 年度（6 年間）の地域別修繕実績分析
  - 学校施設規模の現状分析
  - 平成 23 年度 通級指導教室 園・校・学年別人数（10 月 1 日現在）
  - 学校施設整備における PFI 活用事例
  - 電気料金からみる学校施設のエネルギー消費状況

## 校舎・園舎 老朽修繕事業 課題額・箇所数一覧表

平成23年度現在

優先度	おおむね3年以内に実施が必要な修繕							左記以降に実施が必要な修繕 小計②	改築・大規模改築事業との調整を行って対応する修繕						計 (①+②+③)							
	老朽化が著しく危険であるため可及的速やかに実施が必要な修繕		老朽化が進み、おおむね1年以内に実施に必要な修繕		おおむね2～3年以内に実施に必要な修繕				Aランク該当		Bランク該当		Cランク該当			小計③						
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数		金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数		金額	箇所数	金額				
小学校	1	今市小学校	3	1,460	3	3,750	0	0	6	5,210	1	1,995	6	21,610	3	78,301	6	111,101	15	211,012	22	218,217
	2	大津小学校	5	11,275	1	600	3	8,709	9	20,584	3	3,300	0	0	2	18,496	2	6,731	4	25,227	16	49,111
	3	上津小学校	2	1,450	2	2,100	3	675	7	4,225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	4,225
	4	塩治小学校	5	27,000	3	7,300	0	0	8	34,300	0	0	0	0	0	0	9	105,502	9	105,502	17	139,802
	5	神戸川小学校	4	6,640	0	0	1	10	5	6,650	1	700	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7,350
	6	高松小学校	8	6,245	3	750	1	400	12	7,395	3	6,645	0	0	0	0	2	104,731	2	104,731	17	118,771
	7	長浜小学校	3	520	2	1,900	1	2,550	6	4,970	1	4,500	0	0	2	41,370	4	66,735	6	108,105	13	117,575
	8	四路小学校	7	2,080	0	0	0	0	7	2,080	0	0	1	400	0	0	0	0	1	400	8	2,480
	9	高浜小学校	4	1,215	5	9,200	0	0	9	10,415	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	10,415
	10	北陽小学校	3	600	7	4,522	3	1,000	13	6,122	1	4,500	1	12,000	1	2,000	0	0	2	14,000	16	24,622
	11	朝山小学校	5	2,630	7	3,770	3	20,300	15	26,700	1	120	0	0	0	0	1	800	1	800	17	27,620
	12	乙立小学校	1	30	5	1,645	3	8,195	9	9,870	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9,870
	13	神原小学校	2	300	4	2,425	3	6,850	9	9,575	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9,575
	14	神西小学校	3	470	4	4,730	2	1,200	9	6,400	0	0	0	0	1	8,100	4	68,995	5	77,095	14	83,495
	15	平田小学校	4	9,600	3	5,726	2	3,300	9	18,626	0	0	0	0	2	59,875	9	451,131	11	511,006	20	529,632
	16	灘分小学校	4	1,050	7	13,020	3	12,850	14	26,920	2	7,650	0	0	2	17,164	4	52,442	6	69,606	22	104,176
	17	国富小学校	3	3,450	5	7,900	5	17,100	13	28,450	1	2,500	0	0	0	0	2	17,582	2	17,582	16	48,532
	18	西田小学校	2	1,825	8	7,050	7	4,540	17	13,415	0	0	0	0	1	41,800	0	0	1	41,800	18	55,215
	19	鱒淵小学校	7	980	4	6,560	2	900	13	8,420	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	8,420
	20	鱒淵小学校猪目分校	0	0	5	11,930	3	890	8	12,820	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	12,820
	21	久多美小学校	5	25,813	3	7,300	3	4,600	11	37,713	2	8,500	0	0	0	1	13,445	1	13,445	14	59,658	
	22	檀山小学校	3	1,700	6	3,459	8	36,908	17	42,067	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	42,067
	23	東小学校	3	841	7	8,627	6	11,280	16	20,748	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	20,748
	24	北浜小学校	3	1,050	5	2,101	0	0	8	3,151	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3,151
	25	塩津小学校	1	50	3	3,821	1	4,000	5	7,871	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	7,871
	26	佐多小学校	3	2,600	3	2,940	2	800	8	6,340	2	4,650	2	40,900	0	0	2	8,795	4	49,695	14	60,685
	27	伊野小学校	1	250	7	6,697	4	4,700	12	11,647	1	2,100	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13,747
	28	窪田小学校	5	2,100	4	3,430	2	530	11	6,060	2	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	13	11,060
	29	須佐小学校	3	650	5	23,654	3	850	11	25,154	4	10,175	0	0	0	0	0	0	0	0	15	35,329
	30	岐久小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31	田儀小学校	7	1,160	6	1,400	1	100	14	2,660	2	1,925	0	0	0	0	0	0	0	0	16	4,585
	32	湖陵小学校	5	1,210	5	3,494	6	7,050	16	11,754	3	8,085	0	0	5	74,445	1	90	6	74,535	25	94,374
	33	大社小学校	1	1,200	1	500	3	2,600	5	4,300	2	3,600	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7,900
	34	荒木小学校	2	1,800	3	2,600	7	12,250	12	16,650	9	28,340	0	0	2	40,203	4	12,873	6	53,076	27	98,066
	35	逢坂小学校	8	3,150	2	490	2	180	12	3,820	1	1,732	0	0	0	0	2	31,143	2	31,143	15	36,695
	36	鷗鷺小学校	3	1,350	6	4,015	4	16,200	13	21,565	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	21,565
	37	日御崎小学校	2	800	2	500	2	100	6	1,400	2	2,217	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3,617
	38	荏原小学校	8	4,200	10	2,030	3	280	21	6,510	1	900	0	0	2	31,769	5	88,960	7	120,729	29	128,139
	39	西野小学校	8	5,056	5	1,270	1	300	14	6,626	0	0	0	0	0	1	24,584	1	24,584	15	31,210	
	40	中部小学校	15	30,028	7	5,630	0	0	22	35,658	0	0	0	0	2	28,450	8	84,517	10	112,967	32	148,625
	41	出東小学校	4	2,320	5	2,300	5	220	14	4,840	0	0	0	0	0	5	57,487	5	57,487	19	62,327	
	<b>小学校計</b>	<b>165</b>	<b>186,128</b>	<b>173</b>	<b>181,136</b>	<b>108</b>	<b>192,417</b>	<b>446</b>	<b>539,881</b>	<b>45</b>	<b>109,134</b>	<b>10</b>	<b>74,910</b>	<b>25</b>	<b>441,973</b>	<b>72</b>	<b>1,307,644</b>	<b>107</b>	<b>1,824,527</b>	<b>598</b>	<b>2,473,342</b>	
中学校	1	第一中学校	3	850	4	570	3	5,650	10	7,070	2	6,495	0	0	2	88,600	0	0	2	88,600	14	102,165
	2	第二中学校	5	2,100	3	9,050	3	4,260	11	15,410	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	15,410	
	3	第三中学校	6	6,273	7	5,065	2	1,300	15	12,638	1	4,500	0	0	0	6	114,200	6	114,200	22	131,338	
	4	河南中学校	6	2,750	4	980	0	0	10	3,730	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3,730	
	5	浜山中学校	8	22,400	2	10,720	1	1,000	11	34,120	1	1,995	0	0	0	5	103,177	5	103,177	17	139,292	
	6	南中学校	1	500	1	600	1	230	3	1,330	1	1,150	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2,480
	7	平田中学校	5	4,550	2	2,800	7	1,370	14	8,720	1	1,800	0	0	0	0	0	0	0	15	10,520	
	8	旭丘中学校	0	0	1	300	0	0	1	300	0	0	2	500	1	867	0	0	3	1,367	4	1,667
	9	光中学校	2	900	2	4,359	4	3,360	8	8,619	1	30	0	0	1	23,500	0	0	1	23,500	10	32,149
	10	佐田中学校	4	1,010	4	775	0	0	8	1,785	0	0	0	0	2	1,400	1	75	3	1,475	11	3,260
	11	多伎中学校	8	15,570	3	5,763	1	1,200	12	22,533	2	4,550	0	0	0	0	0	0	0	0	14	27,083
	12	湖陵中学校	6	8,720	2	1,636	4	39,125	12	49,481	5	25,100	0	0	0	3	47,643	3	47,643	20	122,224	
	13	大社中学校	10	10,700	12	20,907	2	35,350	24	66,957	3	15,000	0	0	3	71,710	1	27,697	4	99,407	31	181,364
	14	斐川東中学校	14	7,777	6	7,245	3	2,250	23	17,272	3	4,328	0	0	0	0	0	0	0	0	26	21,600
	15	斐川西中学校	11	12,579	2	200	2	1,500	15	14,279	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	14,279	
	<b>中学校計</b>	<b>89</b>	<b>96,879</b>	<b>55</b>	<b>70,870</b>	<b>33</b>	<b>96,959</b>	<b>177</b>	<b>264,244</b>	<b>20</b>	<b>64,948</b>	<b>2</b>	<b>500</b>	<b>9</b>	<b>186,077</b>	<b>16</b>	<b>292,792</b>	<b>27</b>	<b>479,389</b>	<b>224</b>	<b>808,561</b>	
幼稚園	1	今市幼稚園	4	7,520	1	6,200	1	200	6	13,920	2	135	0	0	1	17,766	0	0	1	17,766	9	31,821
	2	大津幼稚園	1	300	7	1,440	3	450	11	2,190	2	80	0	0	1	7,000	0	0	1	7,000	14	9,270
	3	塩治幼稚園	1	500	3	2,400	2	4,730	6	7,												

学校施設のバリアフリー整備課題一覧表

平成23年度現在

区別	番号	学校名	学校規模推移						増改築・大規模改造対象施設 (H24~H38の間の整備)				バリアフリー改修課題 ※1									
			H23		H28		H33		校舎		屋内運動場		玄関又は昇降口へのスロープ設置課題額 (〇は、整備済み)		優先トイレ整備課題額 (〇は、整備済み)		エレベータ設置課題額 (適正規模以上の学校で、かつ3階以上に教室のある校舎に整備)					
			普通教室数	規模	普通教室数	規模	普通教室数	規模	増改築	大規模改造	増改築	大規模改造	校舎	屋内運動場	校舎	屋内運動場	整備対象	設置済 (対象施設)	改修設置 (対象施設)	整備課題額		
小学校	1	今市小学校	15	適正	15	適正	12	適正	〇	〇	〇	〇	〇	〇	4000(改)	〇	☆	○	●	40000(改)		
	小学校の改修工事費計(増改築対象を除く)										38,150	44,900	72,000	96,000	12	2	8	320,000				
	中学校	42	第一中学校	16	適正	15	適正	15	適正	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	☆	○	●	40,000	
		中学校の改修工事費計(増改築対象を除く)										8,450	14,450	16,000	32,000	9	3	6	240,000			
		幼稚園	57	中央幼稚園	3		3		3		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
			幼稚園の改修工事費計(増改築対象を除く)										10,750	32,000	32,000	32,000						
			改修工事費計(増改築対象を除く)										57,350	59,350	120,000	128,000	21	5	14	560,000		
			改修工事設計工事監理委託費計(増改築対象を除く)										14,004		29,760					67,200		
			総事業費										130,704		277,760					627,200		

凡例 耐・大済:耐震補強と大規模改造事業を行った施設。 大済:大規模改造事業を行った施設

※1: バリアフリー改修課題額には、増改築事業によって整備するものは除く。

学校施設のトイレ環境整備課題一覧表

平成23年度現在

Main table with columns for school name, facility type (男女別間仕切壁工事, 和式トイレ洋式化工事, etc.), current status, and budget. Includes sub-totals for elementary and middle schools.



## 学校施設のエアコン整備課題(整備対象室のみ) 一覧表

平成23年度現在

区別	学校名	学校規模						取替工事の範囲							新設工事の範囲								
		H23 2011		H28 2016		H32 2020		職員室	校長室	保健室	設置済の室			音楽室	未設置の室								
		普通学級数	規模	普通学級数	規模	普通学級数	規模	(完了)	(完了)	(完了)	会議室	相談室	図書室	パソコン教室	音楽室	会議室	相談室	パソコン教室	音楽室				
								(完了) 床面積	(完了) 床面積	(完了) 床面積	(一部設置済) 床面積	(一部設置済) 床面積	(完了) 床面積	(一部設置済) 床面積	(一部設置済) 床面積	(一部未設置) 床面積	(一部未設置) 床面積	(一部未設置) 床面積	(一部未設置) 床面積				
小学校	今市小学校	15	適正	15	適正	12	適正	158	33	63		63	0	159	0	63	31	85	227				
	大津小学校	18	適正	18	適正	18	適正	343	32	274	—	0	122	0	—	22	91	176					
	上津小学校	5	適小規模	5	適小規模	6	小規模	56	31	48	—	0	76	—	19	—	—	103					
	塩沼小学校	26	大規模	24	大規模	27	大規模	198	32	82	—	23	134	—	0	—	—	264					
	神戸川小学校	18	適正	16	適正	18	適正	148	47	95	—	0	122	89	0	64	0	173					
	高松小学校	19	大規模	18	適正	18	適正	126	32	95	—	0	95	0	95	30	104	197					
	長浜小学校	12	適正	8	小規模	6	小規模	156	27	64	—	0	100	0	0	36	66	123					
	四路小学校	20	大規模	21	大規模	22	大規模	158	40	95	—	0	138	86	0	79	0	246					
	高浜小学校	7	小規模	8	小規模	6	小規模	104	41	44	—	23	105	0	0	0	63	114					
	北陽小学校	18	適正	22	大規模	19	大規模	123	31	62	—	0	89	0	0	62	0	93	222				
	朝山小学校	6	小規模	6	小規模	6	小規模	87	32	53	—	24	0	87	0	0	30	63	64				
	乙立小学校	4	適小規模	4	適小規模	3	適小規模	58	26	37	—	0	182	0	0	38	—	56	80				
	神原小学校	6	小規模	5	適小規模	6	小規模	86	28	60	—	20	75	0	0	0	0	61	83				
	神西小学校	8	小規模	6	小規模	6	小規模	59	25	31	—	31	56	0	0	19	59	106					
	平田小学校	12	適正	12	適正	12	適正	112	56	64	—	—	64	—	—	0	56	87					
	灘分小学校	9	小規模	7	小規模	6	小規模	85	30	45	—	—	60	—	—	60	—	44	95				
	国富小学校	6	小規模	6	小規模	6	小規模	82	35	30	—	—	60	—	—	—	60	76					
	西田小学校	6	小規模	6	小規模	5	適小規模	61	30	30	—	—	36	36	84	30	—	0	0				
	鰐淵小学校	4	適小規模	4	適小規模	4	適小規模	60	56	35	—	—	30	—	—	—	55	151					
	猪目分校	0	—	0	—	0	—	16	—	—	—	—	44	—	図書室兼	—	—	—	—				
	久多美小学校	6	小規模	6	小規模	6	小規模	128	40	64	—	28	96	—	—	—	—	—	96				
	樟山小学校	6	小規模	5	適小規模	5	適小規模	56	27	29	—	—	38	—	—	28	—	76					
	東小学校	6	小規模	6	小規模	6	小規模	90	60	63	—	—	66	130	—	0	0	76					
	北浜小学校	4	適小規模	3	適小規模	3	適小規模	63	12	63	—	—	63	—	—	28	—	81					
	塩津小学校	3	小規模	3	小規模	3	小規模	24	24	12	—	—	28	—	—	—	—	—					
	佐香小学校	5	適小規模	4	適小規模	4	適小規模	56	56	56	—	校長室兼	49	—	—	0	12	—	74				
	伊野小学校	6	小規模	4	適小規模	4	適小規模	71	41	56	—	—	56	—	—	—	20	76					
	須田小学校	6	小規模	6	小規模	6	小規模	120	33	33	—	66	13	62	90	0	0	83					
	須佐小学校	6	小規模	6	小規模	6	小規模	76	33	59	—	59	—	92	92	92	0	0	0				
	岐久小学校	6	小規模	6	小規模	6	小規模	79	64	36	—	—	151	79	—	42	64	139					
	田儀小学校	5	適小規模	5	適小規模	4	適小規模	71	41	32	—	—	56	56	—	42	—	112					
	湖陵小学校	12	適正	8	小規模	9	小規模	91	63	49	—	—	136	60	—	—	37	138					
	大社中学校	12	適正	12	適正	12	適正	123	51	68	—	—	94	86	245	41	37	0					
	荒木小学校	12	適正	6	小規模	6	小規模	122	57	47	—	—	188	—	—	—	83	190					
	遙堤小学校	6	小規模	3	適小規模	3	適小規模	64	48	29	—	—	64	—	—	15	44	92					
	鵜養小学校	3	適小規模	3	適小規模	3	適小規模	53	21	—	—	—	53	—	—	46	—	66					
	日御崎小学校	3	適小規模	3	適小規模	3	適小規模	56	28	34	—	—	56	—	—	28	56	66					
	荏原小学校	12	適正	12	適正	12	適正	96	49	81	—	—	136	83	162	—	0	0					
	西野小学校	19	大規模	17	適正	12	適正	98	33	63	—	—	33	90	—	—	0	173					
	中部小学校	13	適正	12	適正	12	適正	90	30	60	—	—	120	120	—	—	0	90					
	出東小学校	7	小規模	6	小規模	6	小規模	78	24	24	—	—	39	81	135	0	0	0					
	<b>計</b>							3,981m <sup>2</sup>	1,497m <sup>2</sup>	2,263m <sup>2</sup>	251m <sup>2</sup>	191m <sup>2</sup>	3,009m <sup>2</sup>	1,174m <sup>2</sup>	718m <sup>2</sup>	575m <sup>2</sup>	551m <sup>2</sup>	1,159m <sup>2</sup>	4,215m <sup>2</sup>				
		<b>工事費</b>	<b>各室単位工事費</b>						109,468千円	41,162千円	62,228千円	6,899千円	5,243千円	99,253千円	32,276千円	19,745千円	15,813千円	15,153千円	31,873千円	115,919千円			
			<b>総額</b>						376,274千円												178,757千円		
	中学校	第一中学校	16	適正	15	適正	15	適正	183	40	64	—	96	15	140	113	0	29	0	218			
		第二中学校	14	適正	13	適正	12	適正	223	40	65	—	65	98	105	218	98	0	0	0			
第三中学校		17	適正	19	大規模	21	大規模	126	35	61	—	30	27	92	144	0	28	0	218				
河南中学校		10	適正	9	適正	9	適正	172	38	58	—	—	24	179	112	—	28	0	133				
浜山中学校		12	適正	14	適正	12	適正	162	64	69	—	—	22	167	—	—	24	111	221				
南中学校		5	小規模	4	小規模	3	小規模	110	39	58	—	—	19	100	140	—	87	0	175				
平田中学校		15	適正	12	適正	10	適正	395	38	145	—	118	53	363	149	350	0	0	0				
向陽中学校		4	小規模	7	適正	6	適正	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
光中学校		3	小規模	3	小規模	3	小規模	84	30	42	—	—	14	56	81	—	0	0	82				
佐田中学校		3	小規模	3	小規模	3	小規模	86	30	45	—	—	0	63	104	0	94	32	86				
多伎中学校		3	小規模	3	小規模	3	小規模	101	45	47	—	0	23	101	128	0	59	0	117				
湖陵中学校		5	小規模	6	適正	4	小規模	101	49	68	—	0	13	101	107	0	68	56	112				
大社中学校		11	適正	10	適正	11	適正	156	36	84	—	—	35	213	103	274	103	56	0				
柴川東中学校		10	適正	9	適正	9	適正	133	46	98	—	—	0	148	98	0	42	0	140				
妻川西中学校		15	適正	15	適正	12	適正	191	30	83	—	96	115	160	173	137	0	0	0				
<b>計</b>								2,223m <sup>2</sup>	560m <sup>2</sup>	987m <sup>2</sup>	340m <sup>2</sup>	424m <sup>2</sup>	1,982m <sup>2</sup>	1,557m <sup>2</sup>	978m <sup>2</sup>	422m <sup>2</sup>	382m <sup>2</sup>	111m <sup>2</sup>	1,502m <sup>2</sup>				
		<b>工事費</b>	<b>各室単位工事費</b>						61,142千円	15,394千円	27,145千円	9,850千円	11,871千円	54,499千円	42,827千円	28,902千円	11,605千円	10,505千円	3,053千円	41,312千円			
			<b>総額</b>						248,928千円												66,474千円		
幼稚園		中央幼稚園																					
		今市幼稚園						66															
		大津幼稚園						40															
	塩沼幼稚園						102																
	高松幼稚園						47																
	四路幼稚園						113																
	高浜幼稚園						62																
	川跡幼稚園						66																
	倉島幼稚園						36																
	上津幼稚園						50																
	朝山幼稚園						45																
	乙立幼稚園																						
	神原幼稚園						55																
	神門幼稚園						51																
	古志幼稚園						52																
	神西幼稚園						40																
	長浜幼稚園						54																
	平田幼稚園						62																
	東幼稚園						100																
	多伎幼稚園						67																
	湖陵幼稚園						6																

## 参考文献一覧

- ・ 『公立学校施設整備事務ハンドブックー平成 23 年度一』 公立学校施設法令研究会
- ・ 『建築物のライフサイクルコスト 平成 17 年度』 国土交通省大臣官房 官庁営繕部
- ・ 『CASBEE 既存 評価マニュアル』 財団法人 建築環境・省エネルギー機構
- ・ 『空気調和・衛生設備の知識』 社団法人 空気調和・衛生工学会
- ・ 「公共建築の部位・設備の特性等を踏まえた中長期修繕計画策定及び運用のためのマニュアル」 国土交通省 国土技術政策総合研究所
- ・ 『鉄筋コンクリート造建築物の耐久設計施工指針（案）・同解説』 日本建築学会
- ・ 『建築大辞典 第 2 版』 彰国社